# 交　通　白　書

令和８年（２０２６年）版

# 住みよい山口
# いつも心に
# 交通安全



山口県警察本部

# はじめに

昨年の全国における交通事故死者数は２，５４７人と、前年に比べ１１６人減少し、統計が残る昭和２３年以降で最少となりました。

山口県においても交通事故死者数は３１人と前年に比べ２０人減少し、令和４年と並んで最少となりましたが、人身事故発生件数は昨年より増加したほか、交通事故死者に占める高齢者の割合が約６割、高齢ドライバーによる交通事故死者数は、全ドライバーによる交通事故死者数の５割を超えるなど、高齢者に対する各種の対策をはじめ、より一層の交通事故抑止対策を推進していく必要があります。

また、本年４月から自転車運転者への交通反則通告制度が導入され、自転車の交通ルールへの社会的関心が高まっているところ、関係機関・団体と連携し、あらゆる世代に対する交通安全教育を行うなど、自転車安全利用を促す取組を一層推進しているところです。

こうした交通情勢を踏まえ、本年も県警察の活動重点に「交通死亡事故抑止総合対策の推進」を掲げ、「高齢者の交通事故防止対策」、「横断歩道の安全対策」、「自転車等総合対策」、「速度抑制対策」及び「反射材・ハイビームの活用促進」を重点に、県民の皆様へ各種取組を通じて交通安全を呼びかけ、悲惨な交通事故を１件でも減らしていく取組を推進しております。

この白書は、令和７年中の交通事故の状況や対策をとりまとめたものですが、県民の皆様に交通事故の実態を知っていただき、交通事故を防止する上で、少しでもお役に立てていただければ幸いです。

令和８年８月

山口県警察本部交通部長

大浴　信正

# もくじ


1　近年の交通情勢と昨年の交通事故発生状況……1
交通情勢の推移……4
全国の交通事故による死者……6
中国５県の交通事故……7
山口県の位置づけ……8
山口県の交通事故発生状況……9
市町別の交通事故……9
交通事故を起こした人の居住地……9
月別発生状況……10
時間別発生状況……10
道路別発生状況……11
国道別発生状況……11
道路形状別発生状況……12
状態別死傷者数……12
事故形態別死傷者数……13
交通死亡事故を起こしたﾄﾞﾗｲﾊﾞｰの年齢層別発生状況…13
昼夜別発生状況……14
曜日別発生状況……14
年齢層別・性別死傷者数……15
原因別発生状況……16
物損事故発生状況……17
年別推移……17
月別発生件数……17
国道における交通事故……17
高齢者（６５歳以上）の交通事故……18
高齢者の事故実態……18
７５歳以上高齢者の事故実態……21
高齢ドライバーの事故実態……22
７５歳以上高齢ドライバーの事故実態……25
こども（中学生以下）の交通事故……26
高校生の交通事故……28
歩行者の交通事故……30
自転車の交通事故……32
二輪車の交通事故……34
若年ドライバーによる交通事故……36
2　交通事故抑止に向けた取組……40
横断歩道ハンドサイン運動……40
反射材・ハイビーム活用促進県民運動……41
スピードダウン県民運動……41
3　安全・安心な交通環境の整備……42
交通安全施設の整備……42
ゾーン３０プラスの推進……42
交通管制センターの整備……43
バリアフリー対応型信号機等の整備……44
4　交通指導取締り及び行政処分等……45
概要……45
交通法令違反取締り状況……45
交通事故実態の分析等に基づいた取締り管理……46
生活道路や通学路における交通指導取締り……46
歩行者、自転車利用者に対する指導取締り……46
行政処分状況……47
安全運転相談……48
運転適性検査……48
5　運転免許人口の推移……49
6　違法駐車対策……50
違法駐車の現状……50
違法駐車の取締り……50
車両使用者に対する責任追及……50
7　暴走族等の対策……51
8　交通事故事件の捜査……52
交通事故事件の検挙状況……52
適正かつ緻密な交通事故事件捜査……52
科学的捜査……53
交通事故被害者等の支援……53
9　交通安全教育……54
山口県交通安全学習館（セーフティプラザやまぐち）……54
交通移動教室班の活動状況……59
「生徒向け自転車交通教室」の開催……59
付属資料
自転車損害賠償責任保険等の加入が義務化……60
山口県自転車の安全で適正な利用促進条例……60
自転車損害賠償責任保険等の種類について……61
テレホンコーナー……62
交通事故相談所の案内……62
ＳＤカードの案内……63
安全運転中央研修所への入所案内……64


※　本書の数字は単位未満で四捨五入してあるため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合や、四捨五入前の数字を用いて計算した結果と表中の数字が一致しない場合があります。




## 表紙の説明

表紙の写真は、「山口県交通安全ムービー・フォトコンテスト２０２５」フォト部門で最優秀賞を受賞された写真です。

《山口県の交通安全年間スローガン》

～　住みよい山口　いつも心に　交通安全　～

交通事故のない住みよい山口県は、みんなの願いです。
交通安全の心をいつも忘れずに、安全運転に努めましょう。

# 交通事故の主な特徴

## ◆　近年の交通情勢と昨年の交通事故発生状況


全国は発生件数、死者数、負傷者数が減少・・・5p

自動車等乗車中負傷者数が約7割を占める・・・12p

６５歳以上の死者が多い・・・15p

前方不注視と安全不確認による事故が多い・・・16p




## ◆　高齢者の交通事故


死者数に占める高齢者の割合が高い・・・18p

１０時台の負傷者が多い・・・19p

死者は交差点、負傷者は直路が多い・・・20p

75歳以上の死者が過去最少・・・21p


## ◆　高齢ドライバーの交通事故


交通事故死者の半数以上が夏～秋に発生・・・22p

１０～１１時台の発生が多い・・・23p

直路での発生が多い・・・24p




## ◆　こども（中学生以下）・高校生の交通事故




負傷者の半数以上が小学生・・・26p

年齢とともに自転車乗車中の負傷者が増加・・・27p

高校生は登校時間帯の負傷者が多い・・・29p


## ◆　歩行者・自転車・二輪車の交通事故


歩行者の事故では、死者数・負傷者数ともに７５歳以上が多い・・・30p

自転車の事故では、死者数・負傷者数ともに７５歳以上が多い・・・32p

二輪車の事故では、7時台と１７時から１８時台の発生が多い・・・35p




## ◆　若年ドライバーによる交通事故




若年ドライバーによる事故の構成率は
免許人口の構成率の２倍以上・・・36p

若年ドライバーの事故は、約半数が直路で発生・・・38p

一般ドライバーに比べ、
追突による事故の発生割合が高い・・・39p

# 1　近年の交通情勢と昨年の交通事故発生状況

## (1)　近年の交通情勢

県内の運転免許保有者数は約８７万人（令和７年１２月末）と、運転免許が取得可能な１６歳以上の人口の４人に３人の方が何らかの運転免許を保有され、運転への需要は大きいものがあります。

また、高齢化社会の進展に伴い、高齢者の免許保有者数、構成率はともに増加傾向にあり、令和７年１２月末現在では約２８万人、構成率は３１．７％と、１０年前の平成２７年と比較すると約３万５千人の増加、構成率では５．７ポイントの増加となっています。

近年の交通事故発生状況については、人身事故発生件数や負傷者数は減少傾向にある一方で、交通事故死者に占める高齢者の割合が多く、高齢ドライバーによる交通事故の割合も増加傾向にあり、依然厳しい交通情勢にあります。

## (2)　昨年の交通事故発生状況

### ア　全国の状況

令和７年中の交通事故死者数は２，５４７人と、前年に比べ１１６人減少し、２年連続の減少となりました。

死亡事故の主な特徴としては、

○　高齢死者が全死者の半数以上（５５．９％）を占める

- 若年者(～２４歳)　２２９人（前年比　＋　２人）
- ２５～２９歳　１０２人（前年比　＋　１５人）
- ３０～３９歳　１２２人（前年比　－　１９人）
- ４０～４９歳　２００人（前年比　－　７人）
- ５０～５９歳　３０３人（前年比　－　３７人）
- ６０～６４歳　１６８人（前年比　＋　２０人）
- 高齢者(６５歳以上)　１，４２３人（前年比　－　９０人）

○　歩行中死者が全体の約４割（３４．９％）を占める

- 歩行中　８９０人（前年比　－　７５人）
- 自動車乗車中　８６９人（前年比　－　７人）

等が挙げられます。

### イ　中国５県の状況

令和７年中、中国５県での交通事故死者数は１６４人で、前年に比べると３９人減少しましたが、鳥取県と島根県では増加しました。

ウ　山口県内の状況

(ｱ)　概況

交通事故は、

○　人身事故発生件数　　２，２８０件（前年比　＋　１２８件）
○　死者数　　３１人（前年比　－　２０人）
○　負傷者数　　２，７１１人（前年比　＋　１７６人）
・　重傷者数　　４２８人（前年比　－　２６人）
・　軽傷者数　　２，２８３人（前年比　＋　２０２人）
○　物損事故発生件数　　３７，６２６件（前年比　＋　１６４件）
○　総発生件数　　３９，９０６件（前年比　＋　２９２件）

と、死者数、重傷者数は減少したものの、人身事故発生件数と軽傷者数及び物損事故発生件数が増加しました。

死者数については３１人で、人口当たりの死者数等については、

○　人口１０万人当たり死者数　　２．４２０人（全国２６位）
○　免許人口１万人当たり死者数　０．３５５人（全国２６位）
○　自動車１万台当たり死者数　　０．２６９人（全国３０位）

となっています。

(ｲ)　死亡事故の特徴

○　高齢者の被害が５割以上
～　１８人（前年比　－２０人、全死者の５８．１％）
○　高齢ドライバーによる死亡事故の割合が多い
～　１６人（前年比　－８人、全ドライバー死者数の５３．３％）
○　市道で多発
～　１０人（前年比　－２人、全死者の３２．３％）
○　昼間における事故が減少
～　１６人（前年比　－１６人、全死者の５１．６％）
○　直路での事故が多発
～　１３人（前年比　＋２人、全死者の４１．９％）
○　車両相互の事故が多発
～　１４人（前年比　－１人、全死者の４５．２％）

(ｳ)　事故防止対策

警察では交通事故の発生実態を踏まえ、令和７年中の重点対策を「高齢者の交通事故防止対策」「横断歩道の安全対策」「自転車等総合対策」「速度抑制対策」「反射材・ハイビームの活用促進」に設定し、諸対策を総合的に

推進しました。

◆　高齢者の交通事故防止対策

○　重大交通事故現場講習会の開催

○　高齢者宅を訪問して交通安全指導を行う「SS(シニアセーフティ)訪問指導」の実施

○　運転免許を自主返納した高齢者に対して、安全運転の労をねぎらう運転卒業制度の実施

○　運転に不安を感じる高齢者を対象とした交通安全定期診断の実施

○　頻回事故者に対する交通安全指導及びドライブレコーダーを活用した交通安全指導

○　安全運転サポートカーの普及啓発

◆　横断歩道の安全対策

○　「横断歩道ハンドサイン運動」の推進

○　JA 共済連山口と共同した交通安全 CM の制作

◆　自転車等総合対策

○　自転車乗車用ヘルメットの着用促進に向けた広報啓発活動の推進

○　自転車・特定小型原動機付自転車等に関する交通ルールの周知・徹底

◆　速度抑止対策

○　「スピードダウン運動」の継続推進

・　１，２６５事業所をスピードダウン推進事業所として指定（令和７年末現在）

・　ペースメーカー車２２，４４２台を運用（令和７年末現在）

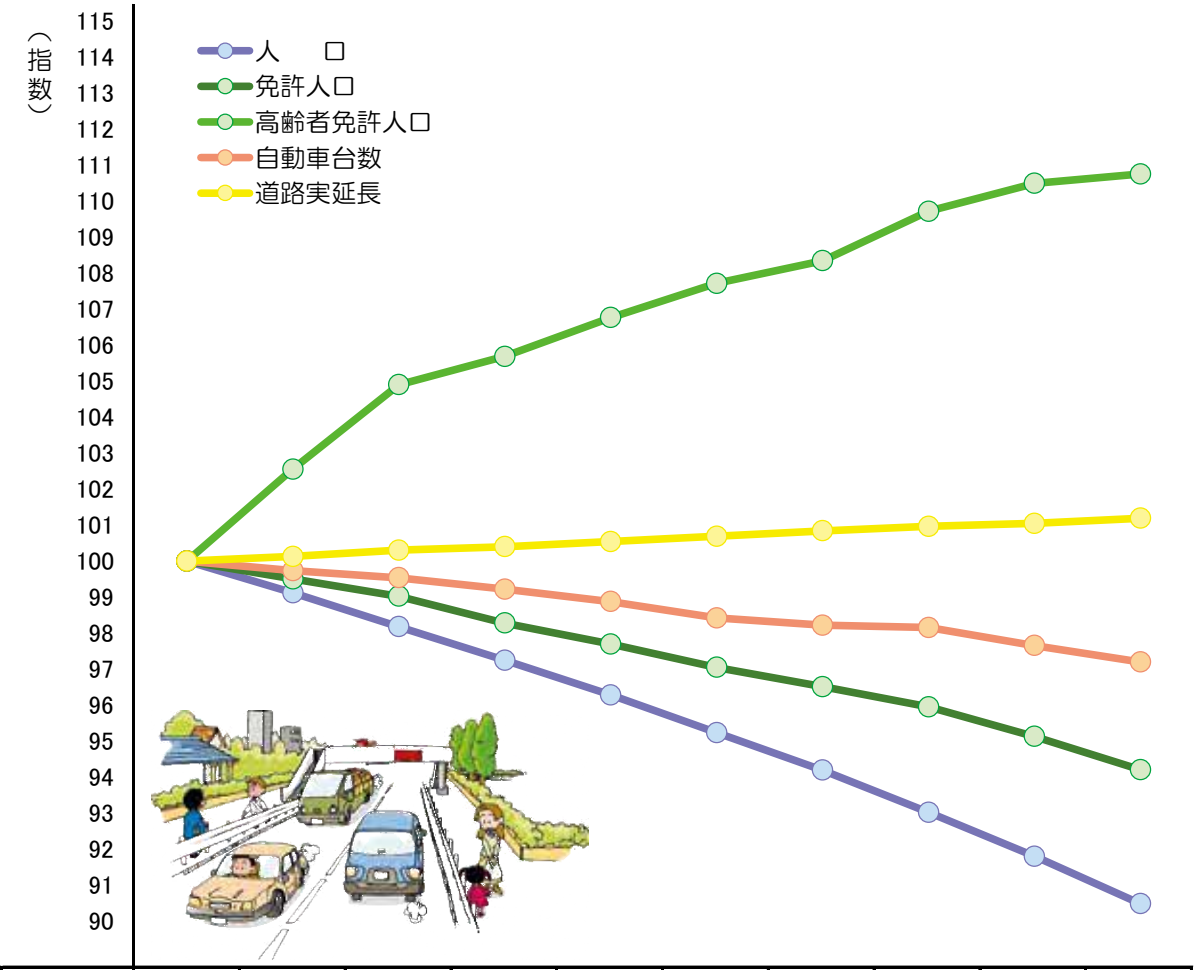
○　可搬式オービス等を活用した速度取締り

◆　反射材・ハイビームの活用促進

○　「反射材・ハイビーム活用促進の日」（毎月９日）における広報啓発活動

## 交通情勢の推移

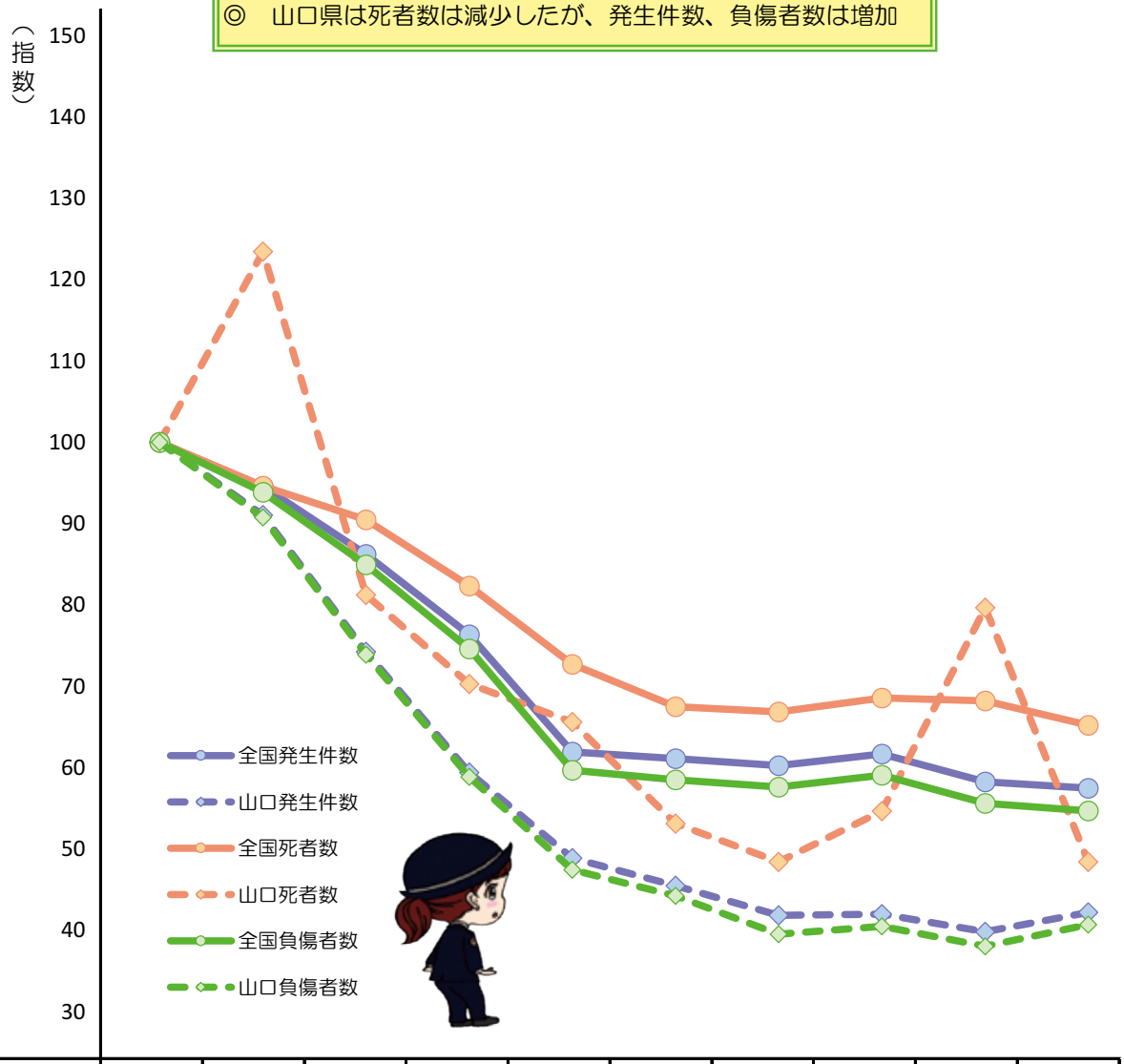
◎　運転免許取得可能な１６歳以上の人口のうち、４人に3人の方が何らかの運転免許を保有
◎　免許人口は減少しているが、高齢化社会の進展に伴い、高齢者の免許人口は増加




| 年　別 | 28年 | 29年 | 30年 | 元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人　口 注1 | 1,393,904 | 1,381,584 | 1,368,495 | 1,355,495 | 1,342,059 | 1,327,452 | 1,312,950 | 1,296,593 | 1,279,601 | 1,261,226 |
| 指　数 注２ | 100 | 99 | 98 | 97 | 96 | 95 | 94 | 93 | 92 | 90 |
| 免許人口 注３ | 927,574 | 923,005 | 918,508 | 911,613 | 906,219 | 900,202 | 895,221 | 889,989 | 882,393 | 873,803 |
| 指　数 | 100 | 100 | 99 | 98 | 98 | 97 | 97 | 96 | 95 | 94 |
| 高齢者免許人口 | 249,954 | 256,341 | 262,201 | 264,171 | 266,869 | 269,238 | 270,808 | 274,245 | 276,184 | 276,835 |
| 指　数 | 100 | 103 | 105 | 106 | 107 | 108 | 108 | 110 | 110 | 111 |
| 自動車台数 注４ | 1,153,981 | 1,150,949 | 1,148,630 | 1,145,003 | 1,141,019 | 1,135,796 | 1,133,400 | 1,132,689 | 1,126,909 | 1,121,629 |
| 指　数 | 100 | 100 | 100 | 99 | 99 | 98 | 98 | 98 | 98 | 97 |
| 道路実延長 (km) 注５ | 16,637.1 | 16,658.7 | 16,687.5 | 16,703.8 | 16,727.7 | 16,751.7 | 16,777.1 | 16,797.9 | 16,811.8 | 16,835.0 |
| 指　数 | 100 | 100 | 100 | 100 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 注6　101 |

注１：人口は各年の１０月１日現在県統計分析課調べ（平成２７年と令和２年は国勢調査）
注２：指数は、平成２８年を１００としたものである
注３：免許人口は各年の１２月末現在
注４：自動車台数には原付を含み、小特は除く
注５：道路実延長は各年の４月１日調べ（国土交通省　道路統計年報）
注６：令和７年の道路実延長については概数

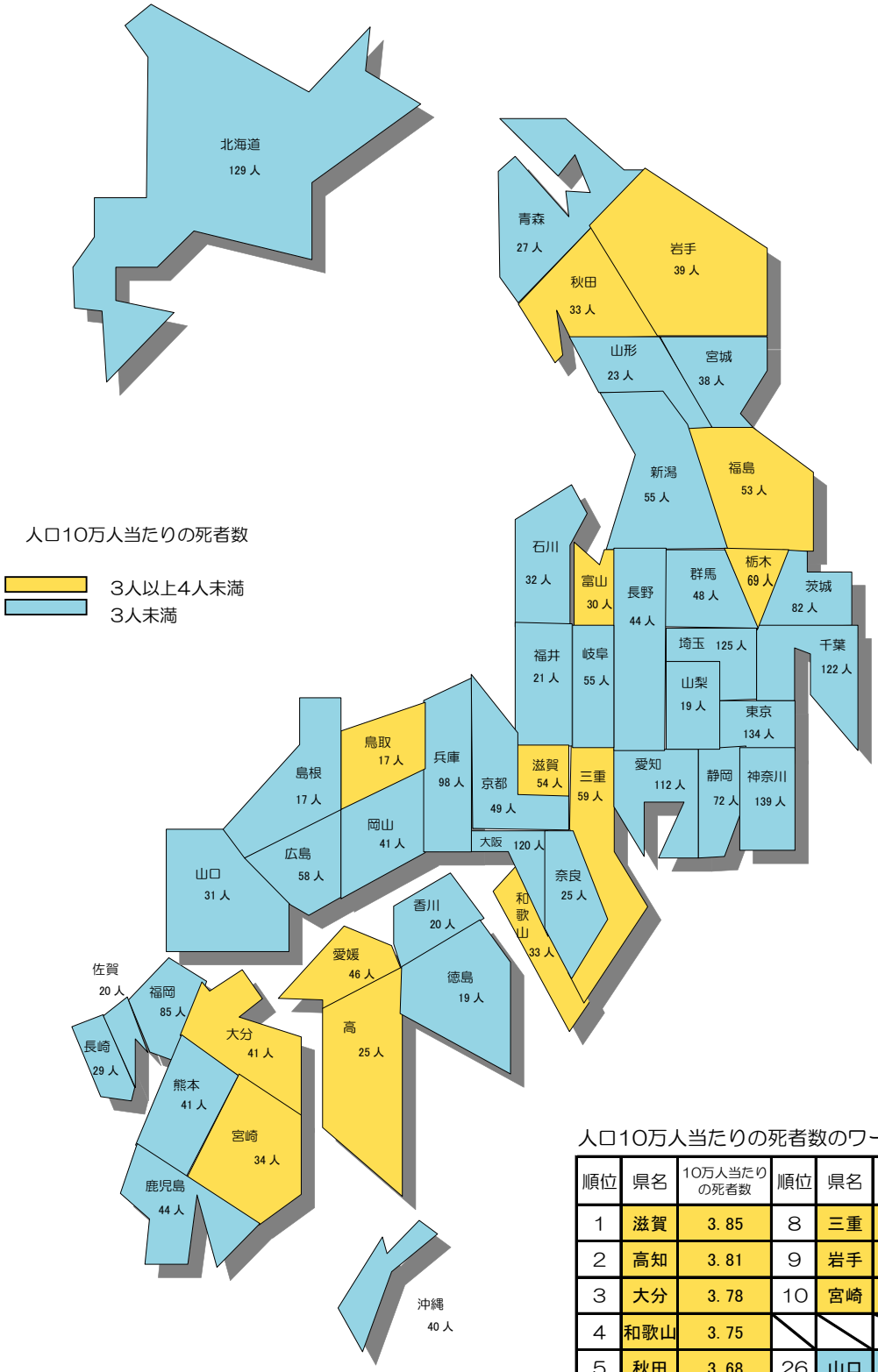
◎　全国は発生件数、死者数、負傷者数が減少
◎　山口県は死者数は減少したが、発生件数、負傷者数は増加




| 年　別 | | ２８年 | ２９年 | ３０年 | 元年 | ２年 | ３年 | ４年 | ５年 | ６年 | ７年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 発生件数 | 全　国 | 499,201 | 472,165 | 430,601 | 381,237 | 309,178 | 305,196 | 300,839 | 307,930 | 290,895 | 287,023 |
| | 指数注１ | 100 | 95 | 86 | 76 | 62 | 61 | 60 | 62 | 58 | 57 |
| | 山　口 | 5,401 | 4,918 | 4,010 | 3,209 | 2,641 | 2,458 | 2,261 | 2,269 | 2,152 | 2,280 |
| | 指　数 | 100 | 91 | 74 | 59 | 49 | 46 | 42 | 42 | 40 | 42 |
| 死者数 | 全　国 | 3,904 | 3,694 | 3,532 | 3,215 | 2,839 | 2,636 | 2,610 | 2,678 | 2,663 | 2,547 |
| | 指　数 | 100 | 95 | 90 | 82 | 73 | 68 | 67 | 69 | 68 | 65 |
| | 山　口 | 64 | 79 | 52 | 45 | 42 | 34 | 31 | 35 | 51 | 31 |
| | 指　数 | 100 | 123 | 81 | 70 | 66 | 53 | 48 | 55 | 80 | 48 |
| 負傷者数 | 全　国 | 618,853 | 580,850 | 525,846 | 461,775 | 369,476 | 362,131 | 356,601 | 365,595 | 344,395 | 338,508 |
| | 指　数 | 100 | 94 | 85 | 75 | 60 | 59 | 58 | 59 | 56 | 55 |
| | 山　口 | 6,660 | 6,046 | 4,921 | 3,922 | 3,161 | 2,948 | 2,633 | 2,699 | 2,535 | 2,711 |
| | 指　数 | 100 | 91 | 74 | 59 | 47 | 44 | 40 | 41 | 38 | 41 |

注１：指数は、平成２８年を１００としたものである

# 全国の交通事故による死者



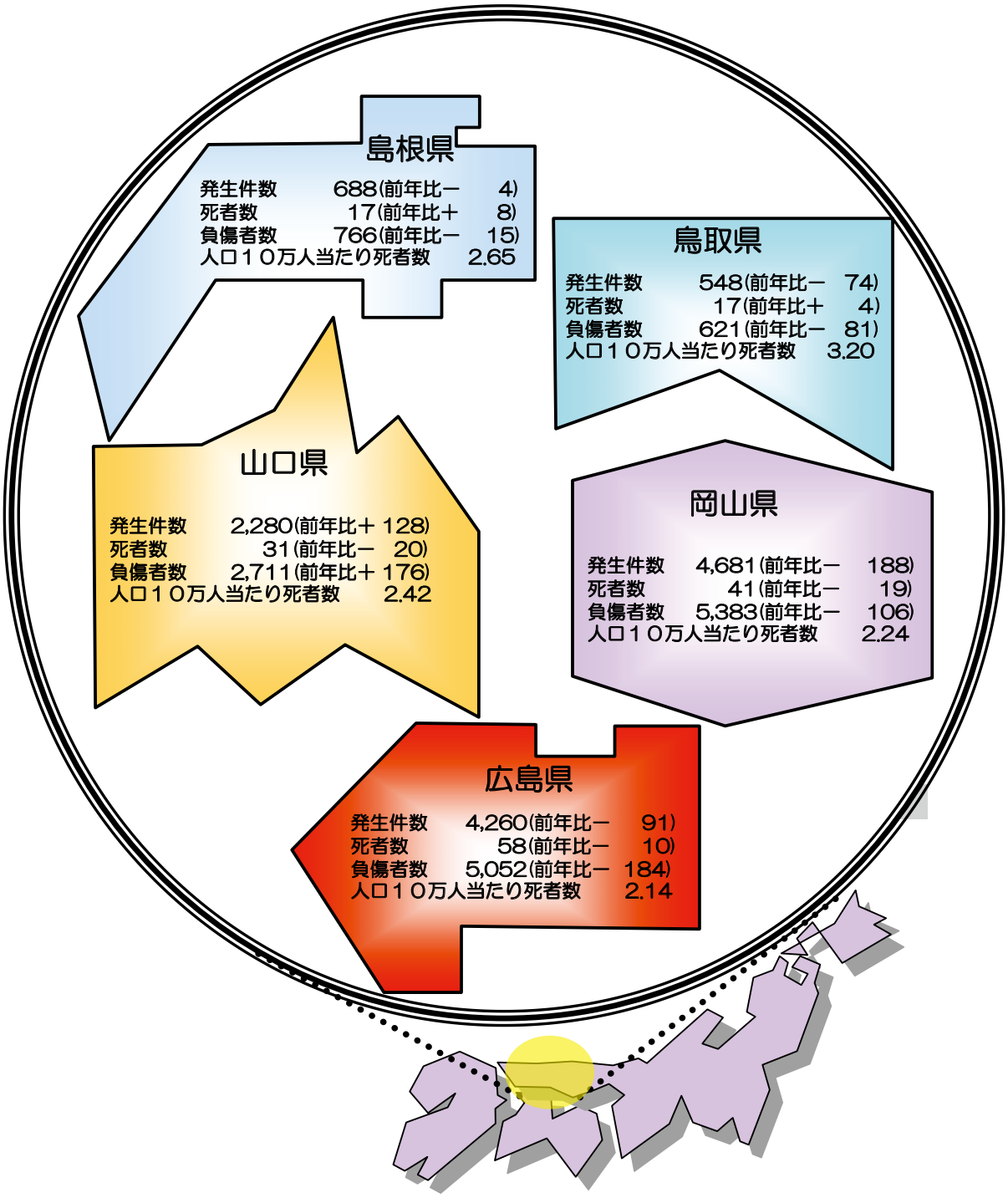

山口県は全国ワースト26位（前年は22位）

人口10万人当たりの死者数のワースト順位

| 順位 | 県名 | 10万人当たりの死者数 | 順位 | 県名 | 10万人当たりの死者数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 滋賀 | 3.85 | 8 | 三重 | 3.45 |
| 2 | 高知 | 3.81 | 9 | 岩手 | 3.41 |
| 3 | 大分 | 3.78 | 10 | 宮崎 | 3.29 |
| 4 | 和歌山 | 3.75 | | | |
| 5 | 秋田 | 3.68 | 26 | 山口 | 2.42 |
| 6 | 栃木 | 3.66 | | | |
| 7 | 愛媛 | 3.61 | 全国平均 | | 2.06 |

## 中国５県の交通事故

◎　発生件数、負傷者数は、山口県を除き減少
◎　死者数は、鳥取県、島根県を除き減少



## 山口県の位置づけ

| 区分＼順位 | | 1位 | 2位 | 3位 | 山口県 | 全国 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 人口 注1 2024.10.1現在 | | 東京都 14,178,000 | 神奈川県 9,225,000 | 大阪府 8,757,000 | 28位 1,281,000 | 123,802,000 |
| | うち高齢者 | 東京都 3,215,000 | 大阪府 2,418,000 | 神奈川県 2,400,000 | 25位 455,000 | 36,243,000 |
| | 構成率(%) | 秋田県 39.5 | 高知県 36.6 | 徳島県 35.9 | 6位 35.5 | 29.3 |
| 免許人口 2025.12.31現在 | | 東京都 8,289,743 | 神奈川県 5,669,278 | 愛知県 5,151,880 | 28位 873,787 | 81,510,369 |
| | うち高齢者 | 東京都 1,236,541 | 愛知県 1,160,721 | 神奈川県 1,089,839 | 25位 276,835 | 20,302,339 |
| | 構成率(%) | 秋田県 35.3 | 山形県 33.8 | 島根県 33.2 | 9位 31.7 | 24.9 |
| 自動車台数 注2 2024.12.31現在 | | 愛知県 5,734,014 | 東京都 4,970,431 | 神奈川県 4,704,817 | 28位 1,154,277 | 91,514,410 |
| | 県民1人当たりの台数 | 山梨県 1.08 | 長野県 1.06 | 群馬県 1.04 | 31位 0.90 | 0.74 |
| 道路実延長 (km) 2023.3.31現在 | | 北海道 90,774,497.0 | 茨城県 55,596,933.0 | 愛知県 50,755,919.0 | 33位 16,811,793.0 | 1,231,084,717.0 |
| | 舗装率(%) | 佐賀県 97.3 | 大阪府 96.5 | 香川県 96.3 | 5位 94.3 | 82.9 |
| 交通事故 | 発生件数 | 東京都 30,176 | 大阪府 25,056 | 愛知県 24,793 | 33位 2,280 | 287,023 |
| | 死者数 | 神奈川県 139 | 東京都 134 | 北海道 129 | 34位 31 | 2,547 |
| | 人口10万人当たり | 滋賀県 3.85 | 高知県 3.81 | 大分県 3.78 | 26位 2.42 | 2.06 |
| | 負傷者数 | 東京都 33,401 | 愛知県 28,938 | 大阪府 28,865 | 33位 2,711 | 338,508 |

注1：人口は令和6年10月1日現在総務省統計資料「人口推計」による

注2：自動車台数は原付、小特は除く

# 山口県の交通事故発生状況（令和７年中）

## 市町別の交通事故

高速道路等での発生を除く　注１

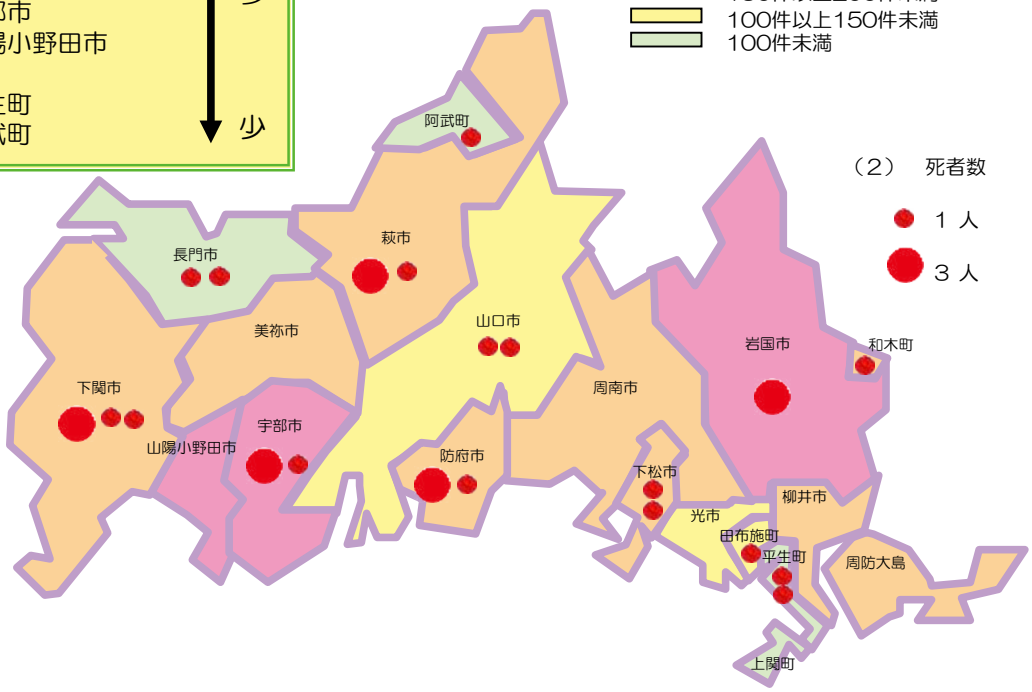
【人口１０万人当たりの発生件数】
１位　岩国市
２位　宇部市
３位　山陽小野田市
：
１７位　平生町
１８位　阿武町
（多 ↕ 少）

（１）人口10万人当たりの発生件数

200件以上
150件以上200件未満
100件以上150件未満
100件未満

（２）　死者数

１人
３人




## 交通事故を起こした人の居住地

県外、不明を除く　注２

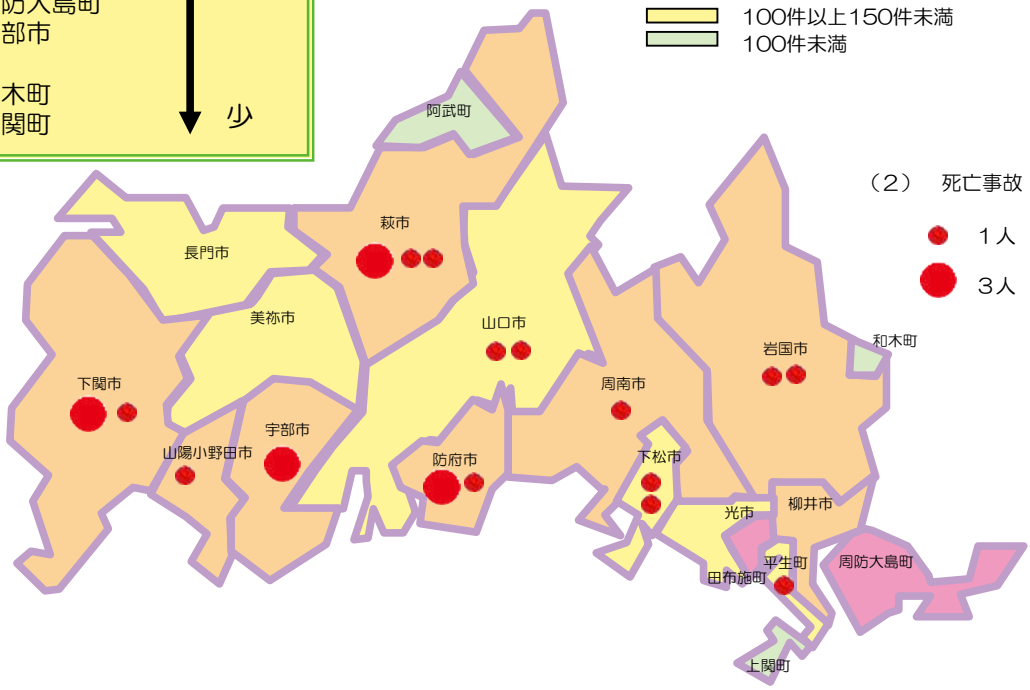
【人口１０万人当たりの発生件数】
１位　田布施町
２位　周防大島町
３位　宇部市
：
１７位　和木町
１８位　上関町
（多 ↕ 少）

（１）人口10万人当たりの発生件数

200件以上
150件以上200件未満
100件以上150件未満
100件未満

（２）　死亡事故

１人
３人




注１：高速道路等とは、中国縦貫自動車道、関門自動車道、山陽自動車道、山口宇部道路、小郡萩道路、国道２号自専道の一部をいい、発生件数５３件、死者数３人

注２：県外の人が山口県内で起こした交通事故発生件数は１９６件、死者数６人
　　当事者不明等による交通事故発生件数は８件

## 月別発生状況

注１

◎　発生件数は８月が最多で、年末年始である１２、１月にかけて増加
◎　８～１０月に死者が多い

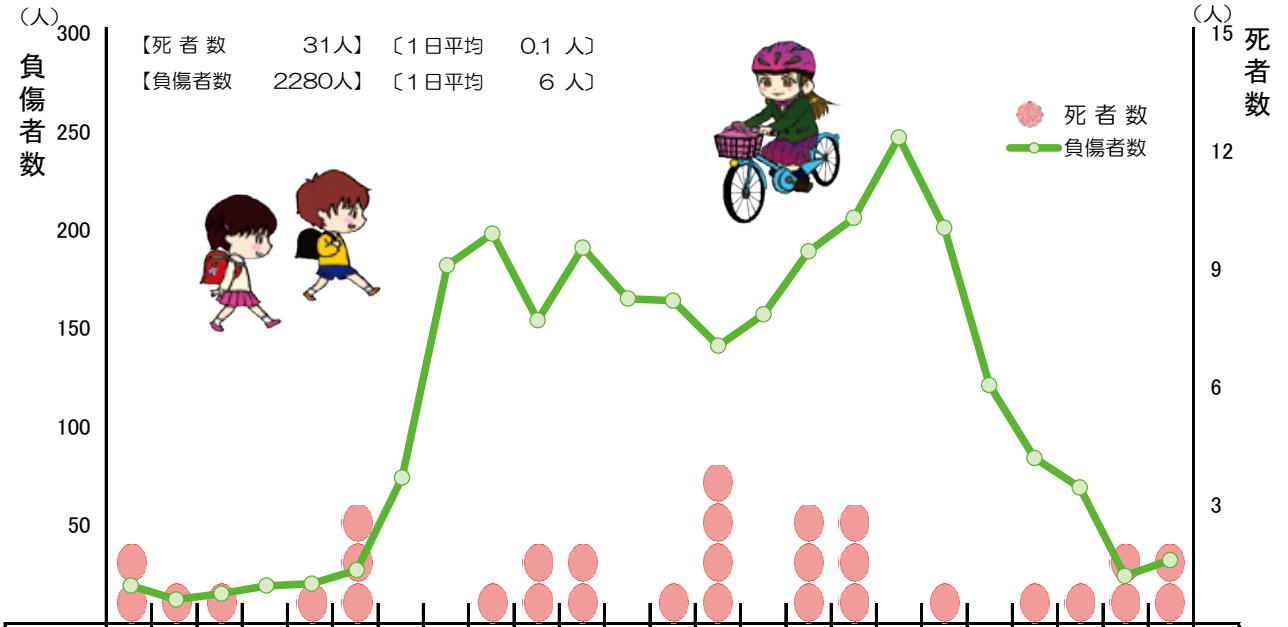





| 月　別 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 発生件数 | 196 | 161 | 181 | 176 | 203 | 171 | 190 | 233 | 181 | 186 | 190 | 212 | 2,280 |
| 死 者 数 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1 | 1 | 4 | 4 | 4 | 0 | 3 | 31 |

## 時間別発生状況

◎　登下校、出退勤の時間帯に多く発生




| 時間別 | 0時 | 2時 | 4時 | 6時 | 8時 | 10時 | 12時 | 14時 | 16時 | 18時 | 20時 | 22時 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死 者 数 | 2 | 1 | 1 | | 1 | 3 | | | 1 | 2 | 2 | | 1 | 4 | | 3 | 3 | | 1 | | 1 | 1 | 2 | 2 | 31 |
| 負傷者数 | 19 | 12 | 15 | 19 | 20 | 27 | 74 | 182 | 198 | 154 | 191 | 165 | 164 | 141 | 157 | 189 | 206 | 247 | 201 | 121 | 84 | 69 | 24 | 32 | 2,711 |

注１：事故発生月による集計

## 道路別発生状況

◎　市道での発生が多い

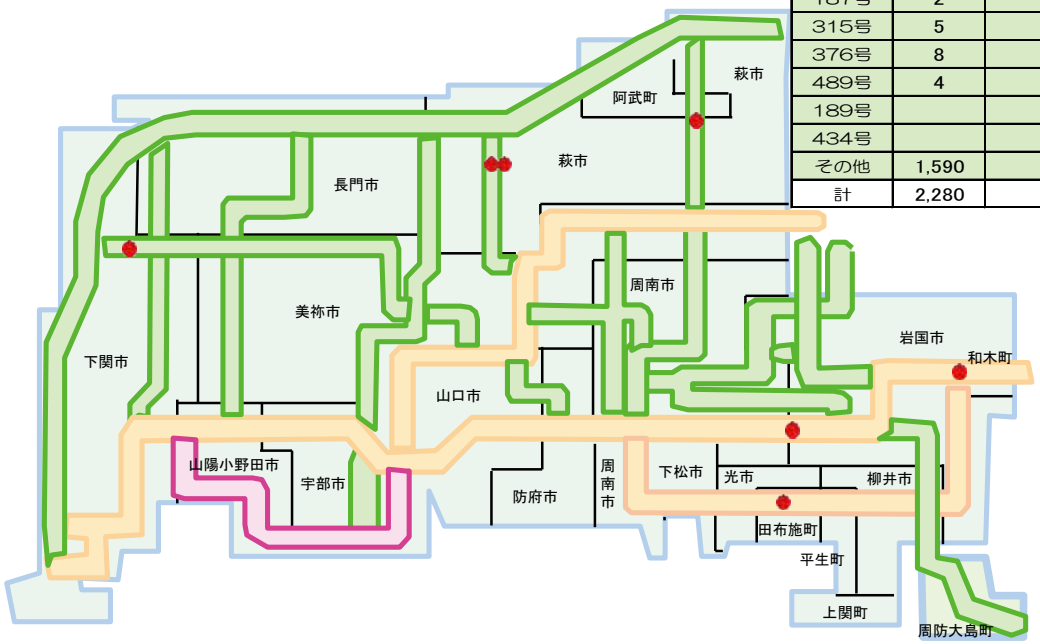
| | 国道 | 県道 | 市道 | 町道等 | 高速道路 |
|---|---|---|---|---|---|
| 発生件数 | 690件 注１ | 610件 | 738件 | 184件 | 高速道路 46件<br>自専道 12件 |
| 死者数 | 7人 | 6人 | 10人 | 5人 | 3人 |
| 10ｋｍあたり発生件数 | 6.18件 | 2.18件 | 0.73件 | | 2.26件 |

## 国道別発生状況

◎　１９０号、２号、１８８号で多く発生

死者
１キロ当たりの発生件数2.0件以上の国道
〃　〃　1.0件～2.0件の国道
〃　〃　0.0件～0.9件の国道

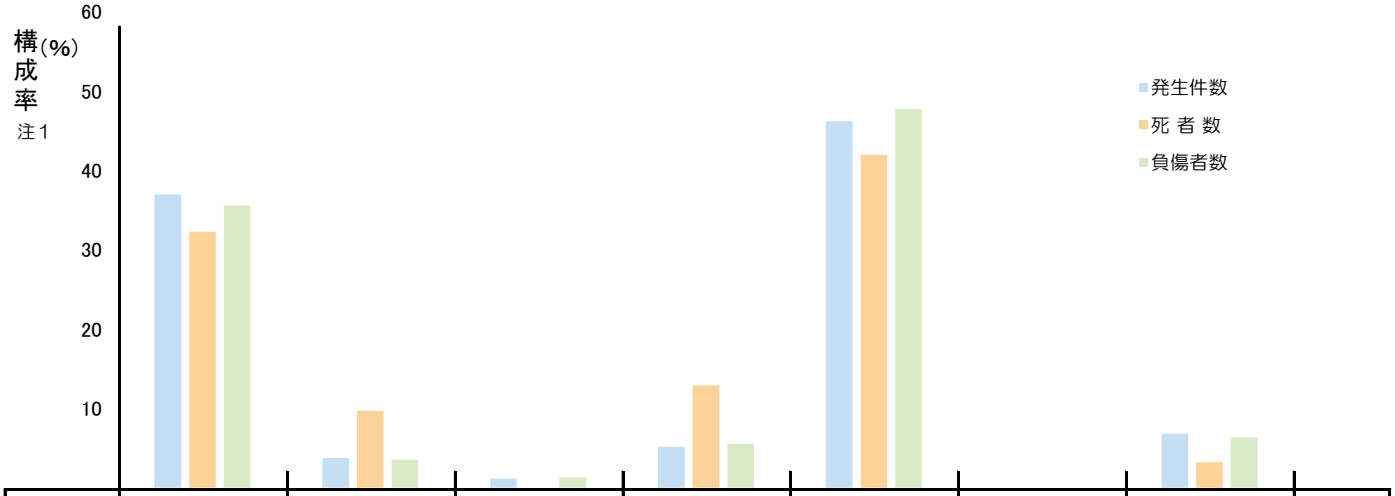
| 路線名 | 発生件数 | １キロ当たり | 死者数 |
|---|---|---|---|
| １９０号 | 92 | 2.1 | |
| ２号 | 246 | 1.6 | 2 |
| 188号 | 93 | 1.3 | 1 |
| ９号 | 70 | 1.0 | |
| 262号 | 29 | 0.6 | 2 |
| 191号 | 64 | 0.4 | |
| 491号 | 20 | 0.4 | |
| 490号 | 20 | 0.3 | |
| 316号 | 10 | 0.2 | |
| 435号 | 13 | 0.2 | 1 |
| 437号 | 14 | 0.2 | |
| 187号 | 2 | 0.1 | |
| 315号 | 5 | 0.1 | 1 |
| 376号 | 8 | 0.1 | |
| 489号 | 4 | 0.1 | |
| 189号 | | 0.0 | |
| 434号 | | 0.0 | |
| その他 | 1,590 | 0.1 | 24 |
| 計 | 2,280 | 0.1 | 31 |




注１：２号、４９０号は、指定自動車専用道区間であっても国道に含む
　　指定自動車専用区間（２号：０件、４９０号：０件）

## 道路形状別発生状況

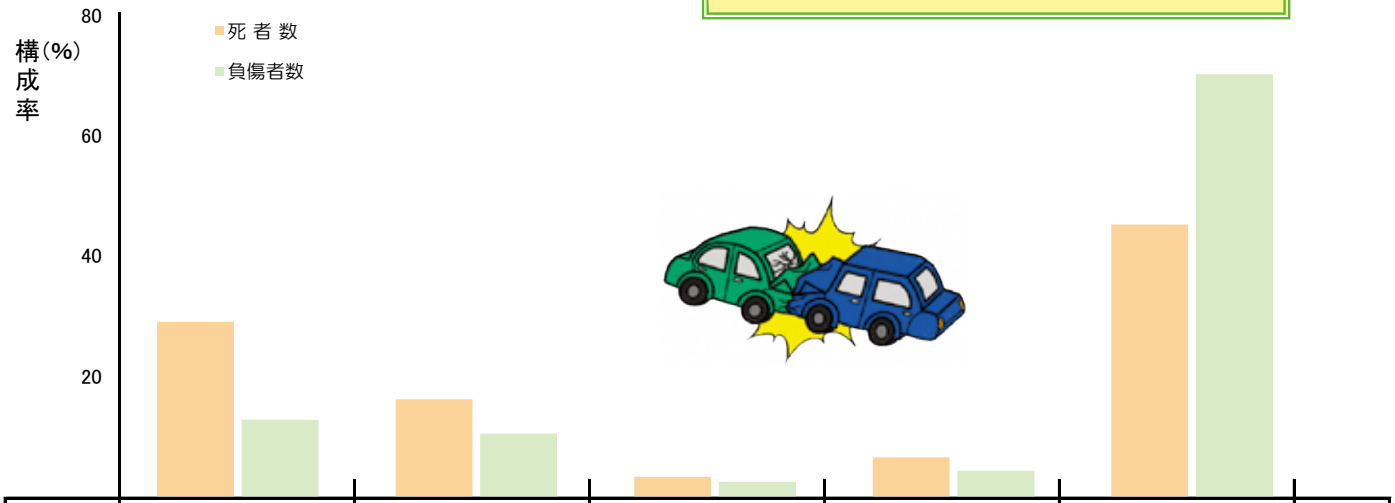
○　発生件数、死者数、負傷者数の全てで直路が最多




| 道路形状別 | 交差点 | 交差点付近 | トンネル・橋 | カーブ | 直　路 | 踏　切 | その他 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 発生件数 | 843 | 85 | 26 | 118 | 1,053 | | 155 | 2,280 |
| 構成率 | 37.0 | 3.7 | 1.1 | 5.2 | 46.2 | | 6.8 | 100.0 |
| 死 者 数 | 10 | 3 | | 4 | 13 | | 1 | 31 |
| 構成率 | 32.3 | 9.7 | | 12.9 | 41.9 | | 3.2 | 100.0 |
| 負傷者数 | 964 | 96 | 35 | 150 | 1,294 | | 172 | 2,711 |
| 構成率 | 35.6 | 3.5 | 1.3 | 5.5 | 47.7 | | 6.3 | 100.0 |

## 状態別死傷者数

死者の4割以上、負傷者の7割以上は自動車乗車中





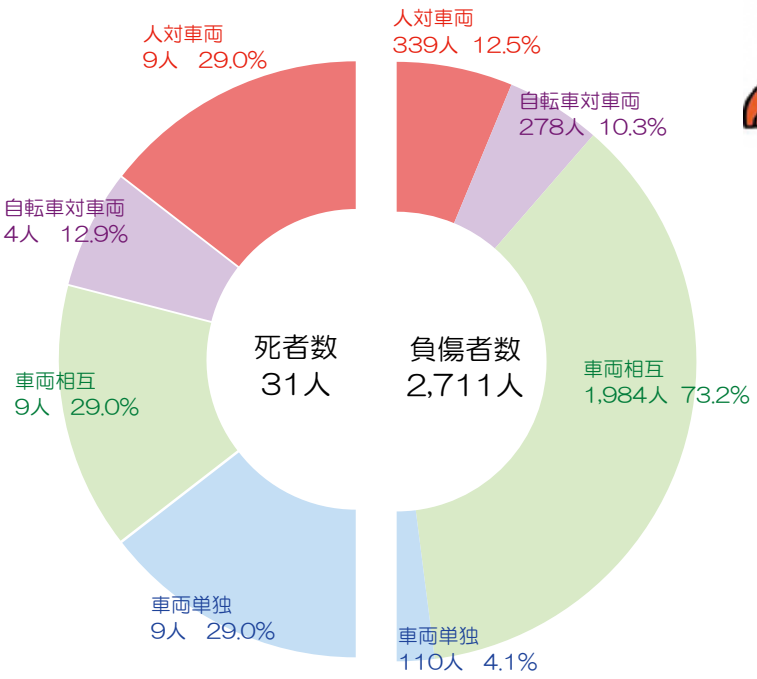

| 状 態 別 | 歩行者 | 自転車 | 原　付 | 自動二輪 | 自動車等 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 死 者 数 | 9 | 5 | 1 | 2 | 14 | 31 |
| 構成率 | 29.0 | 16.1 | 3.2 | 6.5 | 45.2 | 100.0 |
| 負傷者数 | 345 | 283 | 66 | 115 | 1,902 | 2,711 |
| 構成率 | 12.7 | 10.4 | 2.4 | 4.2 | 70.2 | 100.0 |

注１：構成率は、それぞれ全ての発生件数、死者数、負傷者数に占める比率

## 事故形態別死傷者数

車両相互による負傷者数が多い






## 交通死亡事故を起こしたドライバーの年齢層別発生状況

65歳以上のドライバーによる死者数が多い

※　ドライバー事故による死者数　　30人　注1

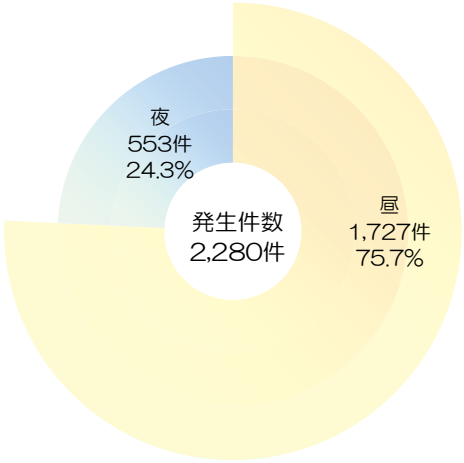


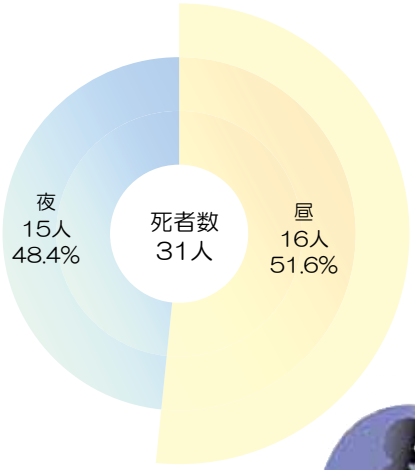



注1：ドライバー事故とは、原付以上の車両を運転して第1当事者となった事故をいう

## 昼夜別発生状況

交通事故の4分の３が昼間に発生している

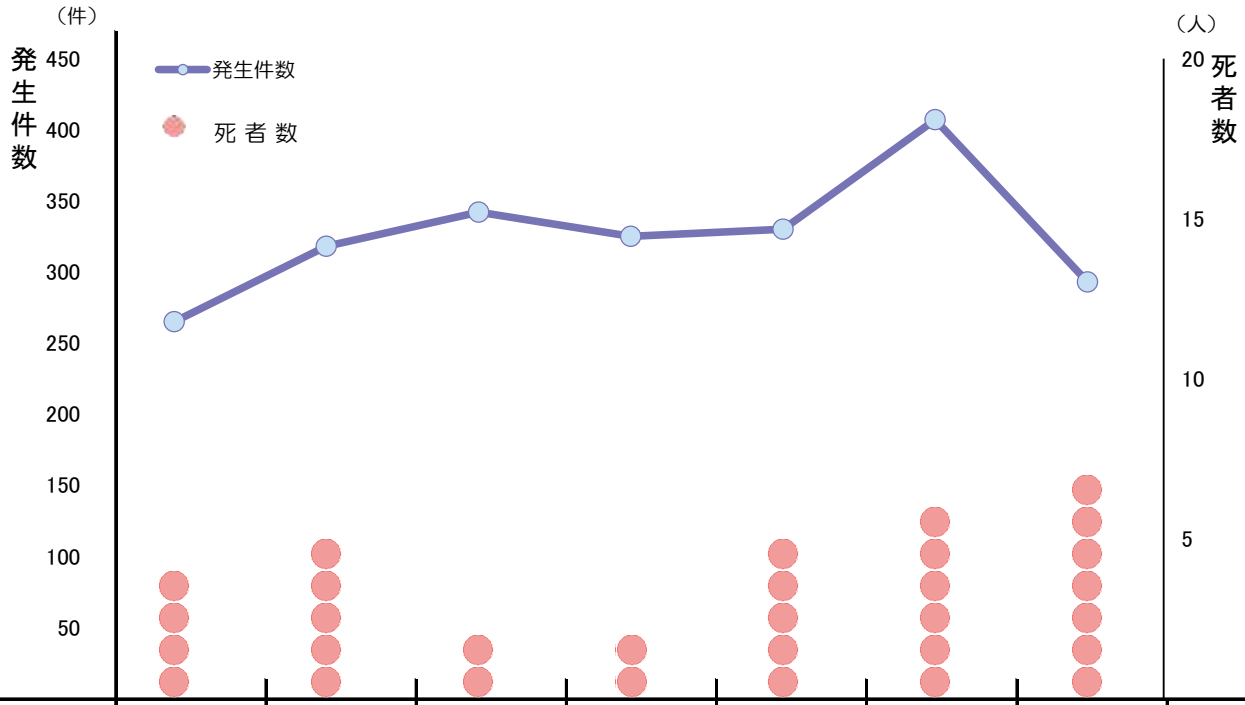





## 曜日別発生状況

発生は金曜日、死者は土曜日が多い

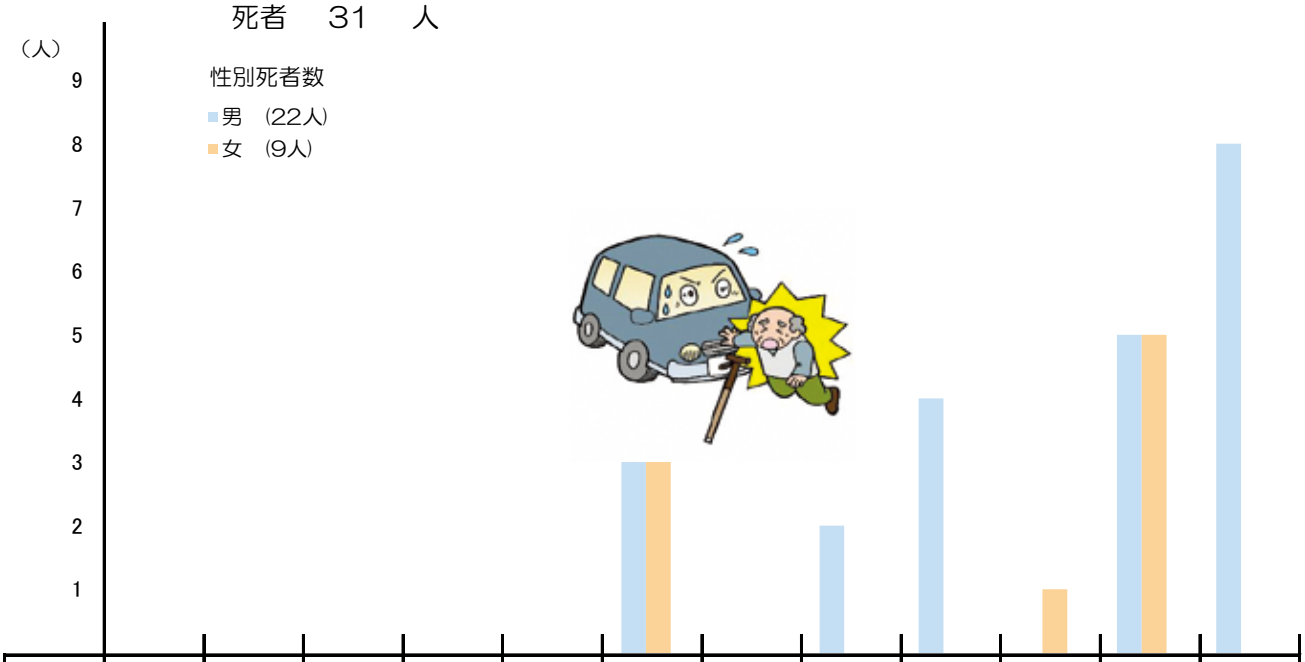



| 曜日別 | 日曜 | 月曜 | 火曜 | 水曜 | 木曜 | 金曜 | 土曜 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 発生件数 | 265 | 318 | 342 | 325 | 330 | 407 | 293 | 2,280 |
| 死者数 | 4 | 5 | 2 | 2 | 5 | 6 | 7 | 31 |

## 年齢層別・性別死傷者数

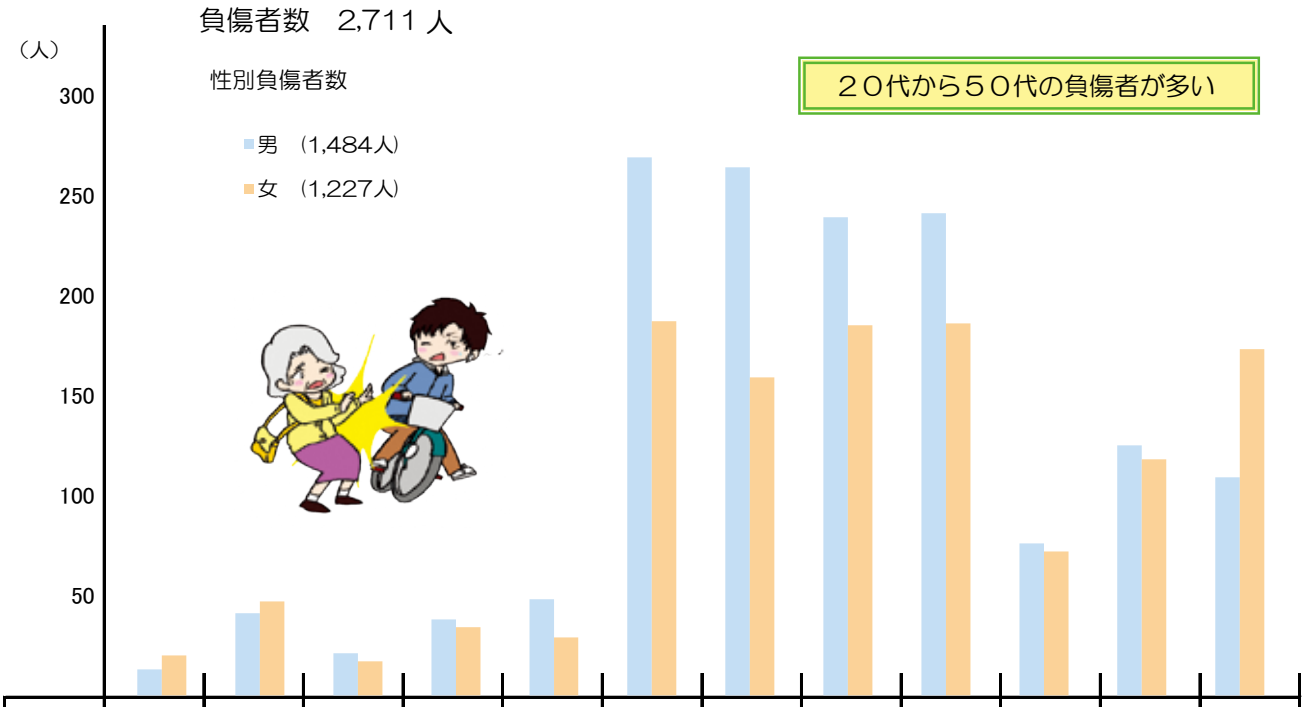
65歳以上の死者が多い

死者　31　人




| 年齢層別 | 幼　児 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | その他の10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60～64歳 | 65～74歳 | 75歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男 | | | | | | 3 | | 2 | 4 | | 5 | 8 |
| 女 | | | | | | 3 | | | | 1 | 5 | |

負傷者数　2,711 人



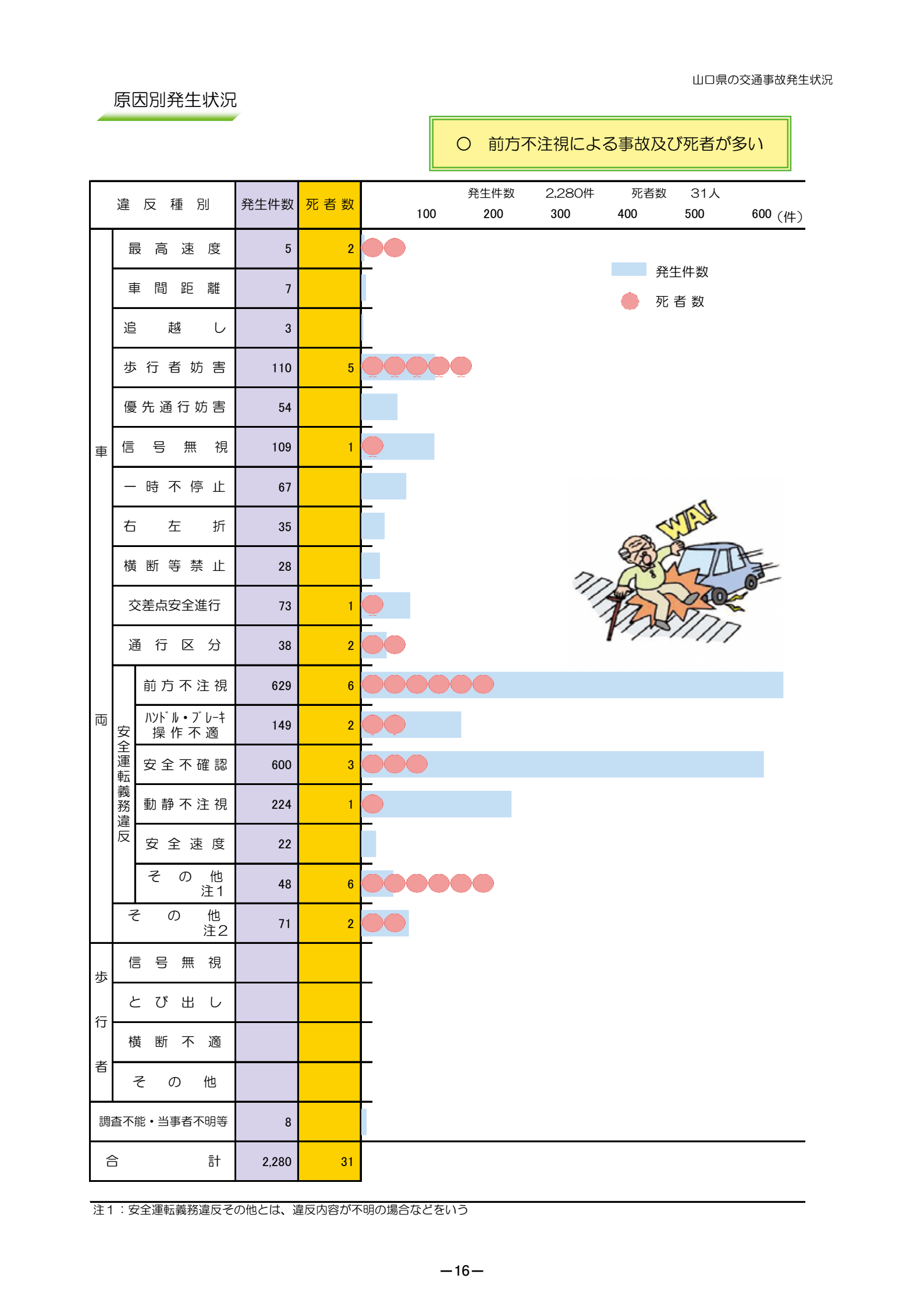

２０代から５０代の負傷者が多い

| 年齢層別 | 幼　児 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | その他の10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60～64歳 | 65～74歳 | 75歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男 | 13 | 41 | 21 | 38 | 48 | 269 | 264 | 239 | 241 | 76 | 125 | 109 |
| 女 | 20 | 47 | 17 | 34 | 29 | 187 | 159 | 185 | 186 | 72 | 118 | 173 |

## 原因別発生状況

○　前方不注視による事故及び死者が多い

| 違反種別 | | 発生件数 | 死者数 |
|---|---|---|---|
| 車両 | 最高速度 | 5 | 2 |
| | 車間距離 | 7 | |
| | 追越し | 3 | |
| | 歩行者妨害 | 110 | 5 |
| | 優先通行妨害 | 54 | |
| | 信号無視 | 109 | 1 |
| | 一時不停止 | 67 | |
| | 右左折 | 35 | |
| | 横断等禁止 | 28 | |
| | 交差点安全進行 | 73 | 1 |
| | 通行区分 | 38 | 2 |
| | 安全運転義務違反 前方不注視 | 629 | 6 |
| | 安全運転義務違反 ﾊﾝﾄﾞﾙ・ﾌﾞﾚｰｷ操作不適 | 149 | 2 |
| | 安全運転義務違反 安全不確認 | 600 | 3 |
| | 安全運転義務違反 動静不注視 | 224 | 1 |
| | 安全運転義務違反 安全速度 | 22 | |
| | 安全運転義務違反 その他 注1 | 48 | 6 |
| | その他 注2 | 71 | 2 |
| 歩行者 | 信号無視 | | |
| | とび出し | | |
| | 横断不適 | | |
| | その他 | | |
| 調査不能・当事者不明等 | | 8 | |
| 合計 | | 2,280 | 31 |

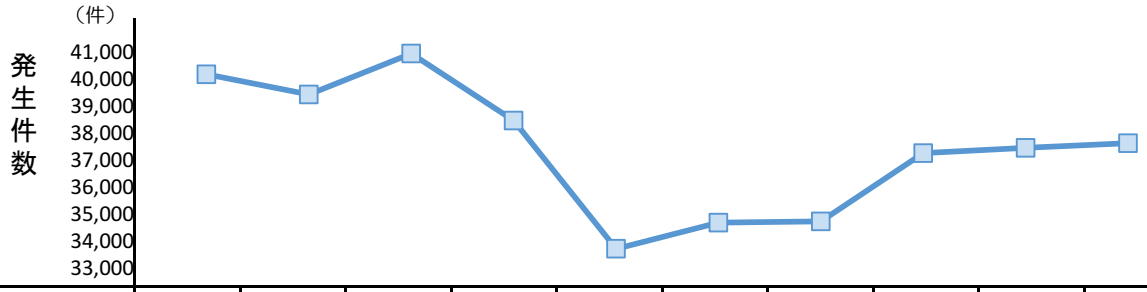



注１：安全運転義務違反その他とは、違反内容が不明の場合などをいう

## 物損事故発生状況

物損事故発生件数は前年に比べ増加している

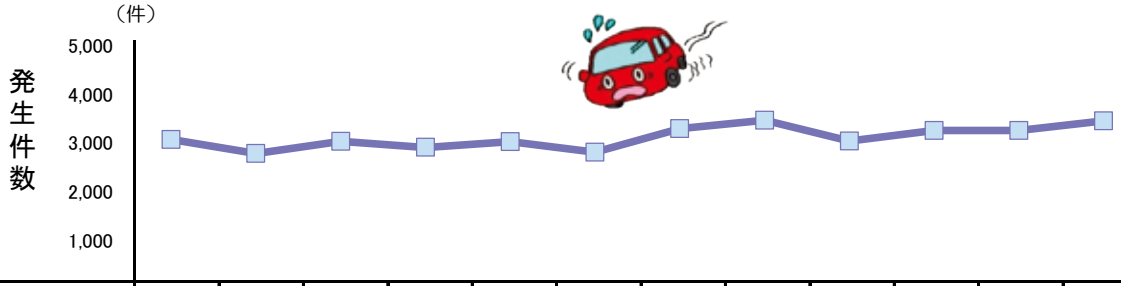
### 年別推移




| 年　　別 | 28年 | 29年 | 30年 | 元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 物損事故 | 40,178 | 39,436 | 40,942 | 38,465 | 33,724 | 34,690 | 34,744 | 37,263 | 37,462 | 37,626 |

### 月別発生件数

月別では１２月が多い

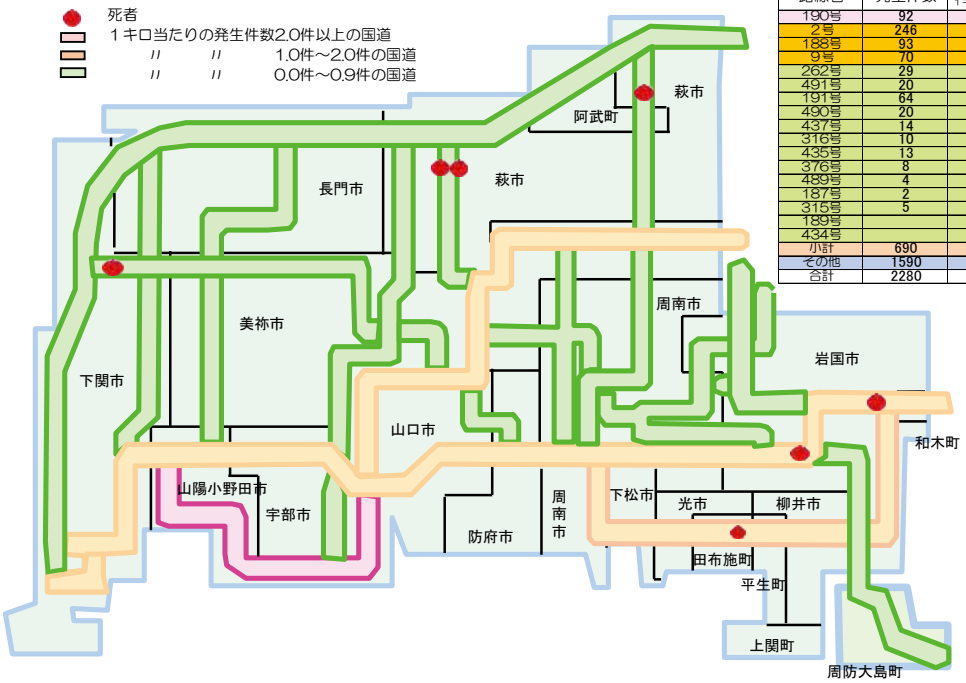



| 月　　別 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 物損事故 | 2,962 | 3,075 | 3,129 | 2,860 | 2,833 | 2,943 | 3,322 | 3,441 | 3,018 | 3,362 | 3,181 | 3,500 | 37,626 |

## 国道における交通事故

国道１９０号の発生が多い

注１




| 路線名 | 発生件数 | １キロ当たり | 死者数 |
|---|---|---|---|
| 190号 | 92 | 2 | |
| 2号 | 246 | 2 | 2 |
| 188号 | 93 | 1 | 1 |
| 9号 | 70 | 1 | |
| 262号 | 29 | 1 | 2 |
| 491号 | 20 | 0 | |
| 191号 | 64 | 0 | |
| 490号 | 20 | 0 | |
| 437号 | 14 | 0 | |
| 316号 | 10 | 0 | |
| 435号 | 13 | 0 | 1 |
| 376号 | 8 | 0 | |
| 489号 | 4 | 0 | |
| 187号 | 2 | 0 | |
| 315号 | 5 | 0 | 1 |
| 189号 | | | |
| 434号 | | | |
| 小計 | 690 | － | 7 |
| その他 | 1590 | － | 24 |
| 合計 | 2280 | － | 31 |

注１：２号、４９０号は、指定自動車専用道区間であっても国道に含む

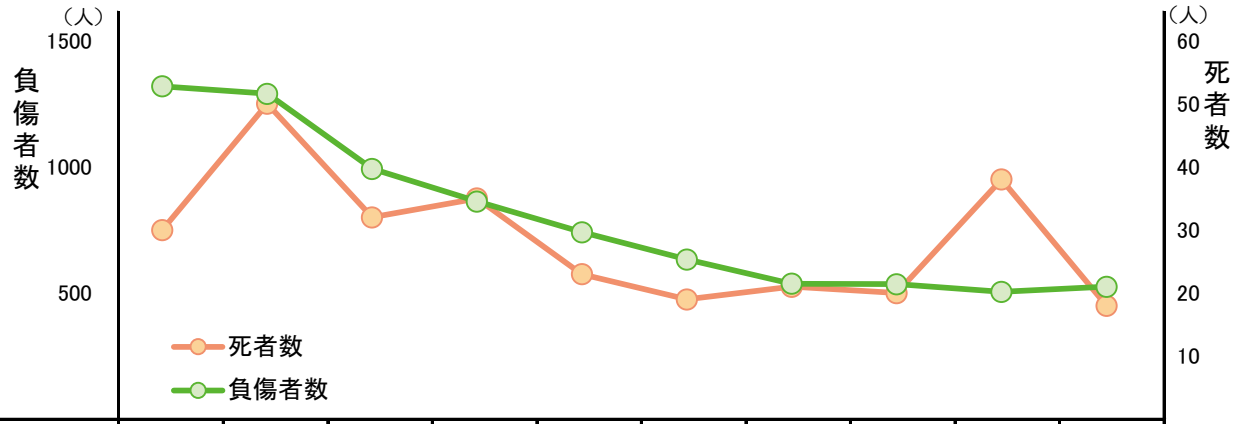
## 高齢者（６５歳以上）の交通事故

●高齢者の事故実態

【 死者数　１８人　負傷者数　５２５人 】

### 年別推移

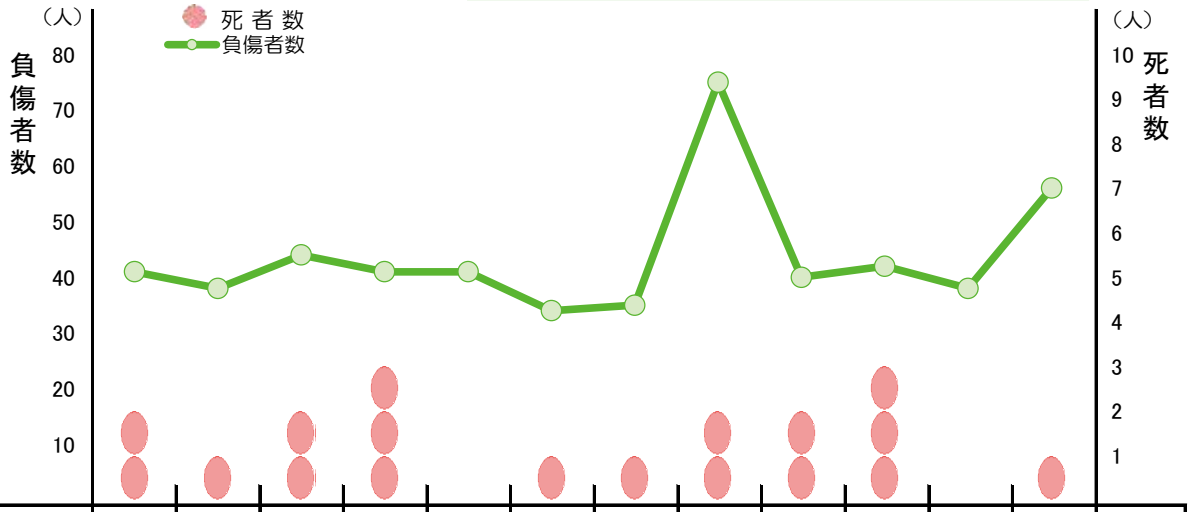
死者数に占める高齢者の割合が高い




| 年　　別 | 28年 | 29年 | 30年 | 元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死　者　数 | 30 | 50 | 32 | 35 | 23 | 19 | 21 | 20 | 38 | 18 |
| 構成率 注1 | 46.9 | 63.3 | 61.5 | 77.8 | 54.8 | 55.9 | 67.7 | 57.1 | 74.5 | 58.1 |
| 負 傷 者 数 | 1,319 | 1,290 | 992 | 863 | 741 | 633 | 537 | 535 | 505 | 525 |
| 構成率 | 19.8 | 21.3 | 20.2 | 22.0 | 23.4 | 21.5 | 20.4 | 19.8 | 19.9 | 19.4 |

### 月別死傷者数　注2

死者数は４月と10月、負傷者数は８月が多い



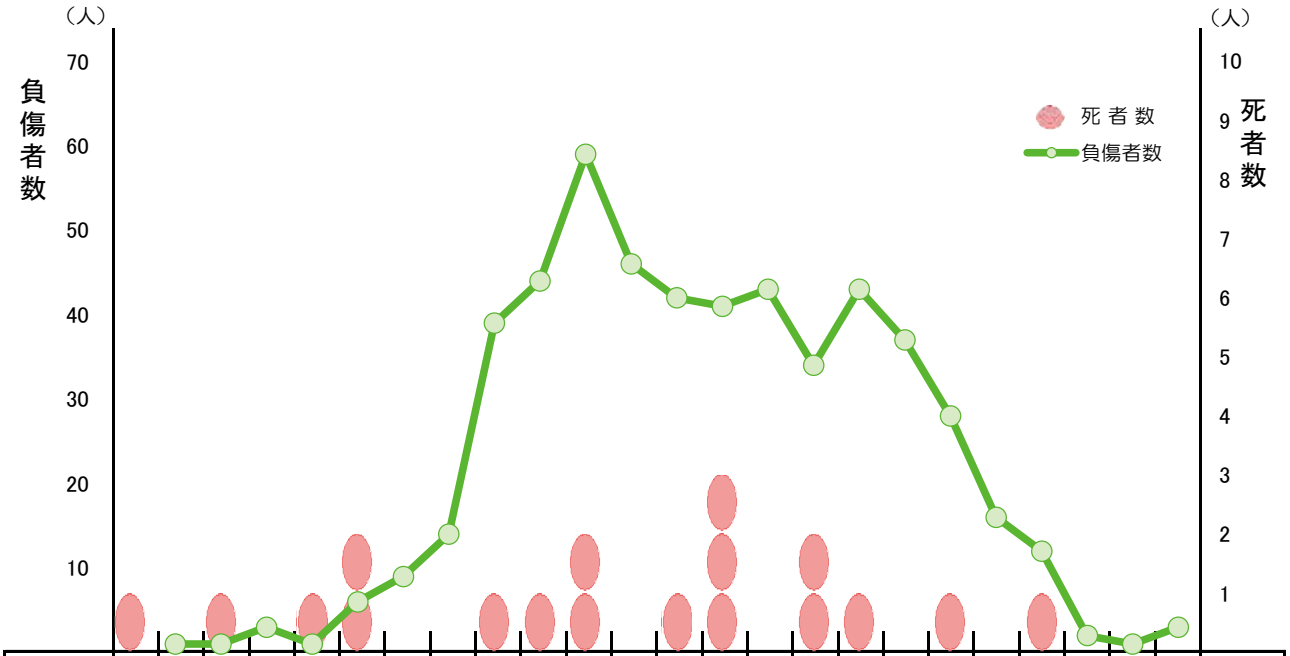

| 月　　別 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死　者　数 | 2 | 1 | 2 | 3 | | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 | | 1 | 18 |
| 負 傷 者 数 | 41 | 38 | 44 | 41 | 41 | 34 | 35 | 75 | 40 | 42 | 38 | 56 | 525 |

注１：構成率は、それぞれ全ての死者数、負傷者数に占める比率

注２：事故発生月による集計

## 時間別死傷者数

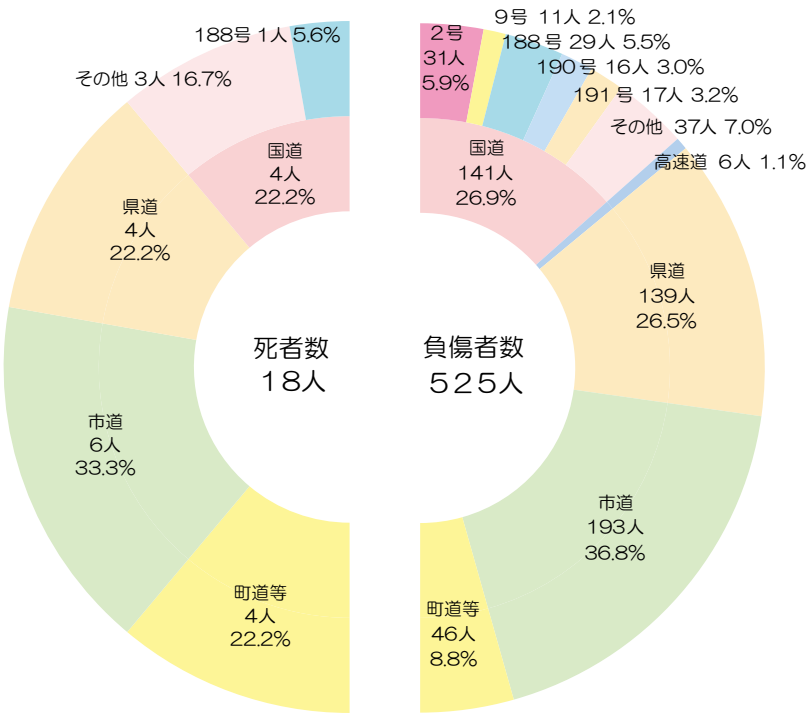
**１０時台の負傷者が多い**




| 時間別 | 0時 | 2時 | 4時 | 6時 | 8時 | 10時 | 12時 | 14時 | 16時 | 18時 | 20時 | 22時 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死者数 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | 1 | 18 |
| 負傷者数 | 1 | 1 | 3 | 1 | 6 | 9 | 14 | 39 | 44 | 59 | 46 | 42 | 41 | 43 | 34 | 43 | 37 | 28 | 16 | 12 | 2 | 1 | 3 | 525 |

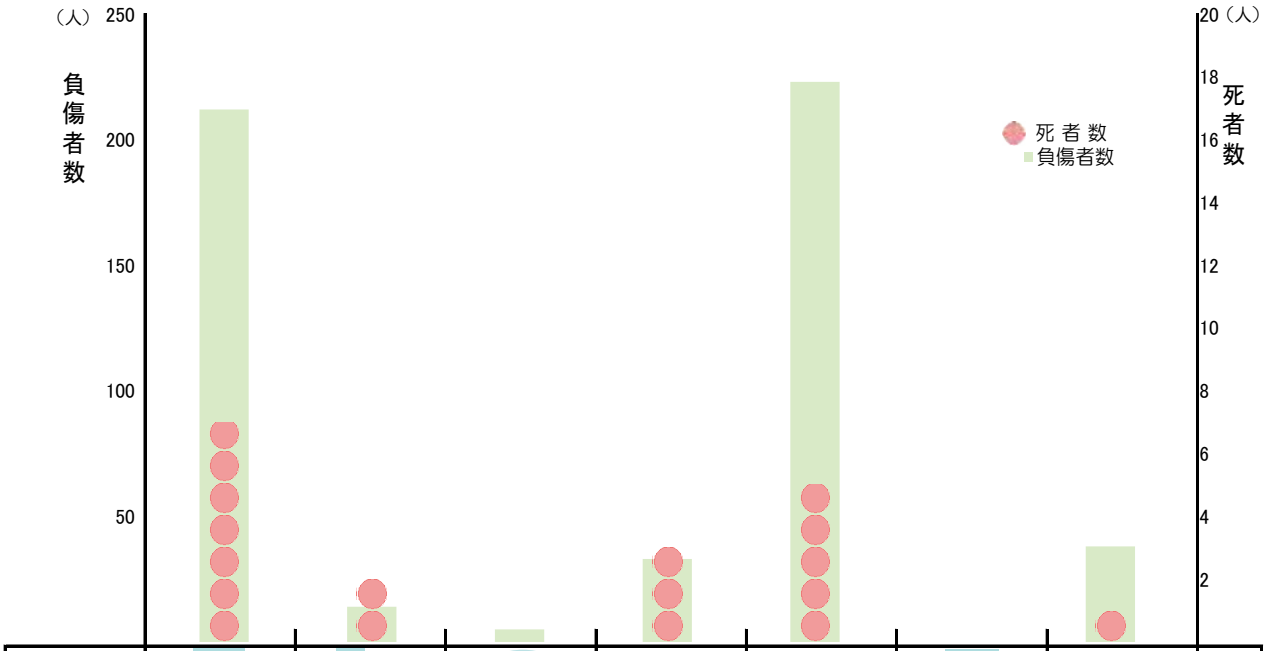
## 道路別死傷者数

**死者、負傷者ともに市道での発生が多い**



## 道路形状別死傷者数

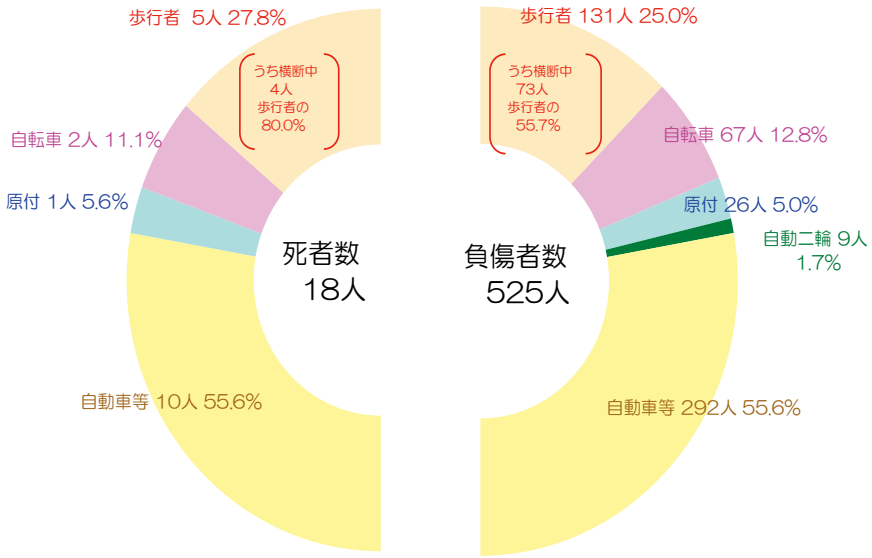
死者は交差点、負傷者は直路が多い




| 道路形状別 | 交差点 | 交差点付近 | 橋・トンネル | カーブ | 直　路 | 踏　切 | その他 注1 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死　者　数 | 7 | 2 | | 3 | 5 | | 1 | 18 |
| 負 傷 者 数 | 212 | 14 | 5 | 33 | 223 | | 38 | 525 |

## 状態別死傷者数

○　自動車乗車中の死者・負傷者が多い
○　歩行者の道路横断中の事故が多い　注2




注1：道路形状別のその他とは、高速道路等に付属して設けられるSA、PAや道の駅等をいう

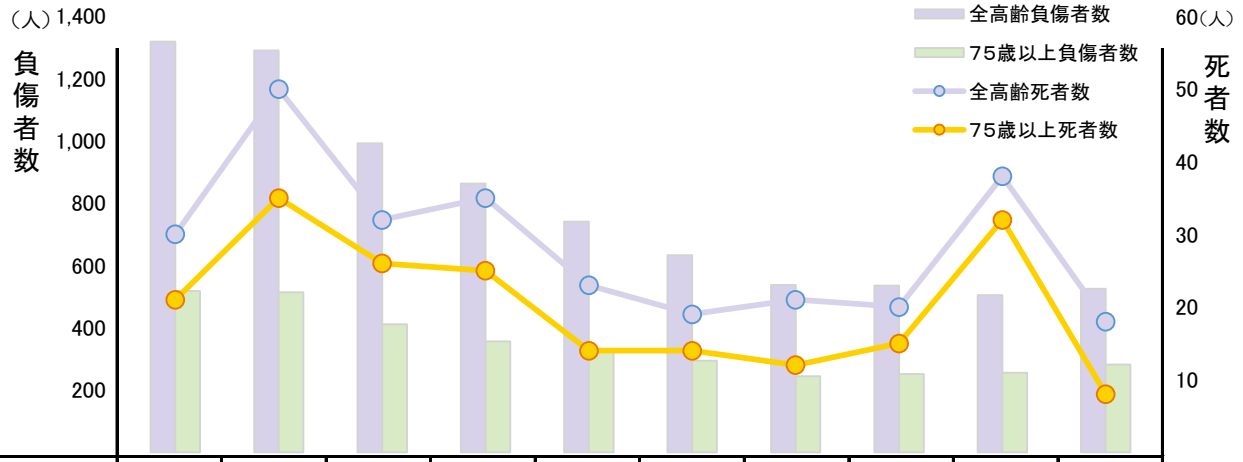
注2：歩行形態には「道路横断中」「対面通行」「背面通行」「路上作業」「路上横臥」などがある

## ●７５歳以上高齢者の事故実態

【 死者数 8人 負傷者数 282人 】

### 年別推移

75歳以上の死者が過去最少

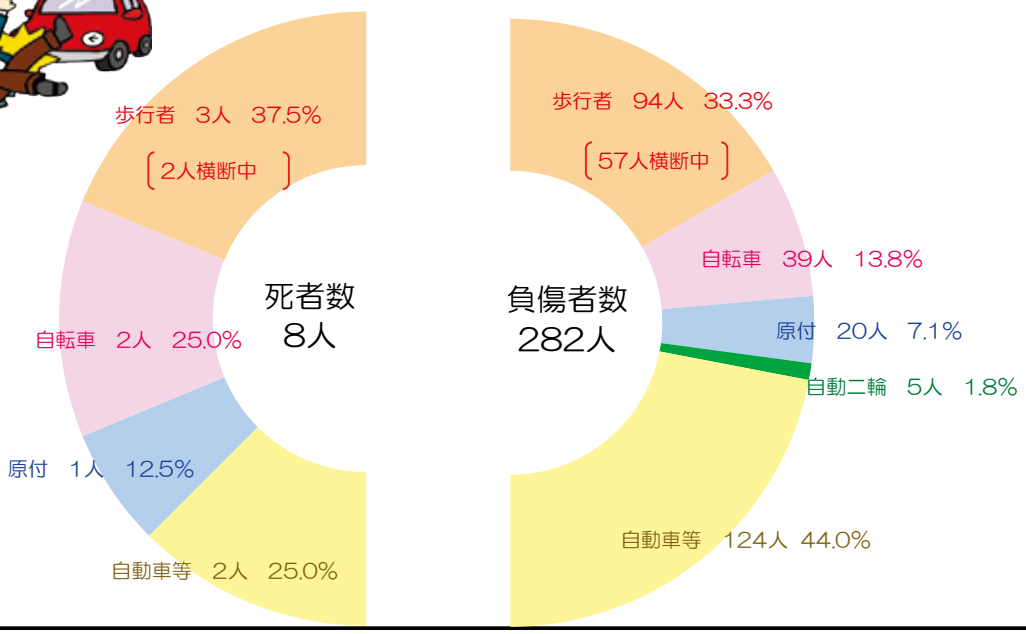



| 年　　別 | 28年 | 29年 | 30年 | 元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全 死 者 数 | 64 | 79 | 52 | 45 | 42 | 34 | 31 | 35 | 51 | 31 |
| 全高齢死者数 | 30 | 50 | 32 | 35 | 23 | 19 | 21 | 20 | 38 | 18 |
| ７５歳以上死者数 | 21 | 35 | 26 | 25 | 14 | 14 | 12 | 15 | 32 | 8 |
| 構成率 注1 | 32.8 | 44.3 | 50.0 | 55.6 | 33.3 | 41.2 | 38.7 | 42.9 | 62.7 | 25.8 |
| 全 負 傷 者 数 | 6,660 | 6,046 | 4,921 | 3,922 | 3,161 | 2,948 | 2,633 | 2,699 | 2,535 | 2,710 |
| 全高齢負傷者数 | 1,319 | 1,290 | 992 | 863 | 741 | 633 | 537 | 535 | 505 | 525 |
| ７５歳以上負傷者数 | 518 | 514 | 411 | 356 | 325 | 294 | 244 | 251 | 255 | 282 |
| 構成率 注1 | 7.8 | 8.5 | 8.4 | 9.1 | 10.3 | 10.0 | 9.3 | 9.3 | 10.1 | 10.4 |

### 状態別死傷者数

歩行中の死者数が多い



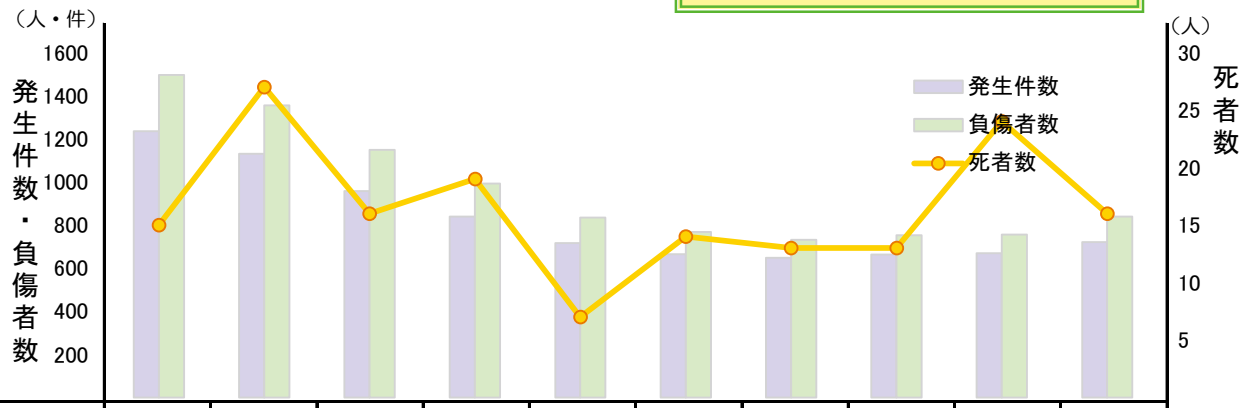



注1：構成率はそれぞれ全ての死者数、負傷者数に占める比率

## ●高齢ドライバーの事故実態 注1

### 年別推移

全事故に占める割合が増加傾向

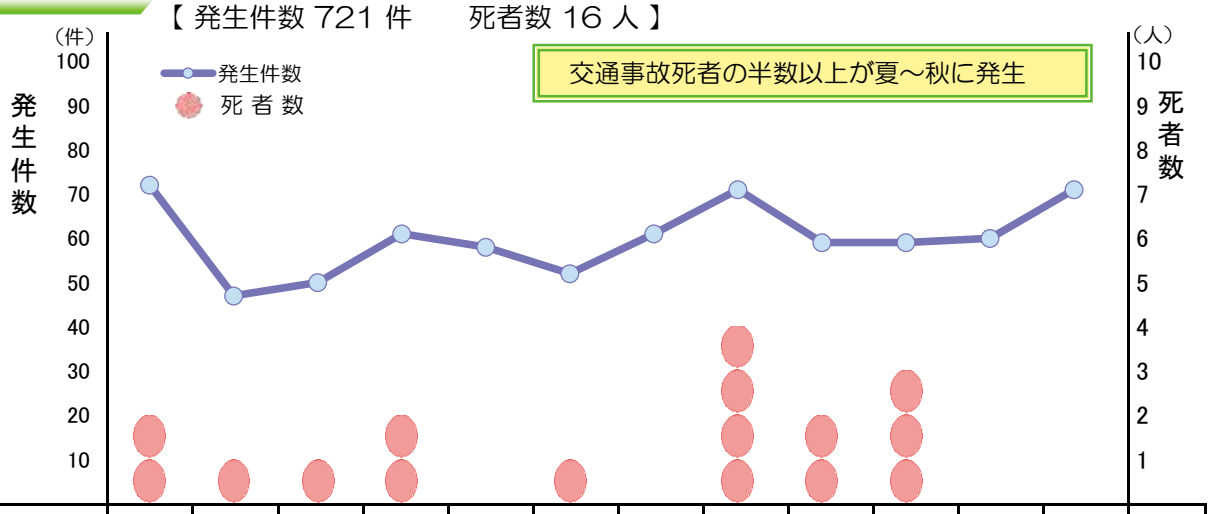



| 年別 | 28年 | 29年 | 30年 | 元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 高齢者の運転免許人口 注2 | 249,954 | 256,341 | 262,201 | 264,171 | 266,869 | 269,238 | 270,808 | 274,245 | 276,184 | 276,835 |
| 構成率 注3 | 26.9 | 27.8 | 28.5 | 29.0 | 29.4 | 29.9 | 30.3 | 30.8 | 31.3 | 31.7 |
| 指数 注4 | 100 | 103 | 105 | 106 | 107 | 108 | 108 | 110 | 110 | 111 |
| 発生件数 | 1,235 | 1,131 | 958 | 839 | 716 | 664 | 648 | 663 | 670 | 721 |
| 構成率 | 23.4 | 23.5 | 24.3 | 26.5 | 27.6 | 27.5 | 29.2 | 29.6 | 31.6 | 32.0 |
| 指数 | 100 | 92 | 78 | 68 | 58 | 54 | 52 | 54 | 54 | 58 |
| 死者数 | 15 | 27 | 16 | 19 | 7 | 14 | 13 | 13 | 24 | 16 |
| 構成率 | 24.2 | 36.5 | 30.8 | 47.5 | 18.9 | 42.4 | 43.3 | 39.4 | 50.0 | 53.3 |
| 指数 | 100 | 180 | 107 | 127 | 47 | 93 | 87 | 87 | 160 | 107 |
| 負傷者数 | 1,495 | 1,354 | 1,149 | 993 | 834 | 768 | 732 | 752 | 755 | 839 |
| 構成率 | 22.9 | 22.8 | 23.7 | 25.6 | 26.8 | 26.5 | 28.3 | 28.2 | 30.2 | 31.3 |
| 指数 | 100 | 91 | 77 | 66 | 56 | 51 | 49 | 50 | 51 | 56 |

### 月別発生状況

【 発生件数 721 件　　死者数 16 人 】

交通事故死者の半数以上が夏～秋に発生




| 月別 注5 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 発生件数 | 72 | 47 | 50 | 61 | 58 | 52 | 61 | 71 | 59 | 59 | 60 | 71 | 721 |
| 死者数 | 2 | 1 | 1 | 2 |  | 1 |  | 4 | 2 | 3 |  |  | 16 |

注1：高齢ドライバーの事故とは、高齢者が原付以上の車両を運転して第1当事者となった事故をいう

注2：運転免許人口は各年の12月末現在

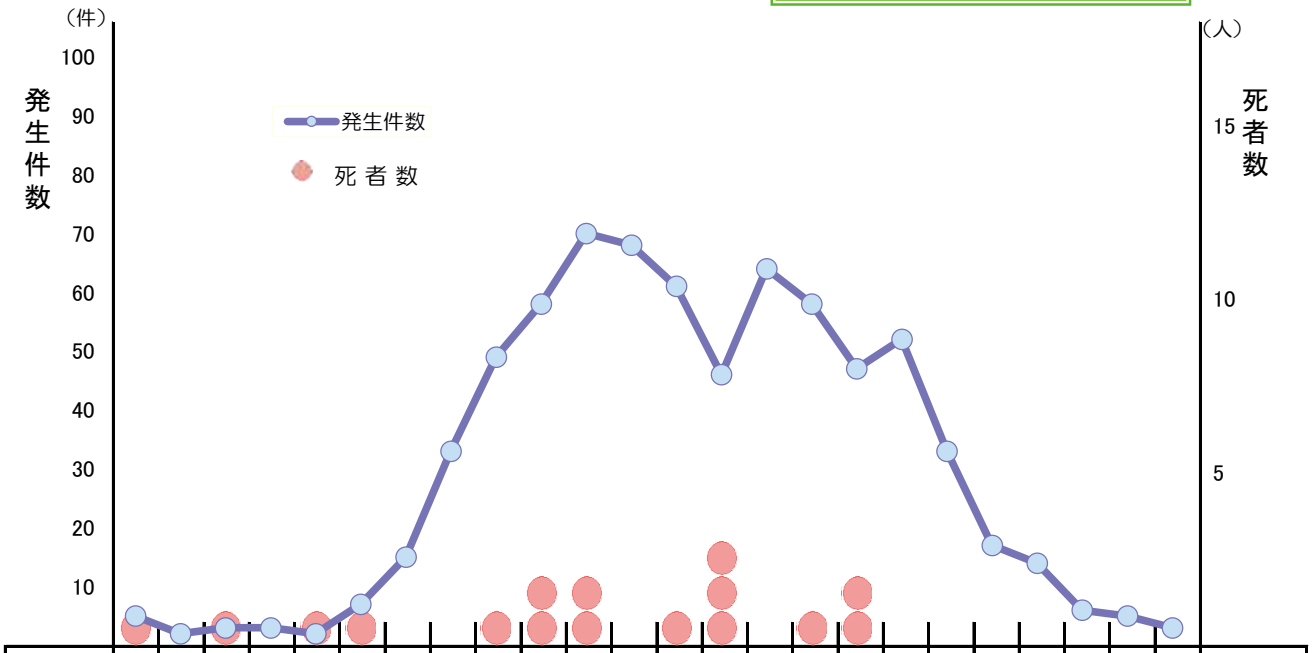
注3：構成率は、それぞれ全ての発生件数、死者数、負傷者数に占める比率

注4：指数は、平成２７年を１００としたものである

注５：月別は事故発生月による集計

## 時間別発生状況

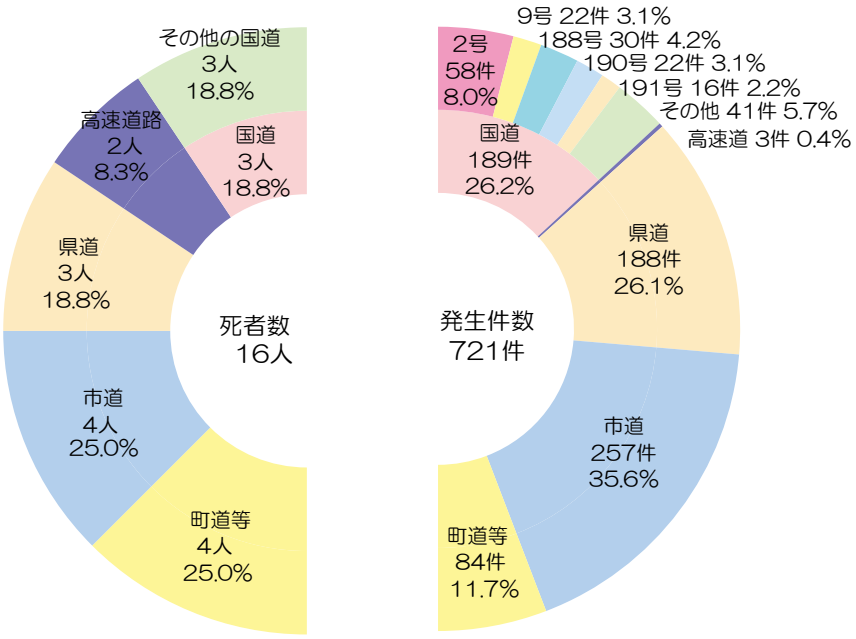
１０～１１時台の発生が多い




| 時間別 | 0時 | 2時 | 4時 | 6時 | 8時 | 10時 | 12時 | 14時 | 16時 | 18時 | 20時 | 22時 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 発生件数 | 5 | 2 | 3 | 3 | 2 | 7 | 15 | 33 | 49 | 58 | 70 | 68 | 61 | 46 | 64 | 58 | 47 | 52 | 33 | 17 | 14 | 6 | 5 | 3 | 721 |
| 死者数 | 1 | | 1 | | 1 | 1 | | | 1 | 2 | 2 | | 1 | 3 | | 1 | 2 | | | | | | | | 16 |

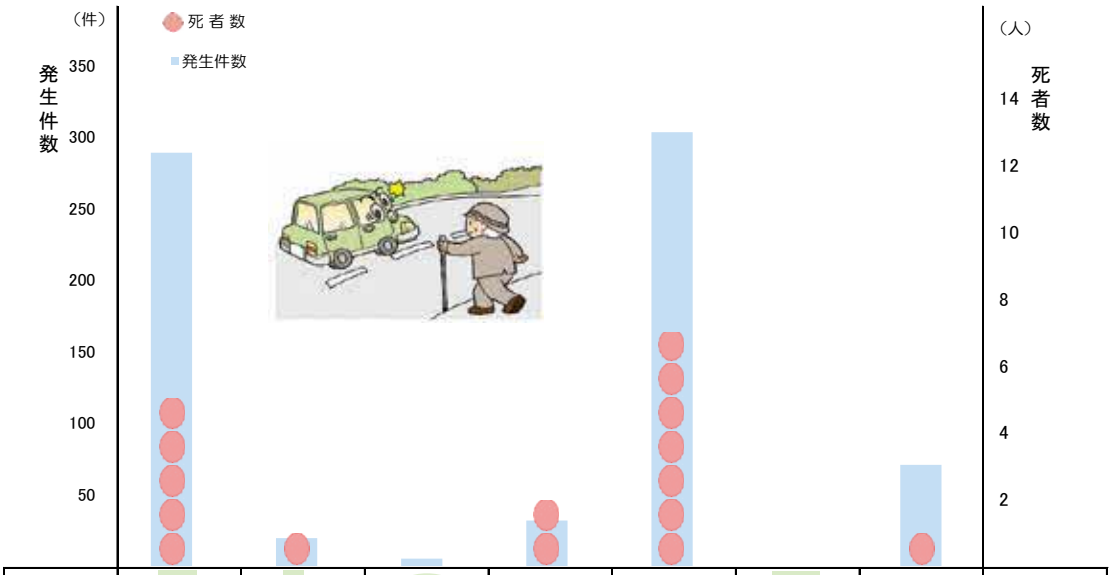
## 道路別発生状況

市道での発生が多い



## 道路形状別発生状況

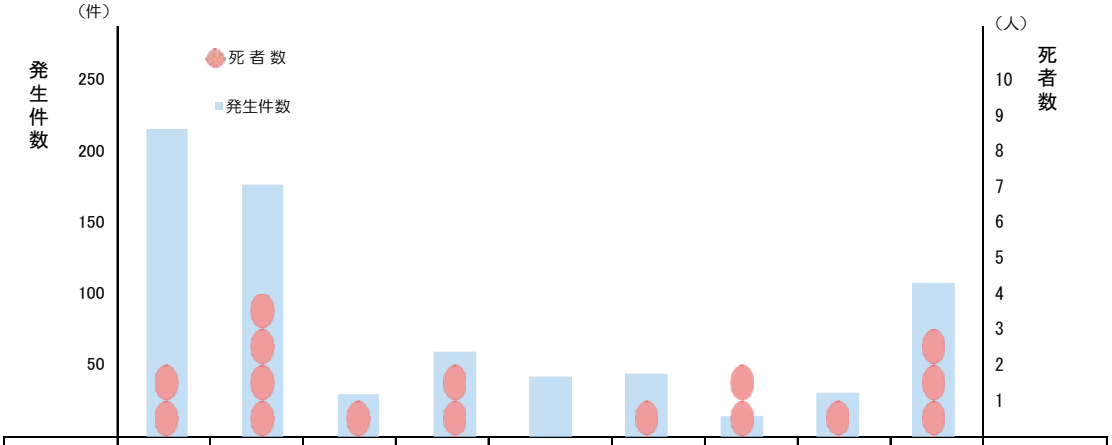
**直路での発生が多い**




| 道路形状別 | 交差点 | 交差点付近 | 橋・トンネル | カーブ | 直路 | 踏切 | その他 注1 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 発生件数 | 289 | 20 | 6 | 32 | 303 | | 71 | 721 |
| 死者数 | 5 | 1 | | 2 | 7 | | 1 | 16 |

## 原因別発生状況

**安全不確認による事故が多い**



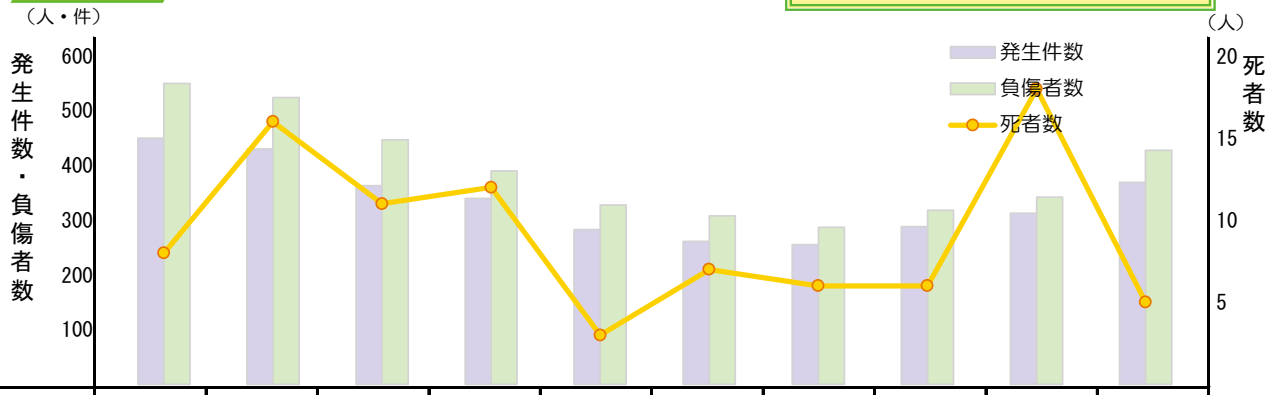

| 原因別 | 安全不確認 | 前方不注視 | 交差点安全進行 | 操作不適 | 動静不注視 | 歩行者妨害 | 右側通行 | 信号無視 | その他 注2 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 発生件数 | 216 | 177 | 30 | 59 | 42 | 44 | 14 | 31 | 108 | 721 |
| 死者数 | 2 | 4 | 1 | 2 | | 1 | 2 | 1 | 3 | 16 |

注１：道路形状別のその他とは、高速道路等に付属して設けられるSA、PAや道の駅等をいう
注２：原因別のその他とは、一時不停止、横断等禁止などの原因をいう

## ●７５歳以上高齢ドライバーの事故実態　注1

### 年別推移

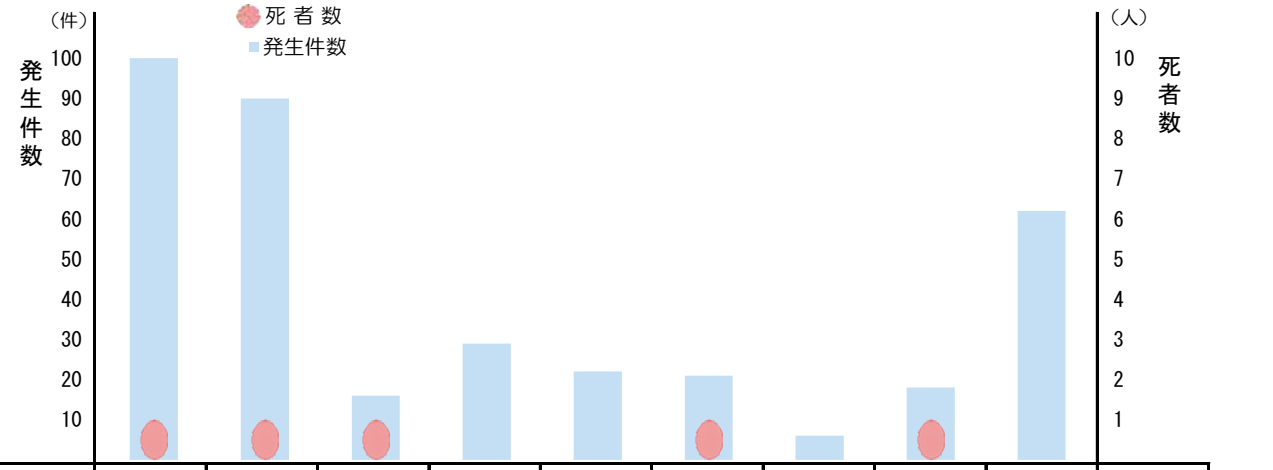
全事故に占める割合が増加傾向




| 年　別 | | 28年 | 29年 | 30年 | 元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ７５歳以上の運転免許人口　注2 | | 77,481 | 81,244 | 84,481 | 87,070 | 88,166 | 91,555 | 99,974 | 108,843 | 118,244 | 124,968 |
| | 構成率 注3 | 8.4 | 8.8 | 9.2 | 9.6 | 9.7 | 10.2 | 11.2 | 12.2 | 13.4 | 14.3 |
| | 指　数 注4 | 100 | 105 | 109 | 112 | 114 | 118 | 129 | 140 | 153 | 161 |
| 発生件数 | | 450 | 430 | 363 | 340 | 283 | 261 | 255 | 288 | 313 | 369 |
| | 構成率 | 8.5 | 8.9 | 9.2 | 10.7 | 10.9 | 10.8 | 11.5 | 12.9 | 14.8 | 16.4 |
| | 指　数 | 100 | 96 | 81 | 76 | 63 | 58 | 57 | 64 | 70 | 82 |
| 死　者　数 | | 8 | 16 | 11 | 12 | 3 | 7 | 6 | 6 | 18 | 5 |
| | 構成率 | 12.9 | 21.6 | 21.2 | 30.0 | 8.1 | 21.2 | 20.0 | 18.2 | 37.5 | 16.7 |
| | 指　数 | 100 | 200 | 138 | 150 | 38 | 88 | 75 | 75 | 225 | 63 |
| 負傷者数 | | 550 | 524 | 447 | 390 | 328 | 308 | 287 | 318 | 342 | 428 |
| | 構成率 | 8.4 | 8.8 | 9.2 | 10.1 | 10.5 | 10.6 | 11.1 | 11.9 | 13.7 | 15.9 |
| | 指　数 | 100 | 95 | 81 | 71 | 60 | 56 | 52 | 58 | 62 | 78 |

### 原因別発生状況

安全不確認による事故が多い




| 原　因　別 | 安全不確認 | 前方不注視 | 交差点安全進行 | 操作不適 | 動静不注視 | 歩行者妨害 | 右側通行 | 信号無視 | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 発生件数 | 105 | 90 | 16 | 29 | 22 | 21 | 6 | 18 | 62 | 369 |
| 死　者　数 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | | 1 | | 5 |

注1：75歳以上高齢ドライバーの事故とは、75歳以上の高齢者が原付以上の車両を運転して第一当事者となった事故をいう

注2：運転免許人口は各年の12月末現在

注3：構成率は、それぞれ全ての発生件数、死者数、負傷者数に占める比率

注4：指数は、平成２７年を１００としたものである

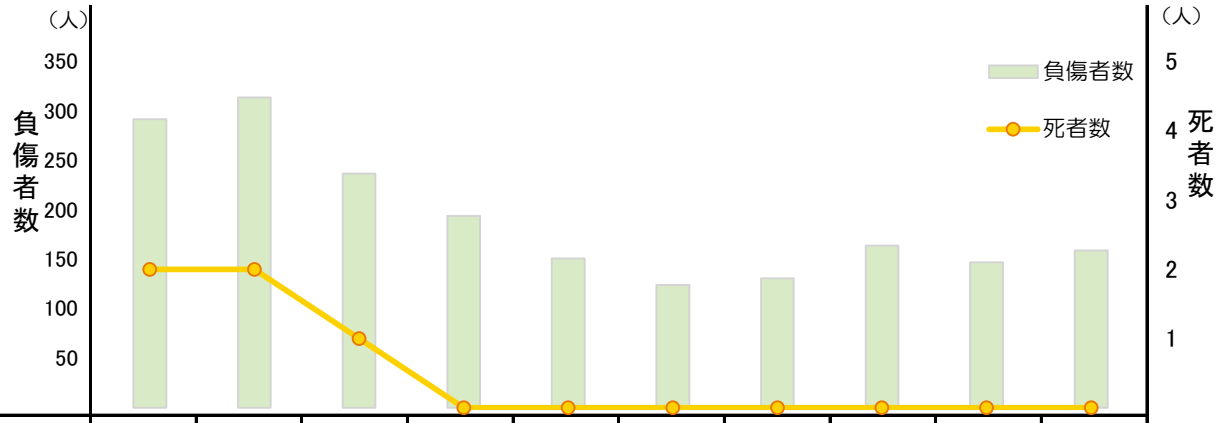
注5：原因別その他は、上記原因以外の原因をいう

# こども（中学生以下）の交通事故

【 死者数 0 人　　負傷者数 159 人 】

## 年別推移

負傷者数は前年より増加

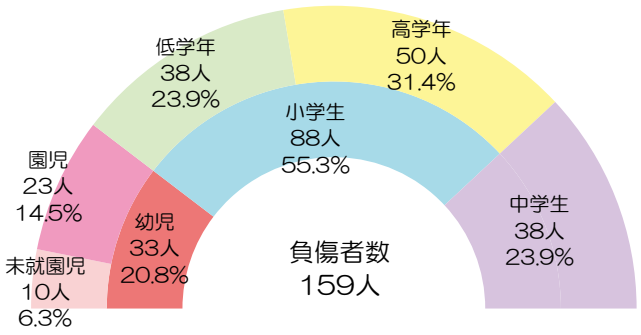



| 年　別 | 28年 | 29年 | 30年 | 元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死者数 | 2 | 2 | 1 | | | | | | | |
| 負傷者数 | 292 | 314 | 237 | 194 | 151 | 124 | 131 | 164 | 147 | 159 |

## 年齢層別死傷者数

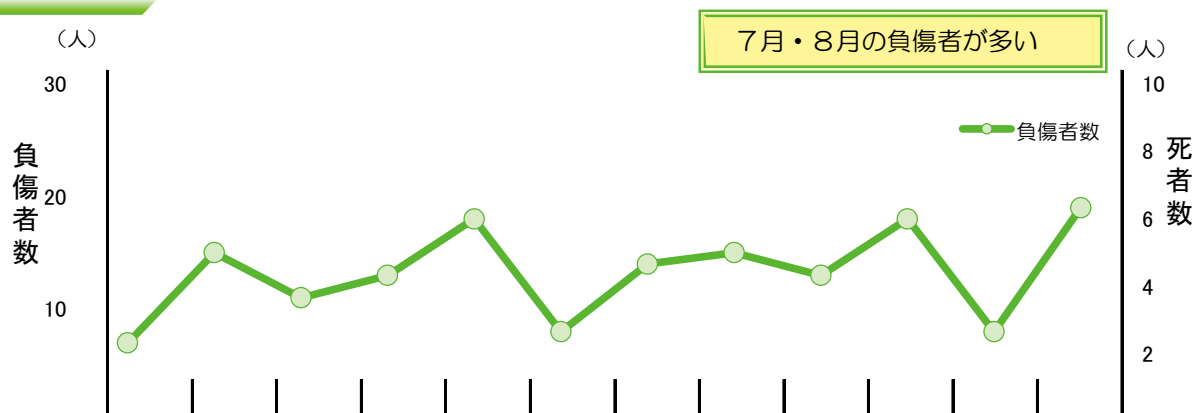
【 死者数 0 人　　負傷者数 159 人 】

負傷者の半数以上が小学生




## 月別死傷者数

7月・8月の負傷者が多い



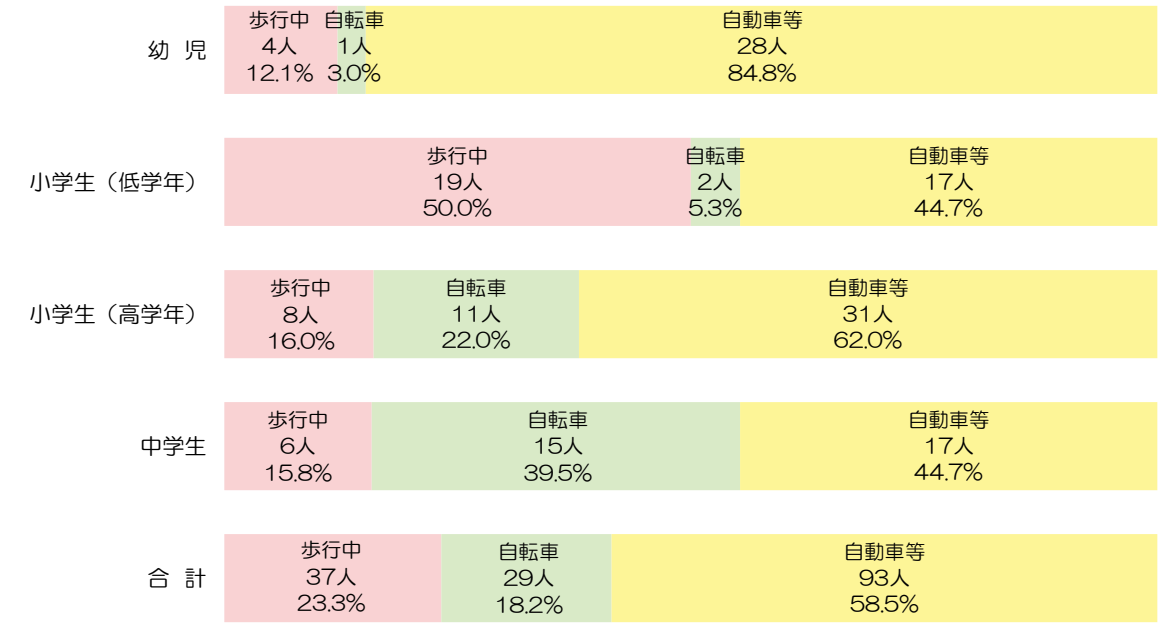

| 月　別 注1 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死　者　数 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 負 傷 者 数 | 7 | 15 | 11 | 13 | 18 | 8 | 14 | 15 | 13 | 18 | 8 | 19 | 159 |

注1：月別は事故発生月による集計

## 状態別死傷者数

年齢とともに自転車乗車中の負傷者が増加

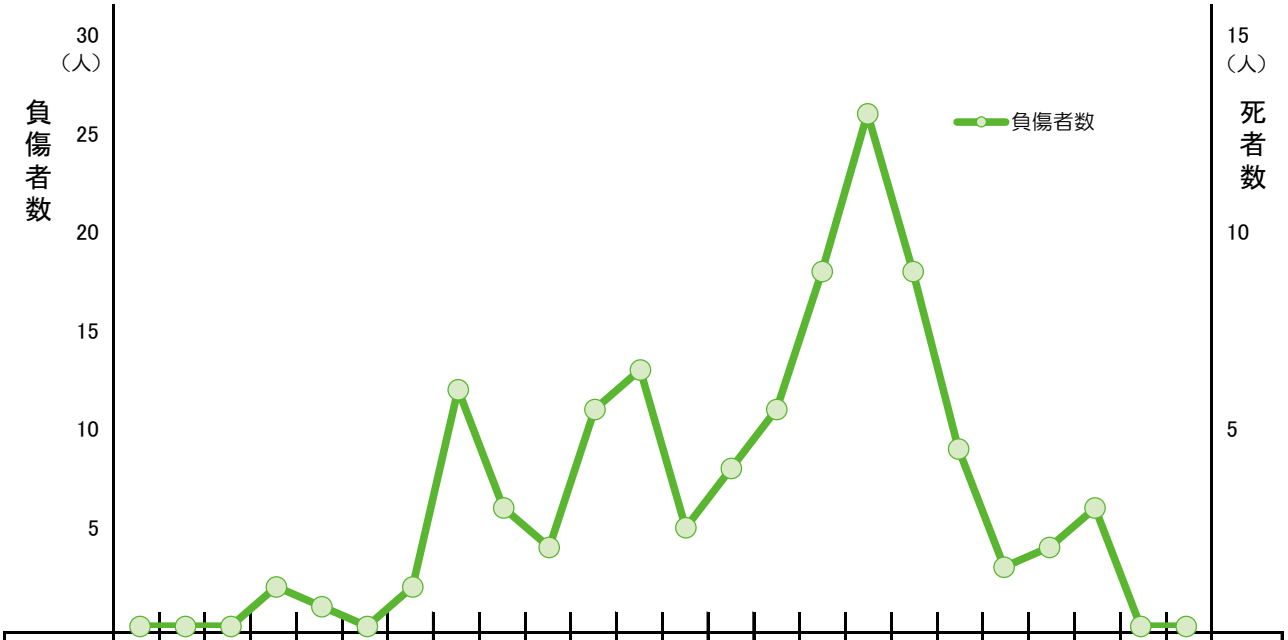
【 死者数 0 人　　負傷者数 159 人 】




## 時間別死傷者数

下校時間帯の負傷者が多い

【 死者数 0 人　　負傷者数 159 人 】



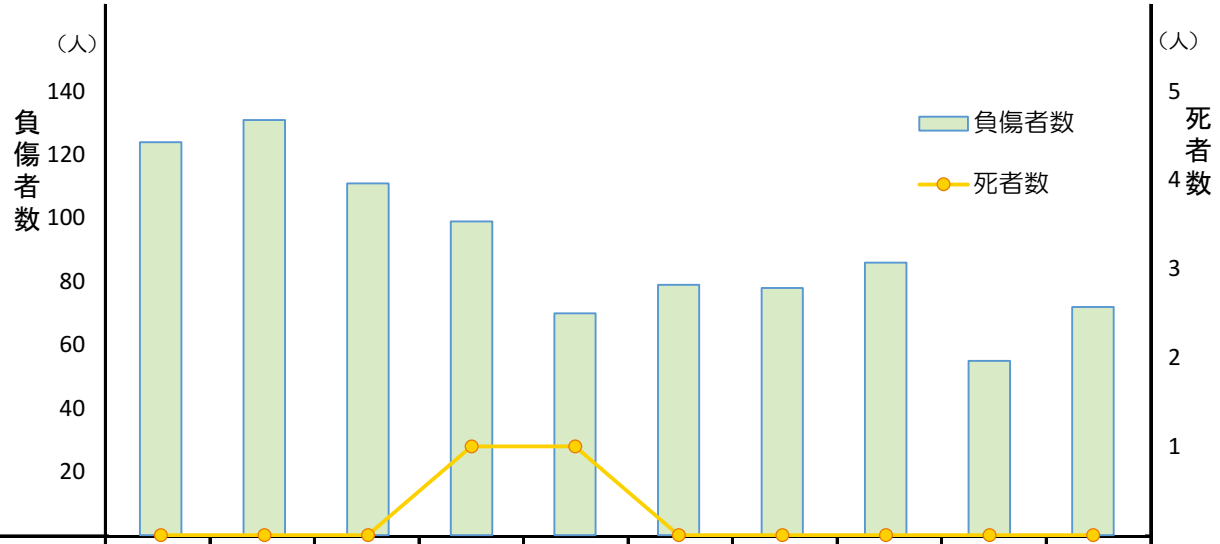

| 時間別 | 0時 | 2時 | 4時 | 6時 | 8時 | 10時 | 12時 | 14時 | 16時 | 18時 | 20時 | 22時 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死者数 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 負傷者数 | | | 2 | 1 | | 2 | 12 | 6 | 4 | 11 | 13 | 5 | 8 | 11 | 18 | 26 | 18 | 9 | 3 | 4 | 6 | | | 159 |

## 高校生の交通事故

【 死者数 0 人　　負傷者数 72 人 】

年別推移

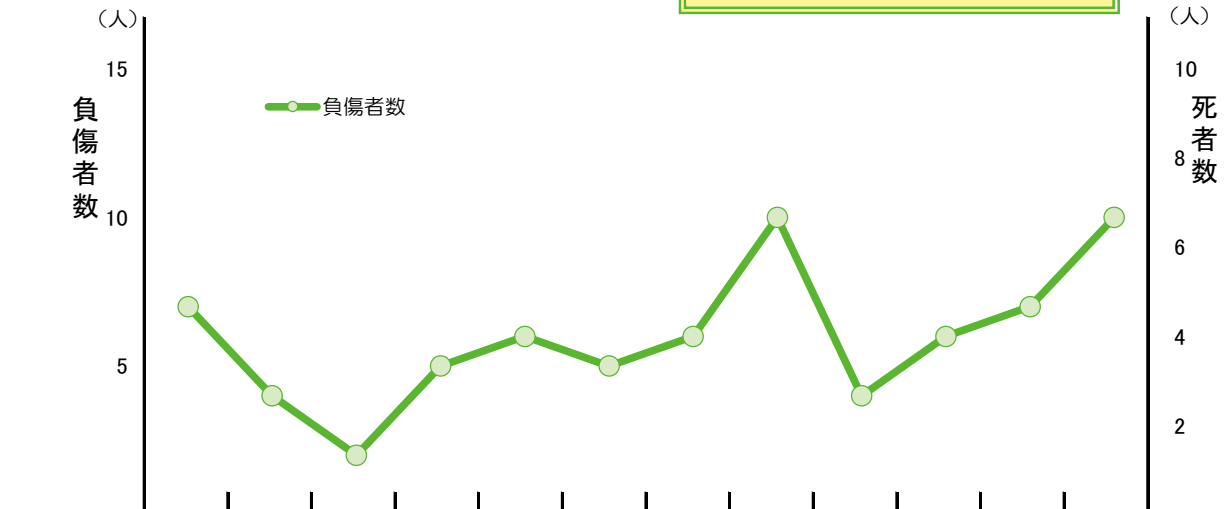
前年と比べて負傷者数が増加




| 年　別 | 28年 | 29年 | 30年 | 元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死　者　数 | | | | 1 | 1 | | | | | |
| 負 傷 者 数 | 124 | 131 | 111 | 99 | 70 | 79 | 78 | 86 | 55 | 72 |

月別死傷者数

負傷者数は8月、１２月が多い



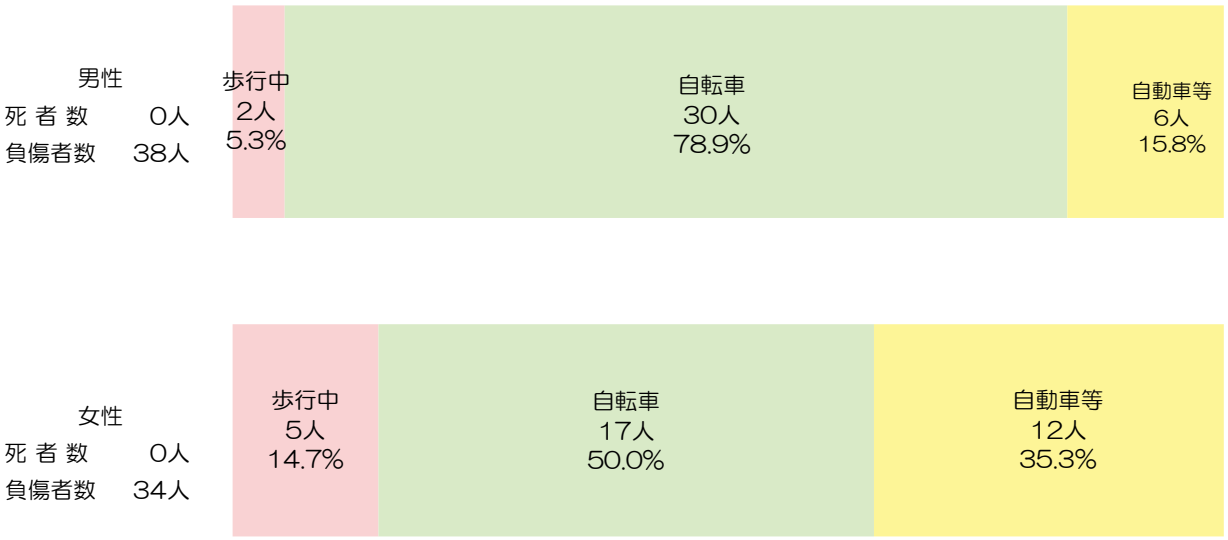

| 月　別 注1 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死　者　数 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 負 傷 者 数 | 7 | 4 | 2 | 5 | 6 | 5 | 6 | 10 | 4 | 6 | 7 | 10 | 72 |

注1：月別は事故発生月による集計

## 状態別死傷者数

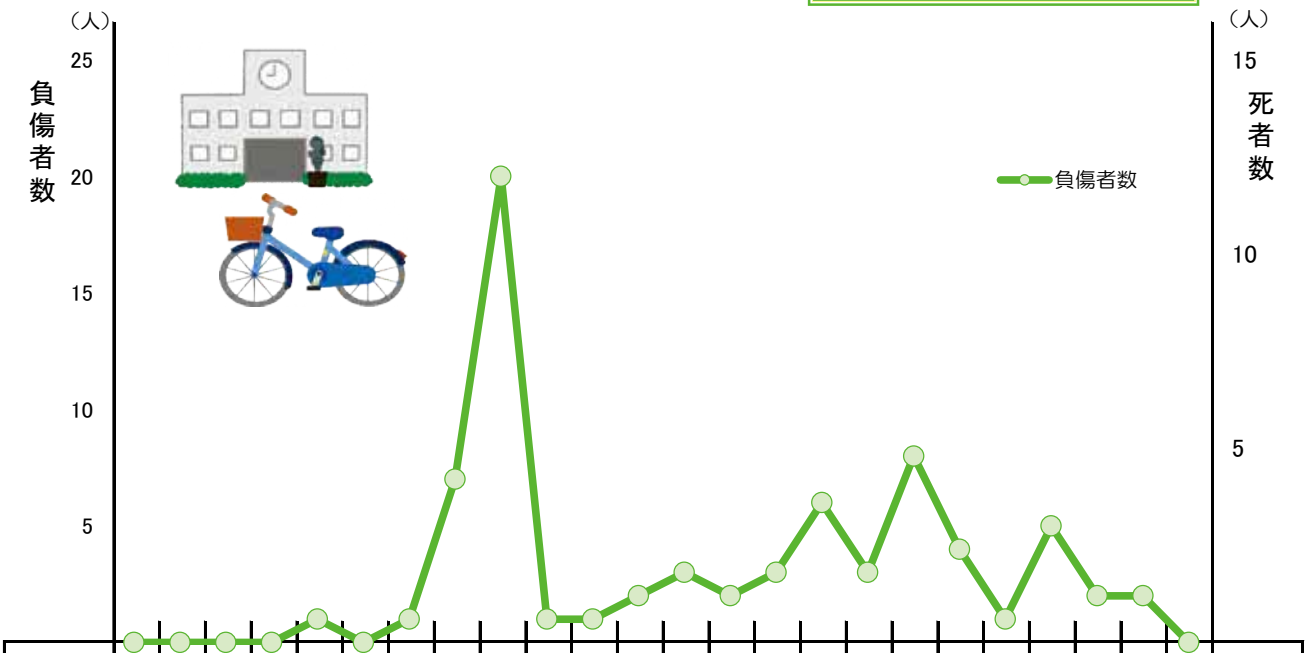
自転車乗車中の事故が多い

【 死者数 0 人　　負傷者数 72 人 】




## 時間別死傷者数

登校時間帯の負傷者が多い




| 時間別 | 0時 | 2時 | 4時 | 6時 | 8時 | 10時 | 12時 | 14時 | 16時 | 18時 | 20時 | 22時 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死者数 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 負傷者数 | | | 1 | | 1 | 7 | 20 | 1 | 1 | 2 | 3 | 2 | 3 | 6 | 3 | 8 | 4 | 1 | 5 | 2 | 2 | | 72 |

# 歩行者の交通事故

【 死者数 ９ 人　　負傷者数 345 人 】

## 年別推移

前年に比べ死者数は減少、負傷者数は増加

| 年　　別 | 28年 | 29年 | 30年 | 元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死　者　数 | 23 | 29 | 19 | 21 | 14 | 12 | 10 | 12 | 20 | 9 |
| 負 傷 者 数 | 448 | 468 | 415 | 355 | 337 | 316 | 277 | 308 | 292 | 345 |

## 年齢層別死傷者数

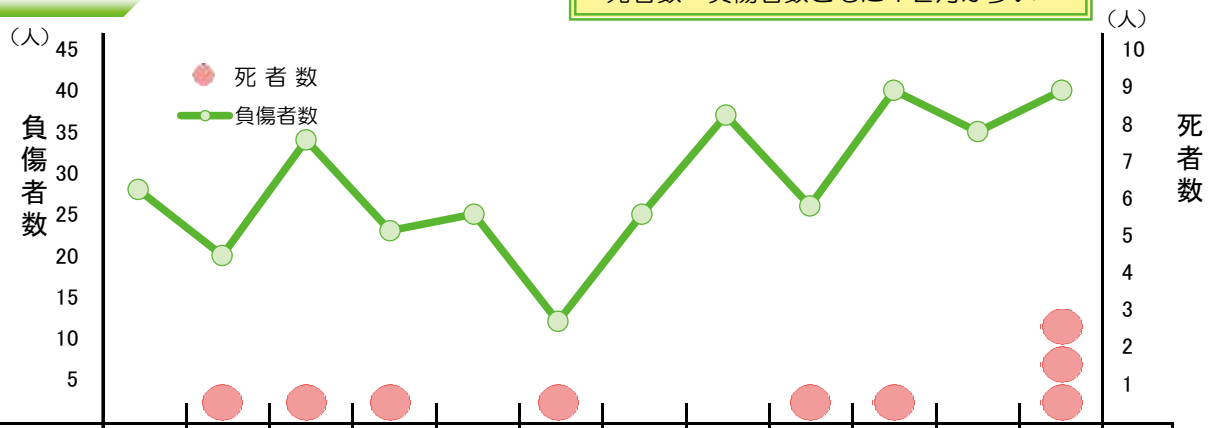
死者数・負傷者数ともに７５歳以上が多い




| 年齢層別 | 未就園児 | 園児 | 低学年 | 高学年 | 中学生 | 高校生 | その他の10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60～64歳 | 65～74歳 | 75歳以上 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 幼　　児 | | 小　学　生 | | | | | | | | | | | | |
| 死 者 数 | | | | | | | | 2 | | 1 | 1 | | 2 | 3 | 9 |
| 負傷者数 | 1 | 3 | 19 | 8 | 6 | 7 | 8 | 37 | 29 | 35 | 34 | 27 | 37 | 94 | 345 |

## 月別死傷者数

死者数・負傷者数ともに１２月が多い

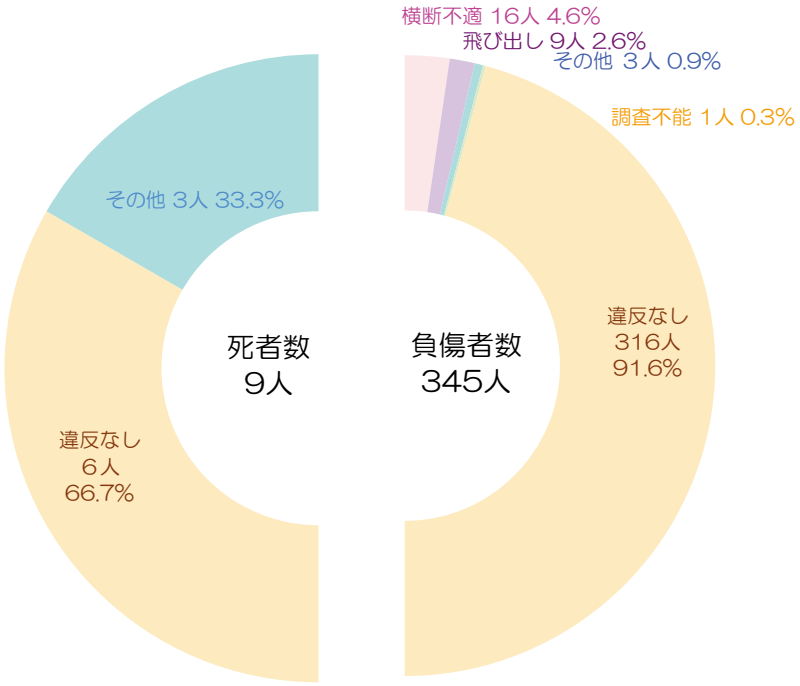



| 月　　別 注1 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死　者　数 | | 1 | 1 | 1 | | 1 | | | 1 | 1 | | 3 | 9 |
| 負 傷 者 数 | 28 | 20 | 34 | 23 | 25 | 12 | 25 | 37 | 26 | 40 | 35 | 40 | 345 |

注1：月別は事故発生月による集計

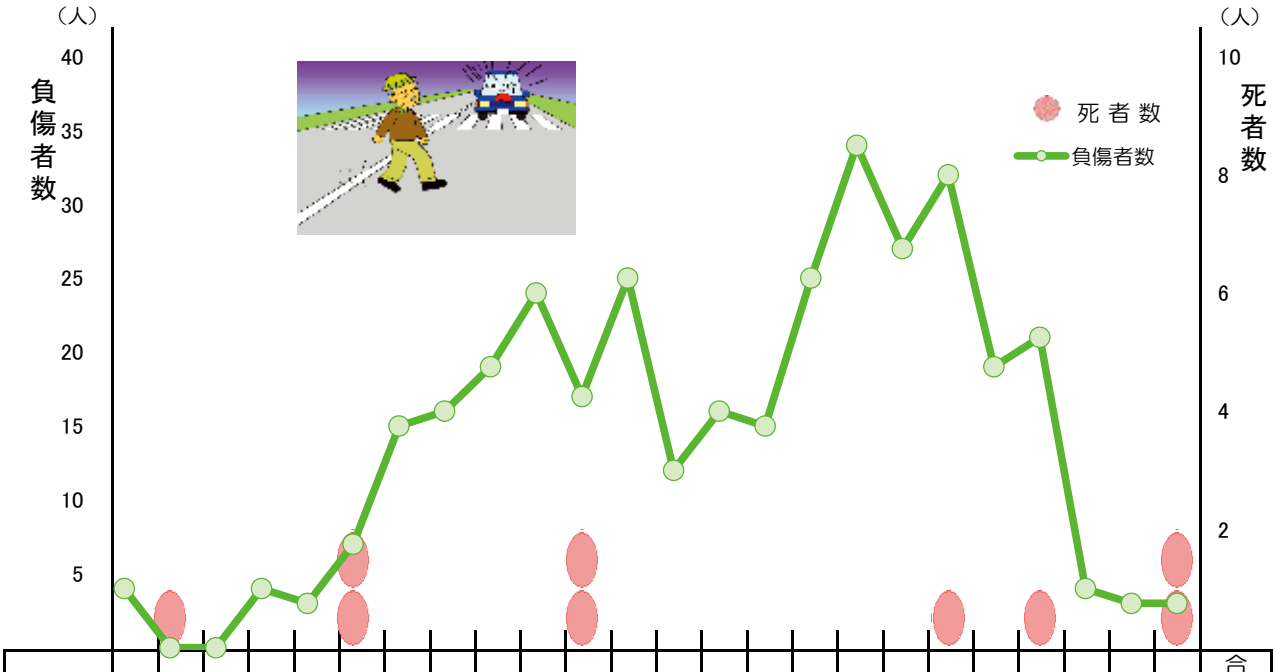
## 原因別死傷者数

死者の3割、負傷者の1割が違反あり




## 時間別死傷者数

負傷者は１６時台以降、死者は１８時台以降が多い




| 時間別 | 0時 | 2時 | 4時 | 6時 | 8時 | 10時 | 12時 | 14時 | 16時 | 18時 | 20時 | 22時 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死者数 | | 1 | | | | 2 | | | | | 2 | | | | | | | | 1 | | 1 | | | 2 | 9 |
| 負傷者数 | 4 | | | 4 | 3 | 7 | 15 | 16 | 19 | 24 | 17 | 25 | 12 | 16 | 15 | 25 | 34 | 27 | 32 | 19 | 21 | 4 | 3 | 3 | 345 |

# 自転車の交通事故

【 死者数 5 人　負傷者数 283 人 】

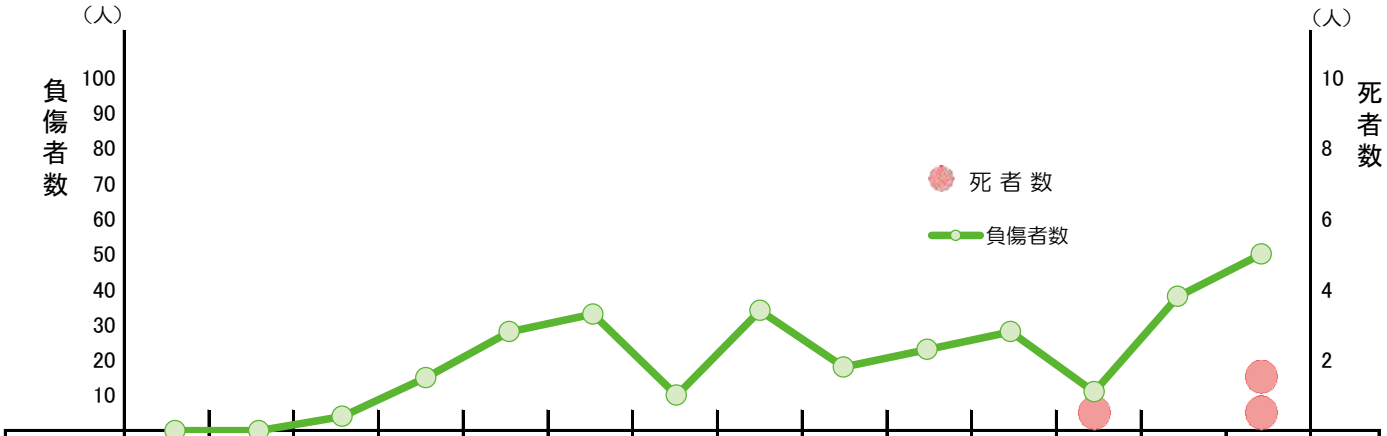
## 年別推移

負傷者は減少傾向

| 年　　別 | 28年 | 29年 | 30年 | 元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死　者　数 | 3 | 9 | 2 | 7 | 5 | 2 | 3 | 4 | 3 | 5 |
| 負 傷 者 数 | 561 | 559 | 469 | 391 | 360 | 347 | 338 | 289 | 292 | 283 |
| 構　成　率 注1 | 8.4 | 9.3 | 9.5 | 10.0 | 11.4 | 11.7 | 12.8 | 10.7 | 11.4 | 10.5 |

## 年齢層別死傷者数

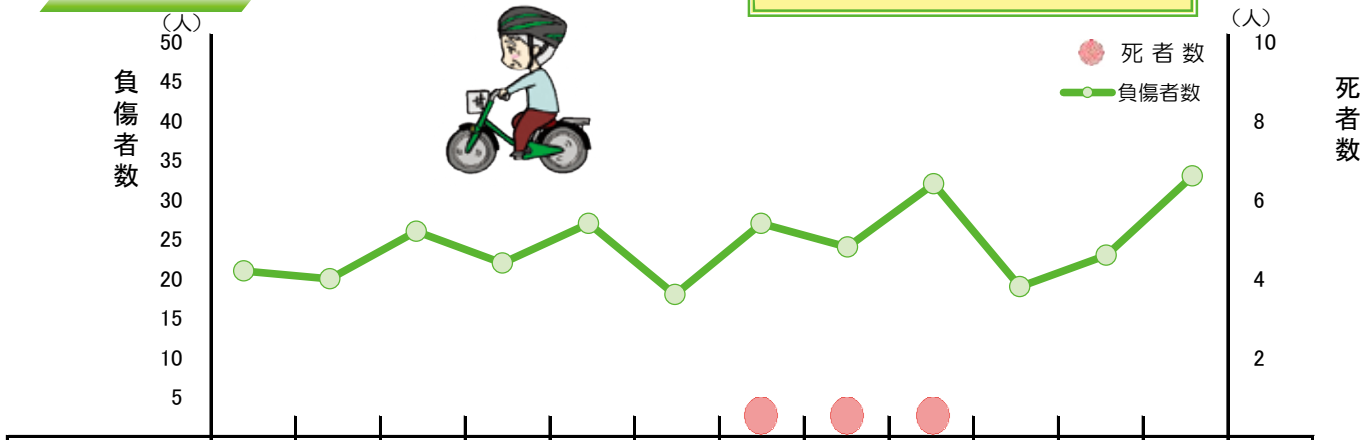
死者数・負傷者数ともに７５歳以上が多い




| 年齢層別 | 未就園児 | 園児 | 低学年 | 高学年 | 中学生 | 高校生 | その他の10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60～64歳 | 65～74歳 | 75歳以上 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 幼　　児 | | 小　学　生 | | | | | | | | | | | | |
| 死 者 数 | | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | | 2 | 5 |
| 負傷者数 | | 1 | 2 | 11 | 15 | 47 | 16 | 33 | 26 | 23 | 32 | 10 | 28 | 39 | 283 |

## 月別死傷者数

負傷者数は９月と１２月が多い




| 月　　別 注2 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死　者　数 | | | 1 | 1 | 1 | | | | 1 | 1 | | | 5 |
| 負 傷 者 数 | 15 | 22 | 18 | 25 | 36 | 15 | 26 | 30 | 18 | 22 | 26 | 30 | 283 |

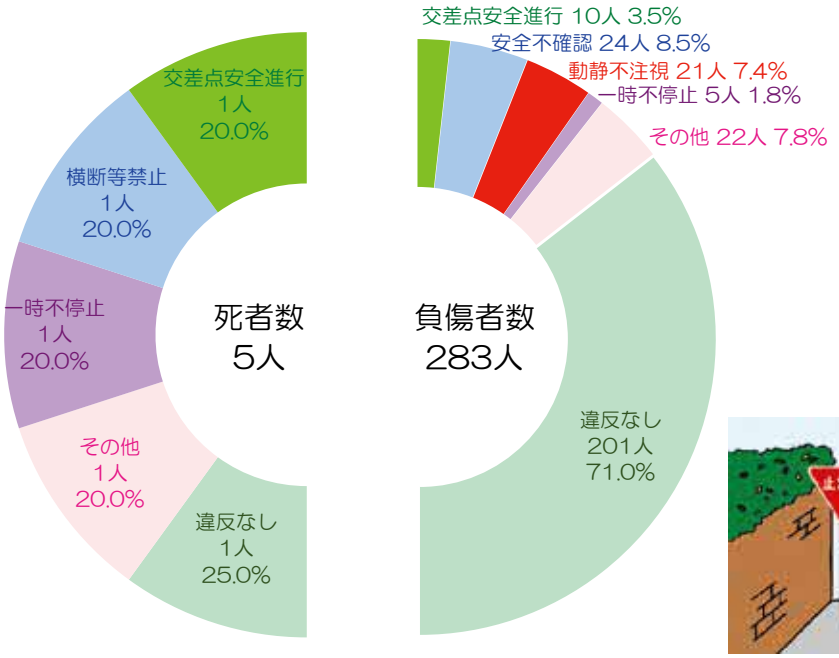
注1：構成率は全死傷者に占める比率

注2：月別は事故発生月による集計

## 原因別死傷者数

死者の8割、負傷者の約３割に原因（違反）あり

【 死者数 5 人　　負傷者数 283 人 】



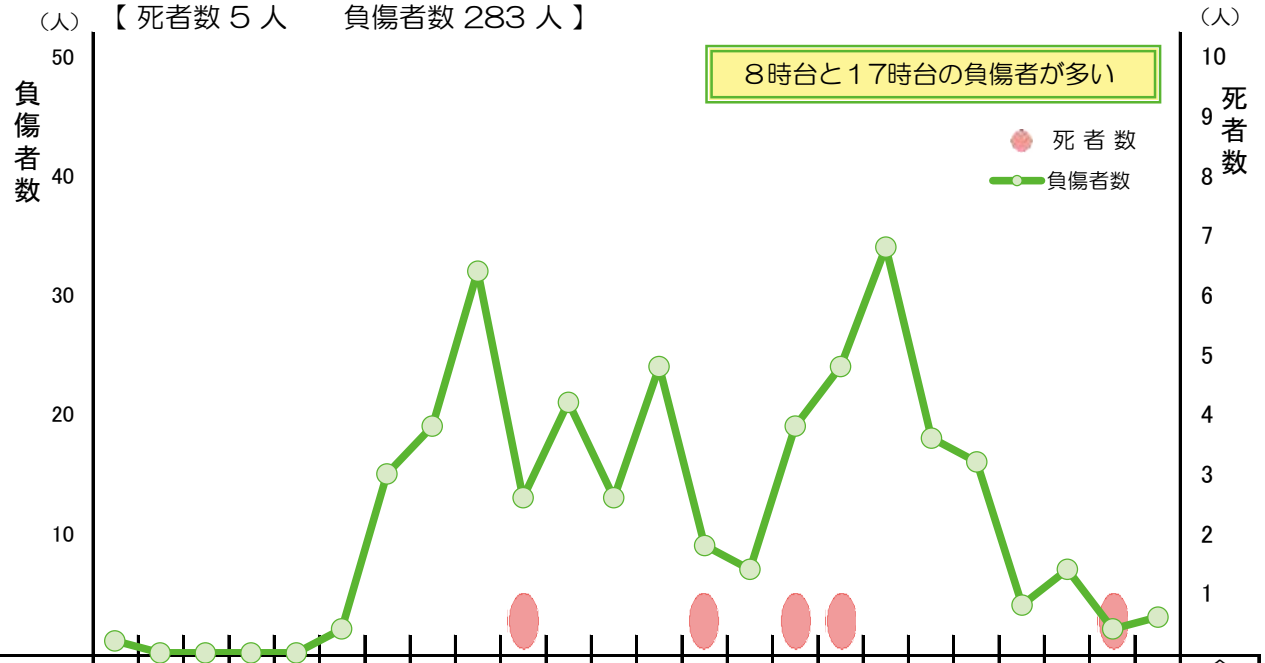




## 時間別死傷者数

【 死者数 5 人　　負傷者数 283 人 】

８時台と１７時台の負傷者が多い




| 時間別 | 0時 | 2時 | 4時 | 6時 | 8時 | 10時 | 12時 | 14時 | 16時 | 18時 | 20時 | 22時 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死者数 | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | | | 5 |
| 負傷者数 | 1 | | | 2 | 15 | 19 | 32 | 13 | 21 | 13 | 24 | 9 | 7 | 19 | 24 | 34 | 18 | 16 | 4 | 7 | 2 | 3 | 283 |

# 二輪車の交通事故

【 死者数 3 人　　負傷者数 181 人 】

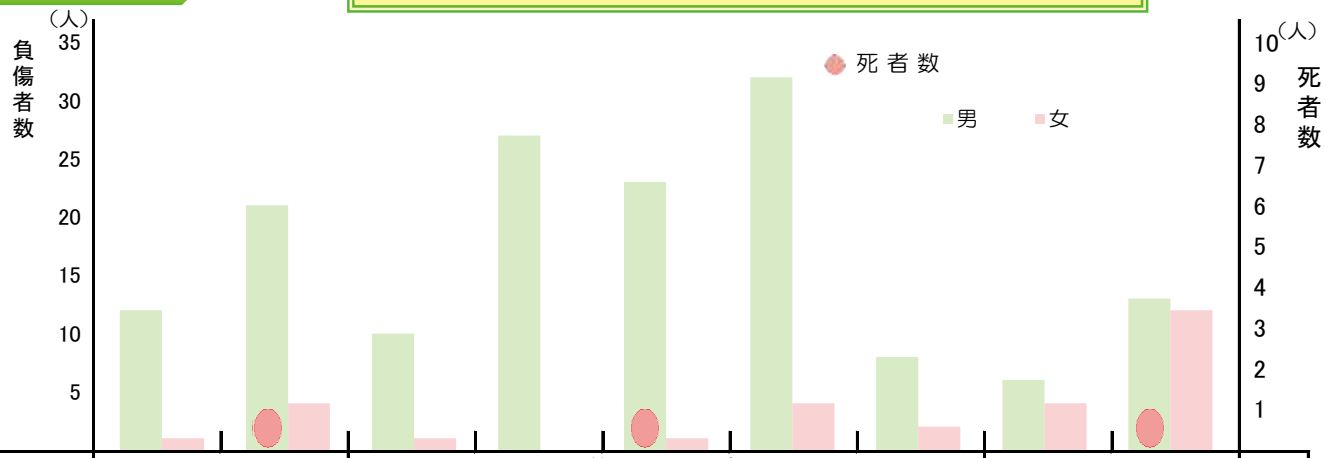
## 年別推移

負傷者は前年より増加

| 年　別 | 28年 | 29年 | 30年 | 元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死者数 | 8 | 8 | 3 | 2 | 9 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 |
| 負傷者数 | 522 | 458 | 340 | 291 | 241 | 206 | 212 | 205 | 178 | 181 |

## 年齢層別死傷者数

男性は３０歳代から５０歳代、女性は高齢者の負傷者が多い




| 年齢層別 | 若年 | | | | 壮年 | | | | | | | | | | 高齢者 | | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 19歳以下 | | 20～24歳 | | 25～29歳 | | 30歳代 | | 40歳代 | | 50歳代 | | 60～64歳 | | 65～74歳 | | 75歳以上 | | |
| 男女別 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | |
| 死者数 | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | 3 |
| 負傷者数 | 12 | 1 | 21 | 4 | 10 | 1 | 27 | | 23 | 1 | 32 | 4 | 8 | 2 | 6 | 4 | 13 | 12 | 181 |

## 月別死傷者数

8月から１１月の負傷者が多い





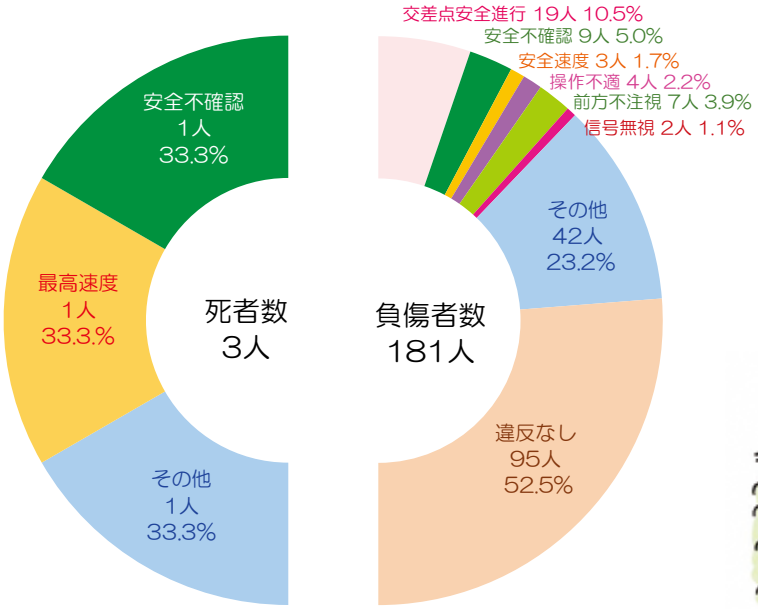

| 月別 注1 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死者数 | | | | | 1 | | | | 2 | | | | 3 |
| 負傷者数 | 14 | 10 | 12 | 14 | 15 | 10 | 13 | 22 | 17 | 21 | 20 | 13 | 181 |

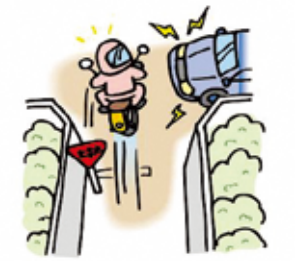
注1：月別は事故発生月による集計

## 原因別死傷者数

死者の全て、負傷者の約半数に違反がみられる

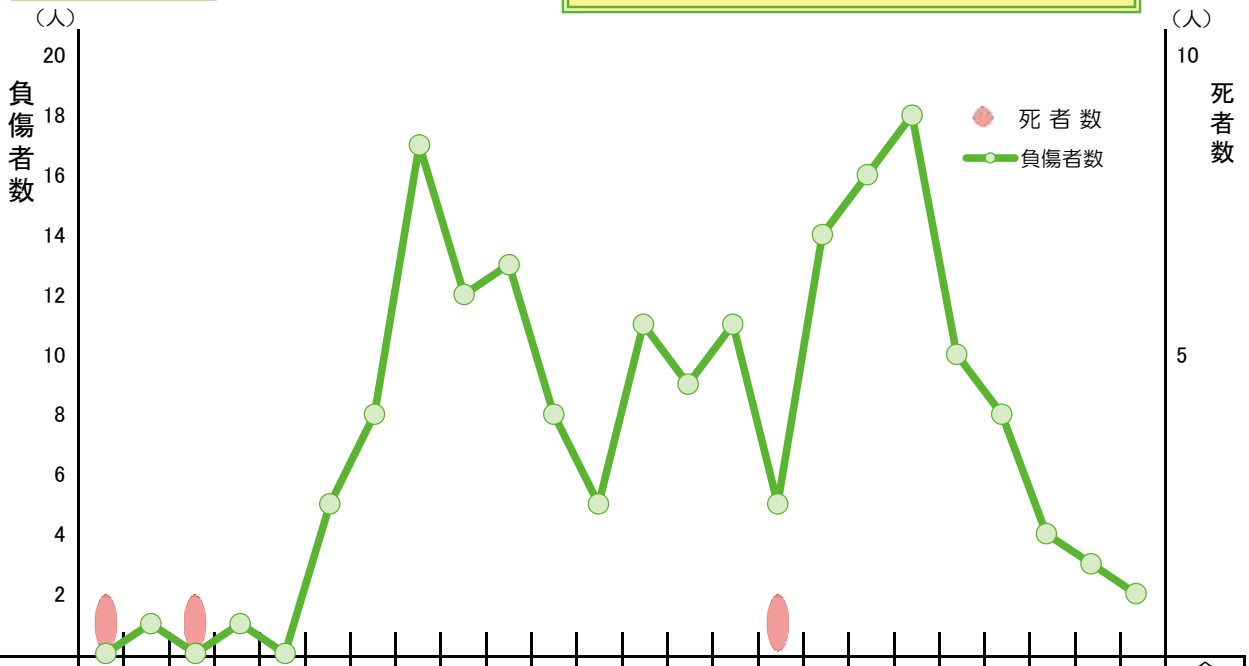
【 死者数 3 人　　負傷者数 181 人 】



## 時間別死傷者数

7時台と１７時台から１８時台の発生が多い



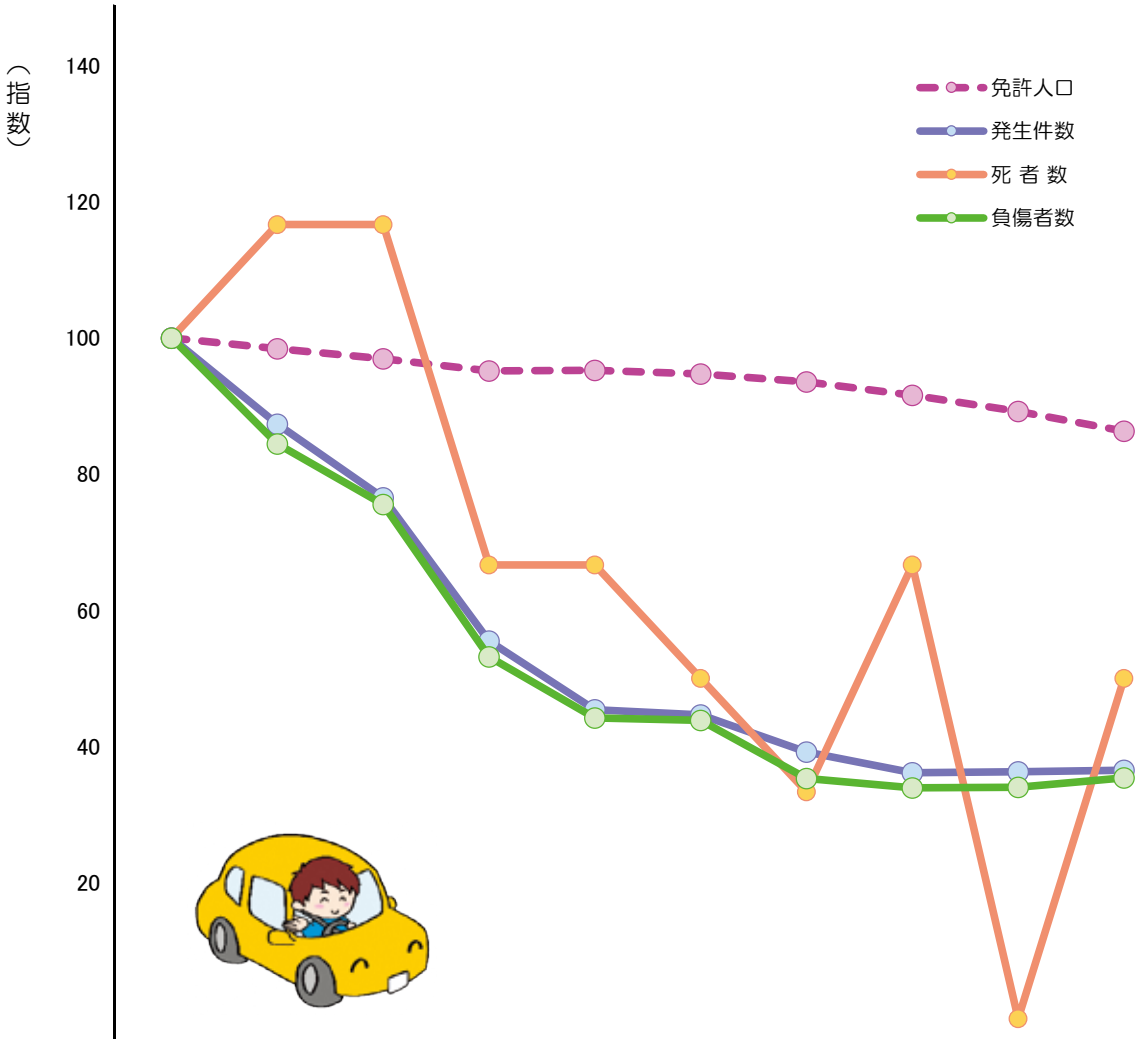

| 時間別 | 0時 | 2時 | 4時 | 6時 | 8時 | 10時 | 12時 | 14時 | 16時 | 18時 | 20時 | 22時 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死者数 | 1 | 1 | | | | | | 1 | | | | | 3 |
| 負傷者数 | 1 | | 1 | | 5 | 8 | 17 | 12 | 13 | 8 | 5 | 11 | 9 | 11 | 5 | 14 | 16 | 18 | 10 | 8 | 4 | 3 | 2 | 181 |

# 若年ドライバーによる交通事故

注1

## 年別推移

若年ドライバーによる事故の構成率は免許人口の構成率の２倍以上

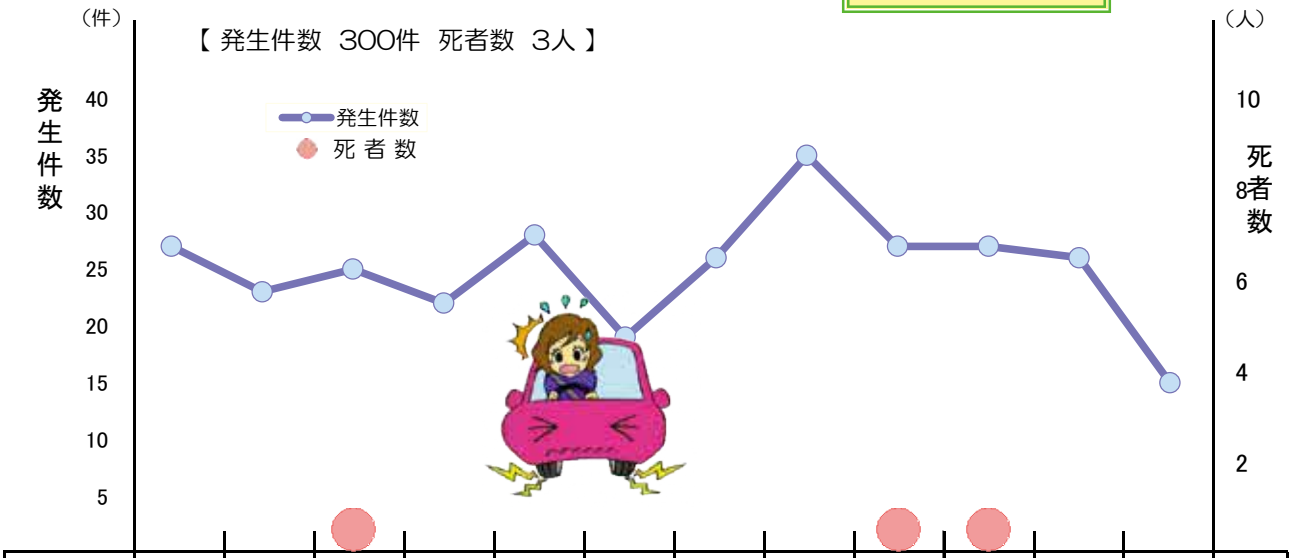



| 年別 | | 28年 | 29年 | 30年 | 元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 若年者の運転免許人口 | | 63,175 | 62,180 | 61,257 | 60,128 | 60,179 | 59,826 | 59,098 | 57,870 | 56,353 | 54,527 |
| 注2 | 構成率 注3 | 6.8 | 6.7 | 6.7 | 6.6 | 6.6 | 6.6 | 6.6 | 6.5 | 6.4 | 6.2 |
| | 指 数 注4 | 100 | 98 | 97 | 95 | 95 | 95 | 94 | 92 | 89 | 86 |
| 若年ドライバーによる事故 | 発生件数 | 822 | 718 | 629 | 456 | 373 | 367 | 322 | 297 | 298 | 300 |
| | 構成率 | 15.6 | 14.9 | 16.0 | 14.4 | 14.4 | 15.2 | 14.5 | 13.3 | 14.1 | 13.3 |
| | 指 数 | 100 | 87 | 77 | 55 | 45 | 45 | 39 | 36 | 36 | 36 |
| | 死 者 数 | 6 | 7 | 7 | 4 | 4 | 3 | 2 | 4 | | 3 |
| | 構成率 | 9.7 | 9.5 | 13.5 | 10.0 | 10.8 | 9.1 | 6.7 | 12.1 | 0.0 | 10.0 |
| | 指 数 | 100 | 117 | 117 | 67 | 67 | 50 | 33 | 67 | | 50 |
| | 負傷者数 | 1,091 | 921 | 824 | 580 | 482 | 478 | 385 | 370 | 371 | 386 |
| | 構成率 | 16.7 | 15.5 | 17.0 | 15.0 | 15.5 | 16.5 | 14.9 | 13.9 | 14.8 | 14.4 |
| | | 100 | 84 | 76 | 53 | 44 | 44 | 35 | 34 | 34 | 35 |

注1：若年ドライバーの事故とは、24歳以下の人が原付以上の車両を運転して第1当事者となった事故をいう
注2：若年者の運転免許人口は各年の12月末現在
注3：構成率はそれぞれ全ての免許人口、ドライバー事故に占める比率
注4：指数は、平成２８年を１００としたものである

## 月別発生状況

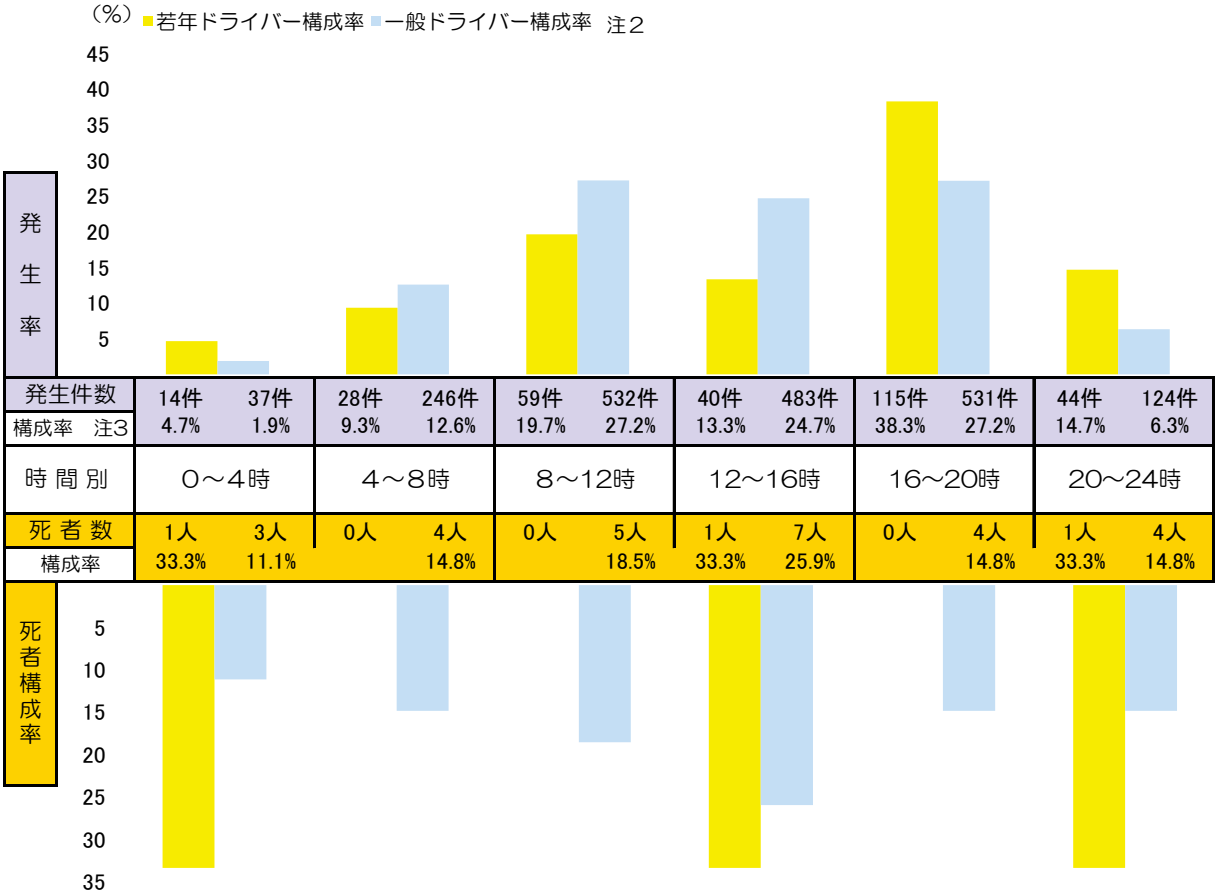
８月の発生が多い




| 月別 注1 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 発生件数 | 27 | 23 | 25 | 22 | 28 | 19 | 26 | 35 | 27 | 27 | 26 | 15 | 300 |
| 死 者 数 | | | 1 | | | | | | 1 | 1 | | | 3 |

## 時間別発生状況

１６～２０時の発生が多い

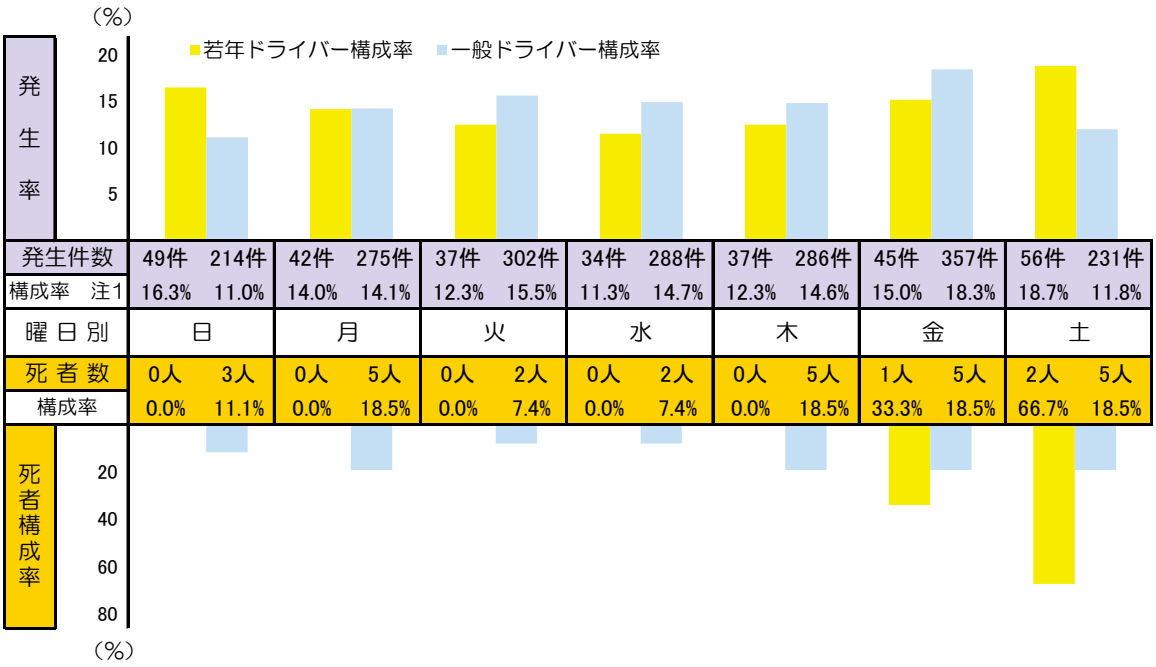



| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 発生件数 | 14件 | 37件 | 28件 | 246件 | 59件 | 532件 | 40件 | 483件 | 115件 | 531件 | 44件 | 124件 | |
| 構成率 注3 | 4.7% | 1.9% | 9.3% | 12.6% | 19.7% | 27.2% | 13.3% | 24.7% | 38.3% | 27.2% | 14.7% | 6.3% | |
| 時間別 | 0～4時 | | 4～8時 | | 8～12時 | | 12～16時 | | 16～20時 | | 20～24時 | | |
| 死 者 数 | 1人 | 3人 | 0人 | 4人 | 0人 | 5人 | 1人 | 7人 | 0人 | 4人 | 1人 | 4人 | |
| 構成率 | 33.3% | 11.1% | | 14.8% | | 18.5% | 33.3% | 25.9% | | 14.8% | 33.3% | 14.8% | |

注1：月別は事故発生月による集計
注2：一般ドライバーは、若年ドライバー以外を指す
注3：構成率は、男女別それぞれ全てのドライバー事故発生件数、死者数に占める比率

## 曜日別発生状況

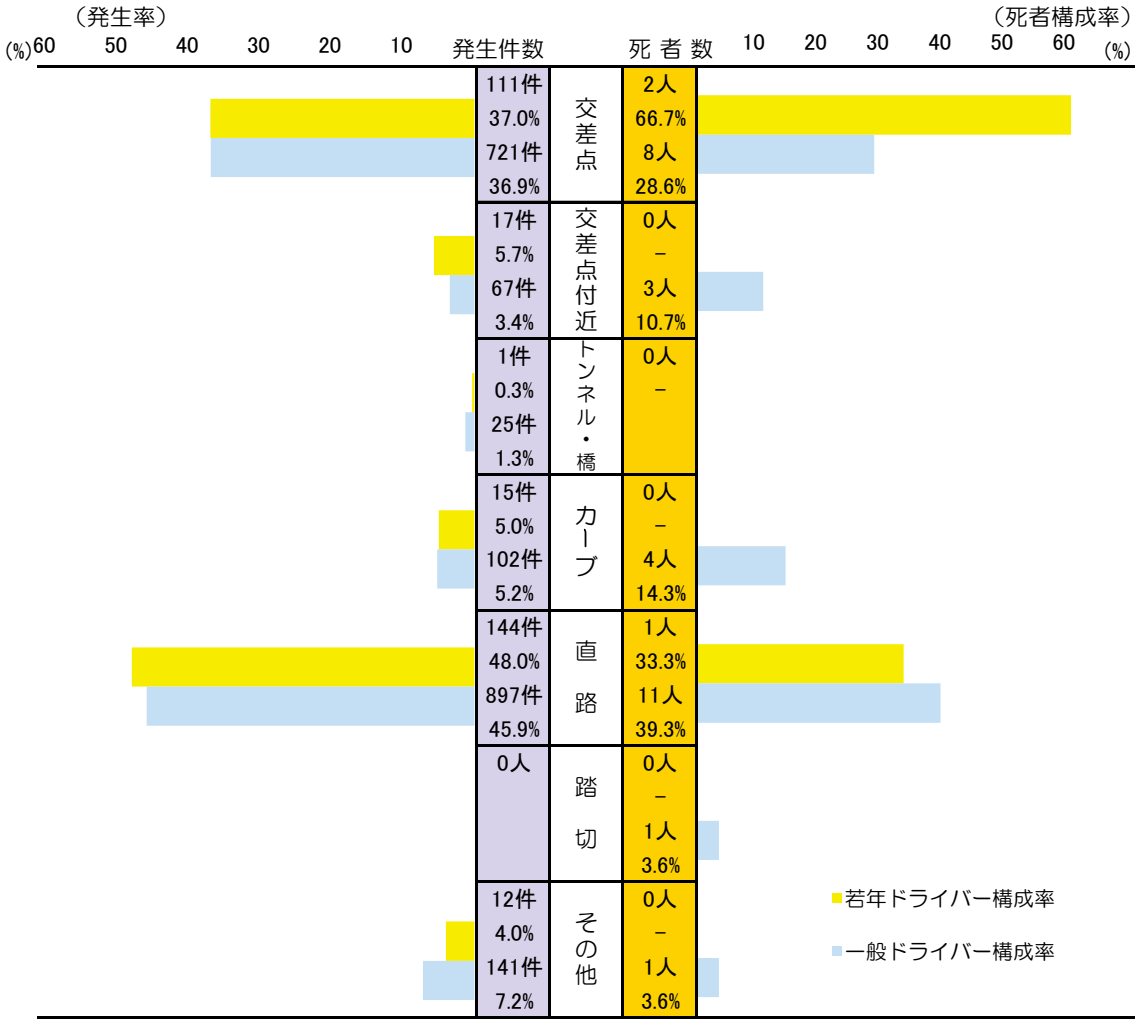
発生件数、死者数ともに土曜日が最も多い




| | 日 | | 月 | | 火 | | 水 | | 木 | | 金 | | 土 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 発生件数 | 49件 | 214件 | 42件 | 275件 | 37件 | 302件 | 34件 | 288件 | 37件 | 286件 | 45件 | 357件 | 56件 | 231件 |
| 構成率　注1 | 16.3% | 11.0% | 14.0% | 14.1% | 12.3% | 15.5% | 11.3% | 14.7% | 12.3% | 14.6% | 15.0% | 18.3% | 18.7% | 11.8% |
| 死者数 | 0人 | 3人 | 0人 | 5人 | 0人 | 2人 | 0人 | 2人 | 0人 | 5人 | 1人 | 5人 | 2人 | 5人 |
| 構成率 | 0.0% | 11.1% | 0.0% | 18.5% | 0.0% | 7.4% | 0.0% | 7.4% | 0.0% | 18.5% | 33.3% | 18.5% | 66.7% | 18.5% |

## 道路形状別発生状況

約半数が直路で発生

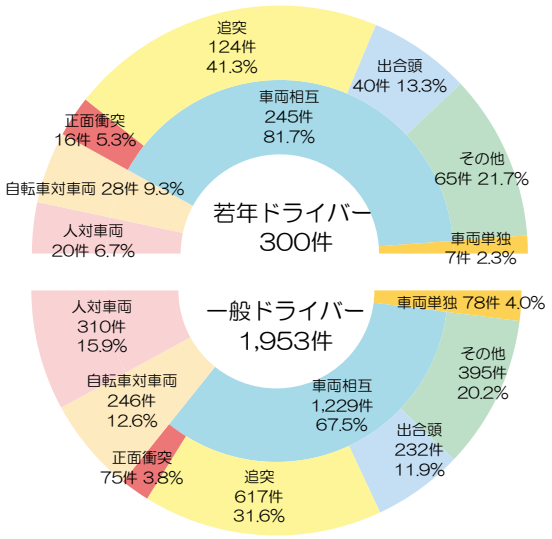



注1: 構成率は、それぞれ全てのドライバー事故発生件数、死者数に占める比率

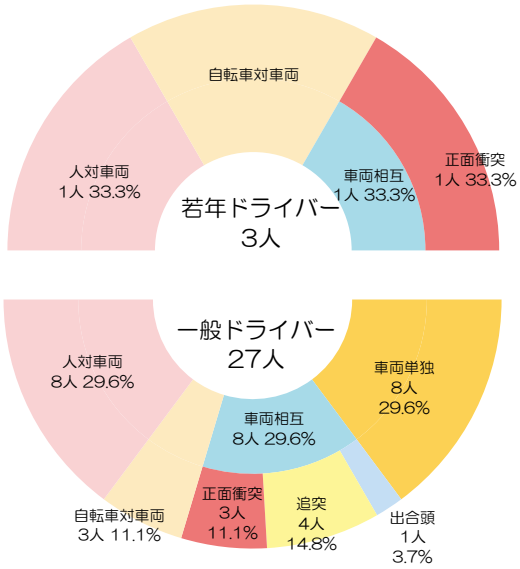
## 事故形態別発生状況

一般ドライバーに比べ、追突による事故の発生割合が高い

### 発生件数



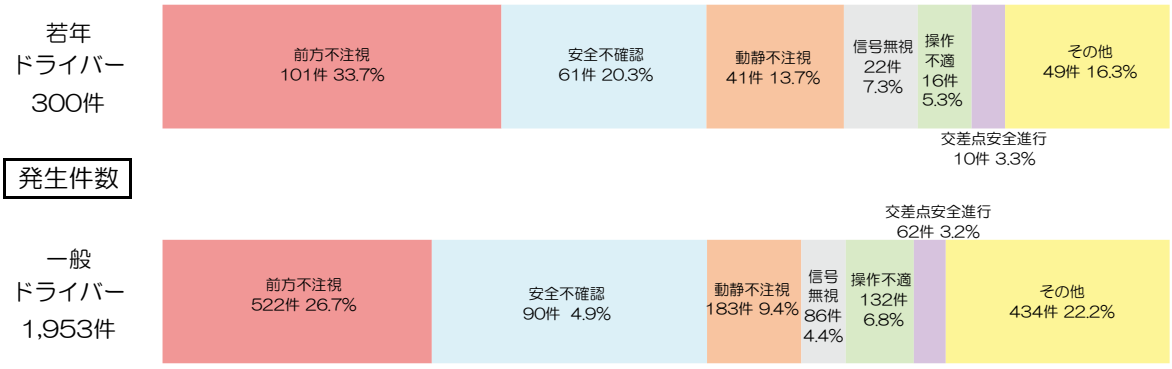

### 死 者 数



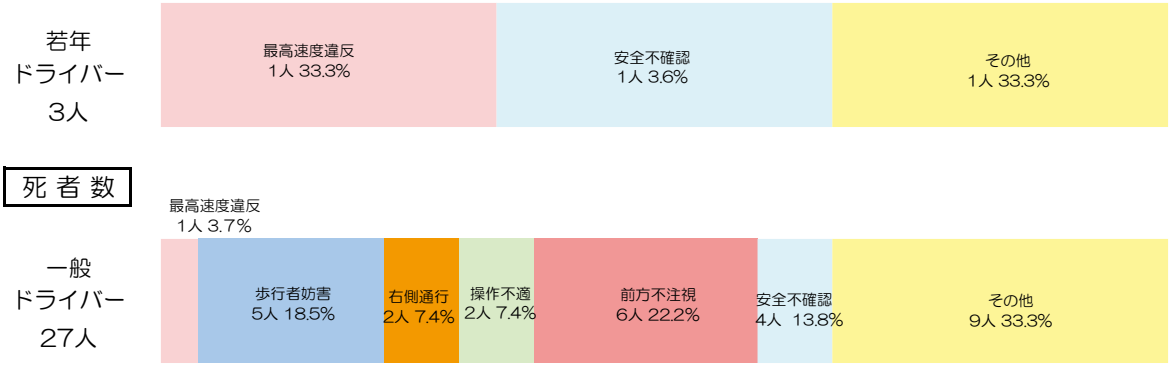

## 原因別発生状況

一般ドライバーに比べ、前方不注視や動静不注視による事故の発生割合が高い

### 発生件数




### 死 者 数

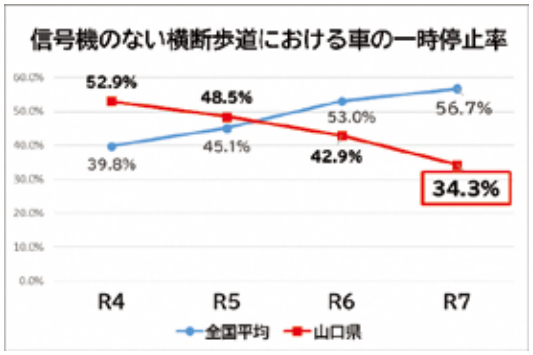


## ２　交通事故抑止に向けた取組

### 横断歩道ハンドサイン運動

歩行者の安全が守られるべき横断歩道上において重大交通事故が依然として発生しているほか、日本自動車連盟（ＪＡＦ）が実施した「信号機のない横断歩道における一時停止率」の調査結果では、山口県の一時停止率は 34.3%で全国最下位でした。

未だ多くのドライバーが横断歩道における歩行者優先等のルールを徹底できていない状況にあります。




こうした状況を踏まえ、信号機のない横断歩道において、歩行者による「渡ります」のハンドサインと運転者による横断しようとする歩行者に対する「お先にどうぞ」のハンドサインを周知徹底することで、横断歩道における歩行者の安全確保と運転者による歩行者優先意識の高揚を図っています。

また、毎月５日を推進日（手✋を上げて横断することをアピールするため）として、県下６５か所に指定した「モデル横断歩道」を中心としたキャンペーンの展開や交通指導取締り等を行い、横断歩道における交通事故の防止に取組んでいます。






山口県交通安全フォトコンテスト
2025 優秀作品




ＪＡ共済連協賛によるテレビ CM の作成

## 反射材・ハイビーム活用促進県民運動

夜間に反射材を着用していない歩行者がロービームで走行している車と衝突する交通事故が多く、県内の交通死亡事故発生率を引き上げている要因であることを踏まえ、

○　反射材直接貼付・着用等の街頭活動
○　反射材・ハイビーム活用促進に向けた交通安全教室
○　あらゆる媒体を活用した広報啓発活動

などに取り組んでいます。

また、夕暮れ時から夜間・早朝の交通事故を防ぐため、県民の反射材・ハイビーム活用に対する意識付けを図る取組として、毎月９日を「反射材・ハイビーム活用促進の日」と定め、県民総参加の運動として展開しています。

【スローガン】
９（く）っきり目立とう！　９（く）らい道









## スピードダウン県民運動

県内の交通死亡事故の事故直前速度は、他県に比べて高く、これが当県の死亡事故等の重大事故の比率を高めている要因と認められたことから、県民総ぐるみによる「スピードダウン県民運動」を推進し、速度抑制による交通死亡事故抑止に取り組んでいます。

その運動における速度抑制対策の一環として、県内の事業所を「スピードダウン推進事業所」に指定し（約１，２００事業所）、同事業所の車両に速度抑制ステッカーを貼付し、マラソンのペースメーカーのように県内道路を制限速度内で走行することで、後続車両の速度を抑え、路線全体の実勢速度の抑制を図る「ペースメーカー車」（約２２，０００台）の運用に取り組んでいます。

また、運動のキャッチフレーズをモチーフにデザインした「速度抑制キャンペーンステッカー」を広く県民に配布し、より多くの車両に貼付することで、運動を県民総ぐるみの取組として盛り上げ、交通事故の防止・交通マナーの向上を図っています。

【スローガン】
減速で　ゆとり運転　防長路









## 3　安全・安心な交通環境の整備

### (1)　交通安全施設の整備

交通の安全と円滑を確保するため、信号機、道路標識等の交通安全施設の整備を進めています。

令和７年度末現在の整備状況は、

○　信号機　　２,７１８基（うちＬＥＤ灯器２,５８８基）
○　道路標識　３７,６８５基
○　光ビーコン（光学式車両感知器）　６８２基
○　交通管制センター　本部センター１か所、サブセンター５か所

となっています。

今後も引き続き、安全で安心な交通環境の整備を計画的に進めていきます。



視認性が高い「ＬＥＤ灯器」






歩行者の安全を確保する「歩車分離式信号」

### (2)　ゾーン３０プラスの推進

警察と道路管理者による連携施策として、ゾーン３０による最高速度３０km/hの区域と、ハンプや狭さくなどの物理的デバイスの適切な組み合わせにより、生活道路や通学路の交通安全の向上を図ろうとする区域「ゾーン３０プラス」の整備を推進しています。



(3)　交通管制センターの整備

交通管制センターでは、車両感知器等で収集した交通量・走行速度等のデータを収集・分析し、信号のコントロールや交通情報板・ラジオ放送などを活用して交通情報の提供等を行うことにより、交通の安全と円滑を確保しています。

【交通管制センター整備状況（令和７年度末現在）】

| 管　制　エ　リ　ア | | 管制エリア内信号機（基） | 車両感知器（基） |
|---|---|---|---|
| 岩国地区：岩国市、周防大島町、和木町、柳井市 | 72.0Km | 129 | 311 |
| 周南地区：周南市、下松市、光市 | 53.1Km | 141 | 313 |
| 防府地区：防府市 | 19.6Km | 55 | 114 |
| 山口地区：山口市 | 59.2Km | 161 | 396 |
| 宇部地区：宇部市、山陽小野田市、（山口市） | 53.2Km | 155 | 263 |
| 下関地区：下関市、（山陽小野田市） | 68.5Km | 217 | 359 |
| １１市２町 | 325.6Km | 858 | 1,682 |

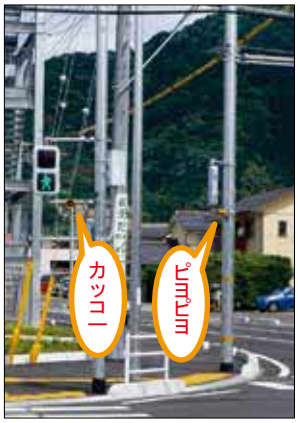


(4)　バリアフリー対応型信号機等の整備

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（通称「バリアフリー法」）に基づき、高齢者、障害者等が道路を安全に横断できるよう、バリアフリー対応型信号機や見やすく分かりやすい道路標識・道路標示等の整備を進めています。

①　バリアフリー対応型信号機

歩行者用信号が「青」であることを「ピヨピヨ・カッコー等」で知らせる視覚障害者用付加装置、押ボタン式信号機に設置された高齢者等の専用押ボタンを押した場合に、歩行者の「青」を延長する高齢者等感応信号機、信号表示面に歩行者用灯器の灯色が赤開始から青開始までの待ち時間及び歩行者用灯器の灯色が青開始から青点滅までの残り時間を表示する経過時間表示機能付き歩行者用灯器などを整備しています。




視覚障害者用付加装置　注１




高齢者等感応信号機　注２




経過時間表示機能付き歩行者用灯器　注３

②　見やすく分かりやすい道路標識・道路標示等

横断歩道上における歩行者や視覚障害者の安全性を向上させるため、高輝度の横断歩道標示や横断歩道に突起物を設置して道筋を示すエスコートゾーン等を整備しています。



エスコートゾーン



高輝度の横断歩道標示

注１：山口県では原則「カッコー」は東西側、「ピヨピヨ」は南北側の横断方向を示します

注２：専用押しボタンを押すことにより通常より 1.5 倍歩行者用信号の時間が延びます

注３：経過時間の表示は割合の表示で、秒数の表示ではありません

## ４　交通指導取締り及び行政処分等

(1)　概要

交通秩序を確立し、安全で安心な交通環境を実現するため、交通事故原因や地域の交通実態、取締りに対する県民の意見要望等を踏まえ、無免許運転、飲酒運転、著しい速度超過、交差点関連違反等の交通事故に直結する悪質性・危険性・迷惑性の高い違反に重点を置いた交通指導取締りを推進しました。

また、飲酒運転や著しい速度違反などを行った悪質・危険な運転者のほか、繰り返し交通違反を行った運転者に対しては、免許の取消し、停止等の行政処分を迅速に実施しています。

(2)　交通法令違反取締り状況

管内の交通実態や交通事故発生状況を分析し、事故多発時間帯や路線・区間等を重点に、パトカーや白バイの機動力を活かした取締りなどを推進した結果、令和７年中は、５７，５２２件の交通違反を検挙しています。

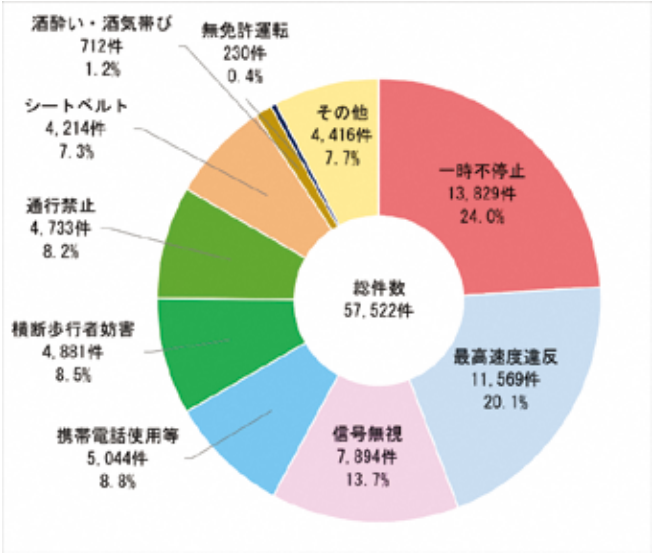


白バイによる取締り活動




速度取締り活動
（可搬式速度違反自動取締装置）

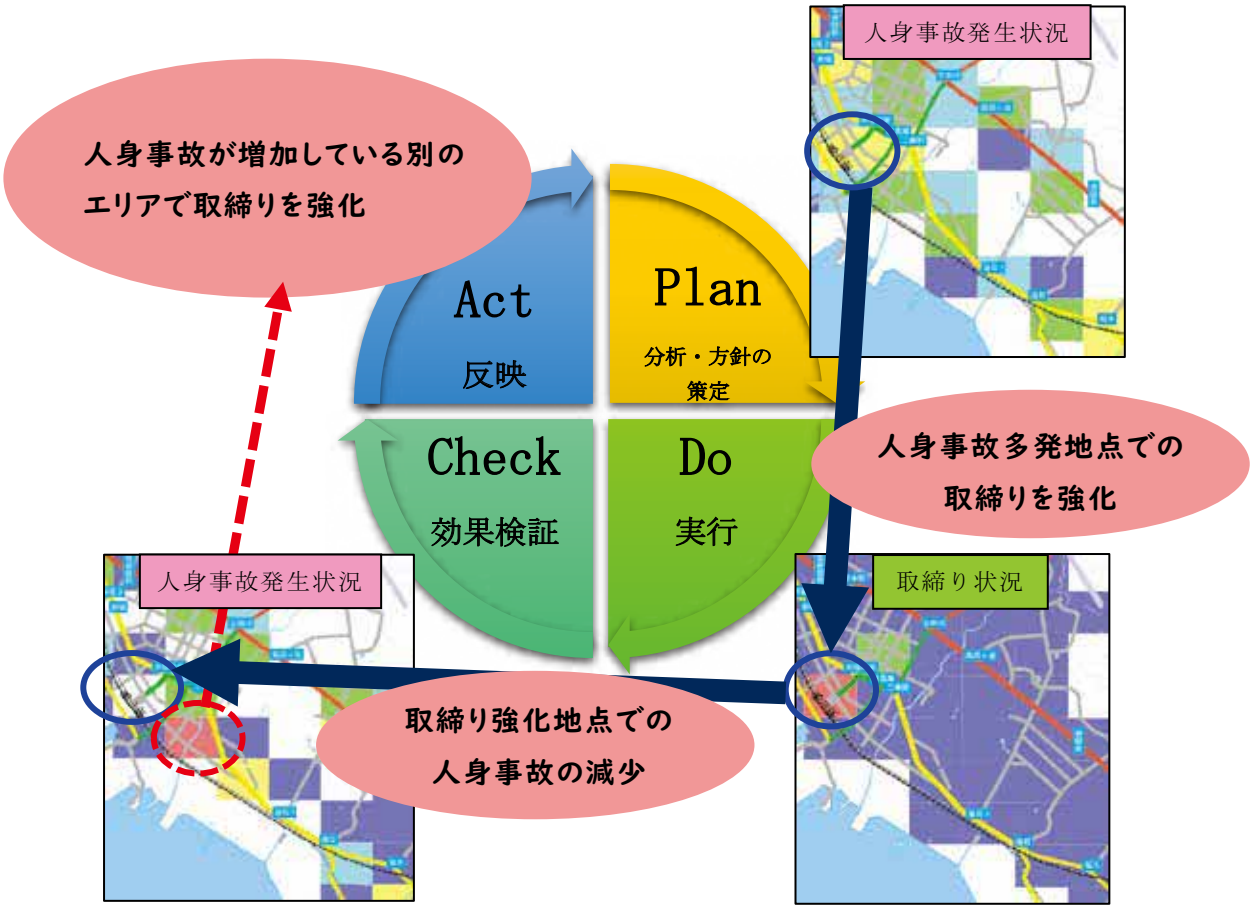
**【令和７年中の交通法令違反取締り状況】**



(3)　交通事故実態の分析等に基づいた取締り管理

交通指導取締りが有する交通事故抑止効果及び交通事故発生時の被害軽減効果を最大限に発揮させるため、交通事故実態の分析等に基づく指導取締り方針を策定して指導取締りを行うとともに、指導取締り結果の効果検証及び検証結果を指導取締り方針へ反映させ、効果的な取締りを推進しています。

**【交通事故発生状況と取締り状況の効果検証例】**




(4)　生活道路や通学路における交通指導取締り

可搬式速度違反自動取締装置を活用し、生活道路や通学路での取締りを推進したほか、通学児童の安全を確保するため、児童の登下校時間に合わせ、通学路に進入する通行禁止違反車両に対する取締りを計画的に実施しています。

(5)　歩行者、自転車利用者に対する指導取締り

交通事故の被害者となりやすい歩行者に対する声掛けや保護誘導活動を行うとともに、重大事故の加害者となりうる自転車利用者に対しては、指導警告による交通ルールの周知と、危険性・悪質性の高い違反に重点を置いた取締りを推進しています。

(6) 行政処分状況

令和７年中は、１，８０１人に対して運転免許の行政処分を執行しており、その内訳は、取消処分が３８６人、停止処分が１，４１５人となっています。

過去５年間の行政処分状況は、次のとおりです。

| 年別 / 処分別 | 令和３年 | 令和４年 | 令和５年 | 令和６年 | 令和７年 |
|---|---|---|---|---|---|
| 取消し | 334 | 331 | 396 | 389 | 386 |
| 停　止 | 2,002 | 1,893 | 1,649 | 1,456 | 1,415 |
| 合　計 | 2,336 | 2,224 | 2,045 | 1,845 | 1,801 |

## 点　数　制　度

点数制度とは、運転者の将来における道路交通上の危険性を点数的に評価する仕組みです。

交通違反はその違反行為ごとに基礎点数と呼ばれる一定の点数が、交通事故は被害の程度などによる付加点数が、あらかじめ定められています。

自動車等の運転者は、過去３年間の合計点数（累積点数）に応じて、免許の拒否、保留、取消し、停止等の処分を受けることになります。

免許の取消しや停止になる累積点数及び欠格期間の基準は、下表のとおりです。

○　一般違反行為の累積点数の区分

| 区分 | | 前歴回数 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 処分種別 | 欠格期間 | 0回 | 1回 | 2回 | 3回以上 |
| 取消（拒否） | 5年 | 45点以上 | 40点以上 | 35点以上 | 30点以上 |
| | 4年 | 40～44点 | 35～39点 | 30～34点 | 25～29点 |
| | 3年 | 35～39点 | 30～34点 | 25～29点 | 20～24点 |
| | 2年 | 25～34点 | 20～29点 | 15～24点 | 10～19点 |
| | 1年 | 15～24点 | 10～19点 | 5～14点 | 4～9点 |
| 停止（保留） | | 6～14点 | 4～9点 | 2～4点 | 2～3点 |

○　特定違反行為（危険運転致死傷、ひき逃げ等）の累積点数の区分

| 区分 | | 前歴回数 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 処分種別 | 欠格期間 | 0回 | 1回 | 2回 | 3回以上 |
| 取消（拒否） | 10年 | 70点以上 | 65点以上 | 60点以上 | 55点以上 |
| | 9年 | 65～69点 | 60～64点 | 55～59点 | 50～54点 |
| | 8年 | 60～64点 | 55～59点 | 50～54点 | 45～49点 |
| | 7年 | 55～59点 | 50～54点 | 45～49点 | 40～44点 |
| | 6年 | 50～54点 | 45～49点 | 40～44点 | 35～39点 |
| | 5年 | 45～49点 | 40～44点 | 35～39点 | － |
| | 4年 | 40～44点 | 35～39点 | － | － |
| | 3年 | 35～39点 | － | － | － |

(7) 安全運転相談

総合交通センター内の「安全運転相談窓口」では、高齢運転者の方、一定の症状を呈する病気や障害をお持ちの方等運転に不安を覚える方々又はそのご家族等からの相談を面接や電話により受け付けています。



**安全運転相談専用ダイヤル**
**＃８０８０**



☆一定の症状を呈する病気とは（主な例）

・幻覚の症状を伴う精神的な病気
・認知症
・発作により意識障害又は運動障害をもたらす病気
・その他運転に支障をもたらす病気

安全運転相談では、具体的な症状を聞き、その症状に応じた医師の診断結果を踏まえた上で、運転免許の取得・更新等の判断や交通安全上のアドバイスを行っています。

相談された方のプライバシー保護には特段の配慮をしており、令和７年中は１，０４５件の相談を受理しました。

(8) 運転適性検査

自分自身の運転適性や運転能力を知り、安全運転に役立てていただくために「運転適性検査」を行っています。総合交通センターでは、希望される方はどなたでも検査を受けることができます。

また、団体等で検査を希望される場合は、運転適性検査車（さわやか号）による出前型の検査も行っています。

令和７年中は、ペーパー検査　２８５人、ＣＲＴ（機械）検査１６４人、模擬運転装置検査４１人の方が受けられました。



**～　安全運転相談・運転適性検査のご案内　～**

**★　安全運転相談**

**○　山口県警察本部交通部運転免許課「安全運転相談窓口」**
**☎　＃８０８０（安全運転相談専用ダイヤル）**

**○　最寄りの警察署交通（交通総務）課**

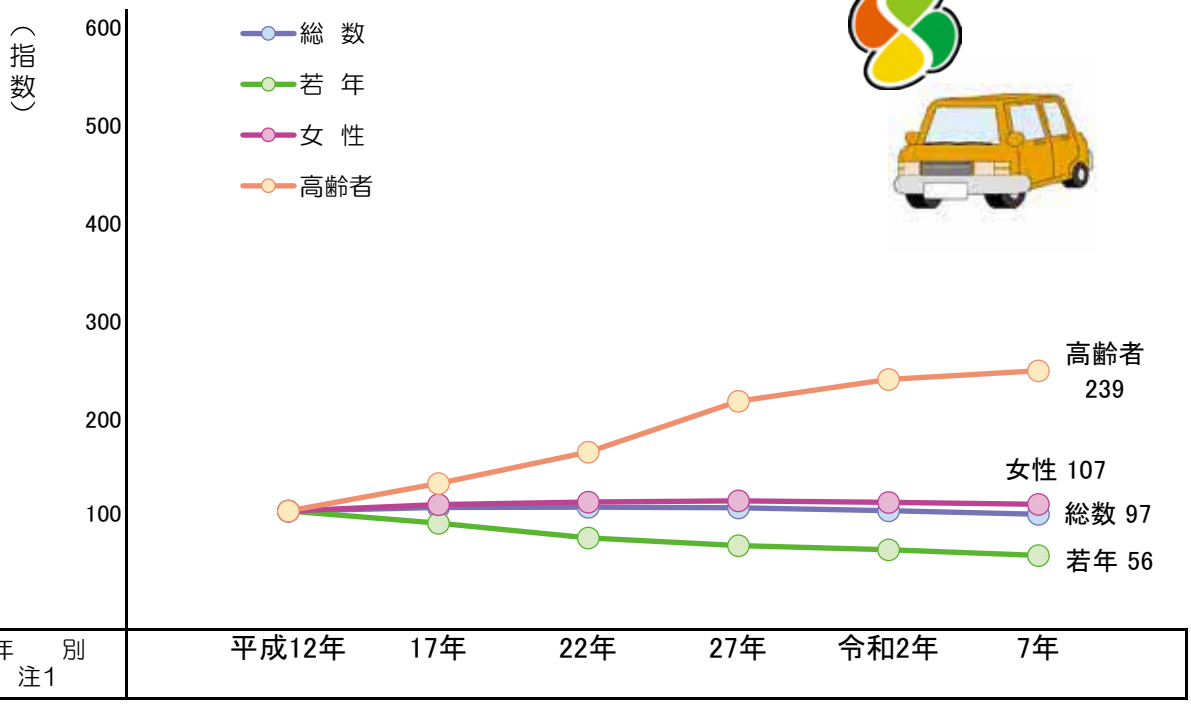
**★　運転適性検査**

**○　申込み先**
**山口県総合交通センター**
**☎　０８３－９７３－２９００（代表）**

**○　手数料（１人当たり）**
**・ペーパー検査**
**精密型・・・・・・800 円（ 所要時間　約２時間 ）**
**簡易型・・・・・・570 円（ 所要時間　約１時間 ）**
**・ＣＲＴ(機械)検査 ・・560 円（ 所要時間　約 40 分）**
**・模擬運転装置検査・・860 円（ 所要時間　約 40 分）**

**※　65 歳以上の方は手数料免除となります。**

## 5　運転免許人口の推移




### 性別・年齢層別運転免許人口　※令和7年中

| （万人） | 男 | 年齢層 | 女 | （万人） |
|---|---|---|---|---|
| (7.4) | 73,673 | 75歳以上 | 51,295 | (5.1) |
| (4.1) | 40,870 | 70～74 | 36,356 | (3.6) |
| (3.7) | 37,351 | 65～69 | 37,290 | (3.7) |
| (3.6) | 36,305 | 60～64 | 37,207 | (3.7) |
| (3.9) | 38,731 | 55～59 | 40,206 | (4.0) |
| (4.8) | 47,728 | 50～54 | 45,783 | (4.6) |
| (4.0) | 39,522 | 45～49 | 38,509 | (3.9) |
| (3.4) | 34,108 | 40～44 | 33,234 | (3.3) |
| (2.9) | 29,153 | 35～39 | 27,051 | (2.7) |
| (2.6) | 25,600 | 30～34 | 23,283 | (2.3) |
| (2.4) | 24,207 | 25～29 | 21,814 | (2.2) |
| (2.4) | 24,167 | 20～24 | 21,620 | (2.2) |
| (0.5) | 4,737 | 16～19 | 4,003 | (0.4) |
| | 456,152 | 計　注3 | 417,651 | |
| | | 873,803 | | |

（注2）

注1：平成１２年を100とする
注2：（　）内は男女別免許人口に占める割合
注3：運転免許人口は各年の12月末現在

## ６　違法駐車対策

(1)　違法駐車の現状

歓楽街、商店街や住宅街などでは、運転者の遵法精神の欠如などによる違法駐車が依然として多く、これらの違法駐車は、交通渋滞を悪化させる要因となるほか、歩行者・車両の安全な通行や、緊急自動車の活動の妨げになるなど、地域住民の生活環境を害し、県民生活全般に悪影響を及ぼしています。

(2)　違法駐車の取締り

違法駐車の取締りについては、道路交通状況の変化や地域住民の意見・要望を踏まえたガイドラインを策定・公表し、放置車両[*1]へ放置車両確認標章を取り付けるなどの活動を行っています。

また、ガイドラインについては、定期的に見直しを行い、警察署管内の駐車実態を反映したものとなるように努めています。

このほか、下関警察署管内では、放置車両の確認事務[*2]について、警察署長から委託を受けた民間の駐車監視員が巡回して、放置車両に放置車両確認標章の取付けを行っています。



駐車監視員の活動状況

(3)　車両使用者に対する責任追及

放置車両確認標章を取り付けた車両について、違反行為を行った運転者が警察署に出頭しない場合や出頭しても反則金が納付されない場合には、その車両の使用者に対し放置違反金の納付を命じるほか、常習的に違反を繰り返す場合は、車両の使用者に車両の使用制限命令を行う行政処分等を執行しています。

**【令和７年中の行政処分等の執行状況】**

| 放置違反金納付命令件数 | 督促件数 |
|---|---|
| １，２５６ | １３２ |

| 車両使用制限 | 車検拒否 | 滞納処分 |
|---|---|---|
| 0 | 4 | 7 |

*1：「放置車両」とは、違法駐車と認められる車両であって、その運転者がこれを離れて直ちに運転することができない状態にあるもの

*2：「確認事務」とは、放置車両の確認と標章の取付けに関する事務

## 7　暴走族等の対策

暴走族の引き起こす犯罪は、道路交通関係法令違反のほか、刑法犯等様々な罪種にわたっていることから、共同危険行為等の現場検挙を始め、各種法令を適用した取締りを推進しています。

また、週末を中心に駅前等に集まる暴走族等に対する補導活動や、暴走族等の自宅や立寄り場所への訪問など総合的な対策を推進しています。

さらに、旧車會と呼ばれる元暴走族構成員が中心となって結成された集団が、暴走族風に改造した旧型の自動二輪車等を連ねて、景勝地を求めて大規模な集団走行を行うなど、地域住民や道路利用者に多大な迷惑を及ぼしていることから、関係機関や隣県警察と連携して騒音関係違反[*3]等に対する取締りを行っています。

**【暴走族等の構成員数、検挙人員等の推移（令和３年～令和７年）】**

| 区分 | | 令和３年 | 令和４年 | 令和５年 | 令和６年 | 令和７年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 構成員数 | 暴走族（人） | ２６ | ２５ | ２５ | １０ | 8 |
| | 旧車會（人） | ２７ | ３０ | ３１ | ４０ | ２７ |
| 暴走族等に関する１１０番通報件数（件） | | ２０１ | ６８ | ３４ | ４３ | ８０ |
| 暴走族等の検挙人員 | | ２８ | ２９ | 7 | １２ | 3 |
| 車両の押収台数 | | 0 | 1 | 3 | 2 | 1 |

暴走族等に対する取締り活動





*3：「騒音関係違反」とは、道路交通法のうち、近接排気音に係る整備不良、消音器不備及び騒音運転をいう

## ８　交通事故事件の捜査

(1)　交通事故事件の検挙状況

令和７年中の交通事故事件に係る検挙件数は、下記のとおりです。

**【自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律】**

| 区　　分 | 件数（件） |
|---|---|
| 危険運転致死傷 | １３ |
| 過失運転致傷アルコール等影響発覚免脱 | 0 |
| 過失運転致死 | ２３ |
| 過失運転致傷 | ２，１７２ |
| 無免許過失運転致傷 | 5 |

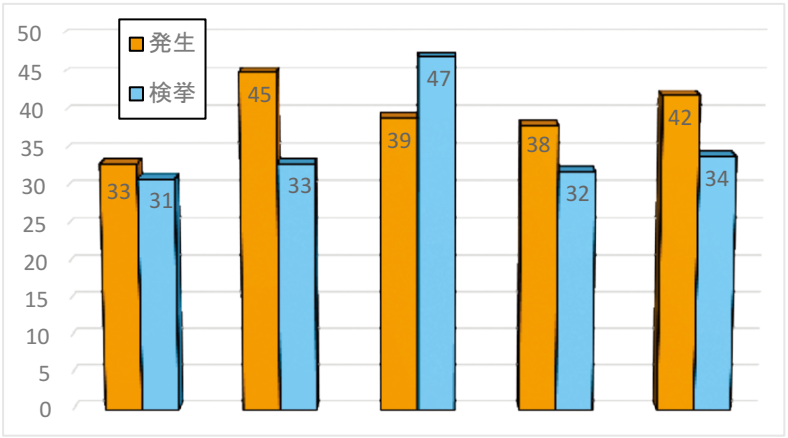
(2)　適正かつ緻密な交通事故事件捜査

交通事故事件捜査においては、初動捜査の段階から危険運転致死傷罪の立件を視野に入れた、適正かつ緻密な捜査を推進しています。

また、ひき逃げ事件については、迅速な初動捜査を行うとともに、交通鑑識資機材を効果的に活用し、被疑者の早期検挙に努めています。

令和７年中は、７件の重傷ひき逃げ事件を始めとして３４件のひき逃げ事件を検挙しています。

**【ひき逃げ事件の発生・検挙状況の推移（令和３年～令和７年）】**



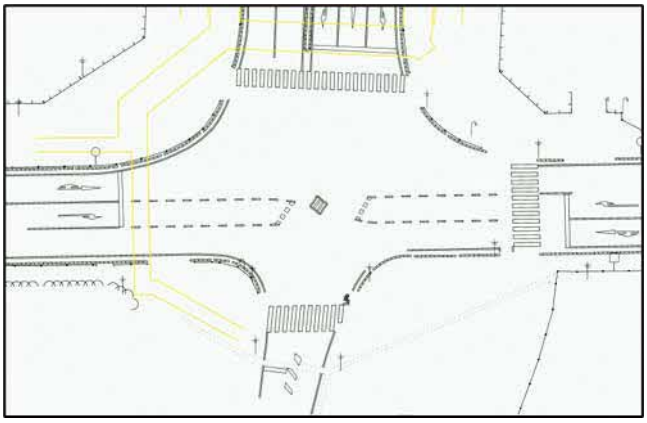

| 区分 | | 令和３年 | 令和４年 | 令和５年 | 令和６年 | 令和７年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 死亡 | 発生 | 2 | 1 | 0 | 4 | 2 |
| | 検挙 | 4 | 1 | 0 | 4 | 0 |
| 重傷 | 発生 | 8 | 7 | 8 | 4 | 6 |
| | 検挙 | 11 | 4 | 11 | 3 | 7 |
| 軽傷 | 発生 | 23 | 37 | 31 | 30 | 34 |
| | 検挙 | 16 | 28 | 36 | 25 | 27 |
| 合計 | 発生 | 33 | 45 | 39 | 38 | 42 |
| | 検挙 | 31 | 33 | 47 | 32 | 34 |

(3)　科学的捜査

緻密で科学的な捜査を推進すべく、３Ｄレーザースキャナ*4を始めとする各種資機材を効果的に活用しています。



【計測状況】



【道路図面作成状況】



【３Ｄデータによる事故状況の再現】

(4)　交通事故被害者等の支援

交通事故の被害者及びその家族又は遺族（以下「被害者等」という。）の要望や心情に配意した捜査に努めるとともに、ひき逃げ事件や交通死亡事故等の被害者等に対して、捜査の初期段階から事案概要や捜査経過、被疑者の検挙状況等を連絡しています。

また、被害者連絡制度、刑事手続の流れ、各補償制度等のほか、事案の特性やニーズに応じた内容を盛り込んだ「リーフレット」を配布し、被害者等の支援を行っています。



*4：「３Ｄレーザースキャナ」とは、レーザー光を照射して事故現場における道路構造や路面痕跡、自動車の破損状況等の三次元点群データを自動的かつ正確に計測する機器。取得した点群データは、専用のシステムを用いて３Ｄ空間上における衝突再現や道路図面作成等を行うことができる。

## ９　交通安全教育

（１）山口県交通安全学習館〈セーフティプラザやまぐち〉

山口県交通安全学習館は、子供から高齢者まで楽しみながら交通安全について学べる交通安全教育施設です。

平成３０年４月１３日にリニューアルオープンし、最新の体験機器やおもしろ自転車を導入して、利用者の方からご好評をいただいています。




ア　様々な体験機器による体験学習

○　四輪車事故体験シミュレータ

実際の運転に近い環境を再現し、様々な交通状況や危険場面を疑似体験し、検証を行うことで、具体的な安全運転の方法を学びます。

○　自転車シミュレータ

自転車運転中に遭遇する危険場面を体験し、危険予測能力を向上させ、交通ルールを学びます。

○　歩行シミュレータ

道路横断時等の危険を疑似体験し、効果的な安全確認の要領を学びます。

○　ハイビーム・ロービーム視認性体験シミュレータ

実際の運転に近いリアルな環境を再現し、夜間におけるハイビームとロービームの視認性の違いを体験してもらいます。運転者の立場からは、ハイビーム活用の有効性について、歩行者の立場からは、反射材の有効性などについて学びます。


四輪車事故体験
シミュレータ


自転車
シミュレータ


歩行
シミュレータ


ハイビーム・ロービーム
視認性体験シミュレータ

このほかにも、危険予測能力を高めるための動画ＫＹＴ（危険予測トレーニング）、エコドライブ講習などの講習を行います。

イ　学習館館内の施設紹介

学習館館内には、

- 反射材体験コーナー
- 子供ドライビングコース（床にミニ市街路を印刷、プラズマカー３台）
- キッズコーナー（ベンチ、マット、授乳室）
- 休憩コーナー（テーブル、椅子設置）
- 屋内自転車技能コース（床面に描いたＳ字やクランクの技能コース）等を設置し、館内の設備を充実させています。



子供用ドライビングコース



キッズコーナー



休憩コーナー



屋内自転車技能コース

ウ　交通安全ふれあい広場

○　模擬市街地コース

道路の正しい渡り方、自転車の交通ルールについて体験しながら学ぶことができます。

○　おもしろ自転車コース

子供の頃から自転車に慣れ親しむために、おもしろ自転車１０種類１６台を導入しています。



模擬市街地コース



おもしろ自転車

○　サイクルエイド

サイクルスポーツ普及拠点として、サイクルエイド（サイクルラック、空気入れ、工具、更衣室等）を整備しています。



サイクルエイド



更衣室

エ　雨天制動体験コース

滑りやすい路面環境を再現するスキッドパンコースで実際に車を急制動させて、スリップした時の車体の挙動や、とっさの危険回避操作を体験できます。教習所や一般の道路では体験できない安全な運転操作を学ぶことができます。



急制動体験

交通安全学習館の入館料は無料です。

四輪車事故体験シミュレータとおもしろ自転車は、使用料が必要です。

○　四輪車事故体験シミュレータ　１回　　３００円

○　おもしろ自転車　　１回（３０分）１００円

※　減額・減免制度があります。詳しくは、交通安全学習館までお問合せください。

おもしろ自転車利用可能日は、山口県警察ホームページでご確認ください。



交通安全学習館では団体の対象に応じたカリキュラムを用意し、専門のインストラクターがご案内します。

ここでは、企業向けのカリキュラムの一例を紹介します。

【企業向けカリキュラムの一例】

| 講習場所 | 実施内容 | 所要時間 | |
|---|---|---|---|
| 視聴覚室 | １　オリエンテーション<br>日程、講習内容、機器使用方法の説明 | １０分 | |
| 交通安全学習館 | ２ 四輪車事故体験シミュレーション<br>(1) 交通事故の疑似体験<br>(2) 交通事故の検証と解説<br>(3) ＫＹＴ（危険予測トレーニング） | ４０分 |  |
| | ３　展示機器による自己学習<br>館内設置の体験機器や展示物での交通安全学習<br>ＶＲシミュレータ、動体認知診断等 | ３０分 |  |
| 雨天制動コース | ４　実車を使用した体験<br>(1)　乗車姿勢、死角、内輪差<br>(2)　滑りやすい路面での急制動体験 | ６０分 |  |
| | ５　ダミー人形衝突実験<br>実車による時速４０ｋｍの衝突実験<br>ダミー人形に実車を衝突させて、衝撃力等を解説 | |  |

★　その他、**各種体験型のオプション**を用意

◇　**基本コース＋希望オプション**の講習が可能

（例）

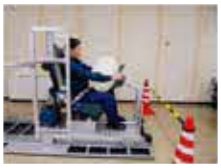
基本コース　＋　◯　エコドライブ学習

◯　飲酒ゴーグル体験

◯　エアバック爆発体験

＊　その他、各種体験型のオプションの詳細については次頁参考

【各種体験型オプション】

| オプション項目 | 内容 | 所要時間 | |
|---|---|---|---|
| 動画ＫＹＴ | 他者との危険認知度の違いを確認し、危険感受性を高めて危険予測能力を向上させることの重要性を体験学習します。 | ３０分～ |  |
| エアバック爆発体験 | エアバック作動時の衝撃を体験し、シートベルトの必要性や重要性を体験学習します。 | １５分 |  |
| エコドライブ学習 | エコドライブと安全運転の関係を学び、エコドライブの必要性について理解を深めます。 | ３０分 |  |
| 電動車いす乗車体験 | 電動車いすの操作要領や特性を体験し、自動車運転者として配意すべきこと等を学びます。 | ２０分 |  |
| 酒酔い体験ゴーグル | 飲酒状態で起こる視覚のゆがみ、平衡感覚の低下等を疑似体験することができます。 | ３０分 |  |
| 交通安全講話 | 対象に応じ、ご要望にお応えいたします。交通事故の発生状況・特徴など。 | ２０分 |  |

◆　オプションは、申し込み時に相談してください。

（２）　交通移動教室班の活動状況

交通移動教室班は、山口県の交通安全教育の中心的な役割を担い、県内各地へ巡回して、幼児から高齢者を対象とした実践的な交通安全教室を開催しています。

この教室では、模擬信号機や紙芝居、人形など各種の手作り教材を活用した交通安全講話や、歩行者・自転車の実技指導、ダミー人形衝突実験等の参加・体験型の交通安全教育を行っており、学校や保護者、受講者等から「楽しく、分かりやすく、実践に結びつく」と好評を得ているほか、警察署の交通安全教育担当者の指導手本ともなっています。

【移動教室での主な教育内容】

○　安全な歩行と横断方法
○　自転車の点検と利用方法
○　乗り物の安全な利用方法と責任
○　自動車の特性と構造・機能
○　交通事故と責任
○　高齢者の特性と交通安全
○　交通事故の疑似体験





（３）「生徒向け自転車交通教室」の開催

自転車の安全利用の促進と交通安全意識の高揚を図り、自転車が関与する交通事故を防止することを目的として、ＪＡ共済連山口と連携し、県内の高等学校において、危険性を疑似体験（スケアード・ストレイト教育技法）させる「生徒向け自転車交通安全教室」を開催しています。

衝突音の大きさやはね飛ばされるスタントマンの姿などが見る者にとって衝撃的であり、交通事故の危険性を肌で感じられることから、生徒の安全行動の習慣化に役立っています。







まなぶくん

令和6年
10月1日施行

# 自転車損害賠償責任保険等への加入は義務です

自転車も乗れば車の仲間入り



©山口県

令和6年4月1日施行

## 「山口県自転車の安全で適正な利用促進条例」

### ヘルメットの着用

すべての年齢層で自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務とされています。



**ヘルメット非着用時の致死率**

約 5 倍

（山口県内、令和３年から令和７年の事故による）

### 自転車保険等への加入

（令和６年１０月１日施行）

自転車利用者等は自転車損害賠償責任保険等に加入しなければなりません。



**自転車事故の高額賠償事例**

約9,500万円

## 自転車損害賠償責任保険等の加入状況をチェックしましょう

自転車利用中の事故により、他人にケガをさせてしまった場合などに備えて、相手の生命または身体の損害を補償できる保険（自転車損害賠償責任保険等）に加入していますか？
※点検整備した自転車に張られる「TS マーク」も該当します。

はい → **OK** すでに自転車損害賠償責任保険等に加入しています。

わからない

いいえ

自動車保険、傷害保険、火災保険のいずれかに加入していますか？

はい → **OK** すでに自転車損害賠償責任保険等に加入しています。

わからない

いいえ

共済、各種団体保険（職場で加入する保険や学校の PTA 保険等）のいずれかに加入していますか？

はい → **OK** すでに自転車損害賠償責任保険等に加入しています。

わからない

いいえ

自転車損害賠償責任保険等に相当する補償が基本補償または特約としてついていますか？
※特約の名称は、日常生活賠償特約など保険会社によって異なります。

はい → **OK** すでに自転車損害賠償責任保険等に加入しています。

わからない → **確認が必要です** 保険証券をご用意のうえ、ご加入の保険会社にご確認ください。

いいえ → **加入しましょう** 自転車損害賠償責任保険等への加入が必要です。

※自転車保険には、さまざまな種類があります。保険代理店や最寄りの自転車販売店等に問い合わせましょう。

## 自転車安全利用五則を守りましょう！

1 
車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先

2 
交差点では信号と一時停止を守って、安全確認

3 
夜間はライトを点灯

4 
飲酒運転は禁止

5 
ヘルメットを着用

## 自転車損害賠償責任保険等の種類

| 保険等の種類 | | 概　　要 |
|---|---|---|
| 個人賠償責任保険 | 自転車向け保険 | 自転車事故に備えた保険 |
| | 自動車保険や傷害保険等の特約 | 自動車保険等の特約で付帯した保険 |
| 共済 | | こくみん共済、県民共済など |
| 団体保険 | | 会社等の団体保険、ＰＴＡや学校が窓口となる保険 |
| クレジットカードの付帯保険 | | クレジットカード会員向けの保険 |
| ＴＳマーク付帯保険 | | 自転車安全整備士が点検整備した自転車に付帯した保険 |

【お問い合わせ先】　環境生活部　県民生活課　地域安心・安全推進班　TEL　０８３－９３３－２６１９

## テレホンコーナー

交通に関する相談や問い合わせなど、広く県民の皆様の利便を図るため、次のようなテレホンサービスを行っております。どうぞお気軽にご利用ください。

| | | |
|---|---|---|
| 運転免許等に関すること | 山口県総合交通センター | 083(973)2900 |
| 運転免許等に関する<br>高齢者のための専用窓口 | 山口県総合交通センター | 083(975)3322 |
| 免許更新テレホンサービス<br>（運転免許更新手続きに関すること） | 山口県総合交通センター | 083(973)0290 |
| 免許の取消処分者講習<br>手続きに関すること | 山口県総合交通センター | 083(973)1970 |
| 交通反則手続きに関すること | 山口県警察本部交通指導課 | 083(923)4739 |
| 交通事故等の証明に関すること | 自動車安全運転センター | 083(924)4151 |
| 交通渋滞、道路工事等の<br>交通傷害に関すること | 日本道路交通情報センター | 050(3369)6635<br>050(3369)6666 |
| 警察本部総合相談電話 | 山口県警察本部総合相談室 | 083(923)9110 |
| | ＊プッシュホン電話については～#9110 | |

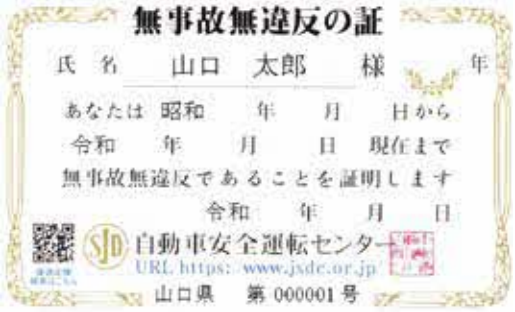
## 交通事故相談所の案内

交通事故に遭われたり、起こされた方に的確なアドバイスを行うため、県下各地に交通事故相談所が設置され、専門の相談員が無料で相談に応じています。お気軽に、ご利用ください。

| 設置者 | 名称 | 場所 | 電話 |
|---|---|---|---|
| 山口県 | 山口県交通事故相談所 | 山口市滝町1番1号<br>県民生活課内（県庁２階） | 083-933-2623 |
| 交通安全協会 | 山陽小野田交通事故等相談所 | 山陽小野田警察署内 | 0836-84-0110 |
| ＪＡ共済連<br>山口 | ＪＡ共済交通事故相談所 | 山口市小郡下郷2139番<br>（ＪＡビル内） | 083-902-5579 |
| 中国四国<br>防衛局 | 岩国防衛事務所業務課業務第二係<br>（米軍人、軍属等の交通事故など） | 岩国市中津町2-15-7 | 0827-21-6195 |
| （一社）日本損害<br>保険協会 | そんぽＡＤＲセンター近畿 | 大阪府大阪市中央区北浜2-6-26<br>（大阪グリーンビル9階） | ナビダイヤル<br>0570-022808<br>（通話料有料）<br>電話リレーサービス、IP電話からは<br>06-7634-2321 |
| 日弁連交通事故<br>相談センター<br>山口支部 | 交通事故に関する相談 | 山口、下関、周南、宇部、<br>岩国、萩、長門 | 0570-064-490 |

## ＳＤカードの案内




ＳＤカードは、安全運転者であることの誇りと自覚を象徴し、自分自身や職場ぐるみで安全運転を目指す目標ともなり、交通安全に対する意識が高まることから、交通事故、交通違反防止に大きな効果があります。

自動車安全運転センターでは、『無事故・無違反証明書』又は『運転記録証明書』を申し込まれた方が、証明日以前に１年以上無事故・無違反であれば、ＳＤカードを差し上げています。

ＳＤカードは全国共通で、ＳＤカードを提示すれば割引が受けられる優遇店が全国的に増えています。

（ホームページ https://www.jsdc.or.jp/ でご覧ください。）




【運転経歴に係る証明書の案内】

運転経歴に係る証明書には、次の４種類があります。

| 種　類 | 証明の内容 | 利用例 | 手数料 |
|---|---|---|---|
| 無事故・無違反証明書 | 無事故・無違反で経過した期間について証明します。（昭和 44.10.1（沖縄県交付のみ昭和 47.5.15）以後の期間に限ります） | ○ 安全運転の励行と管理<br>○ 優良運転者の表彰<br>○ ＳＤカードの取得<br>○ 就職等 | 800 円 |
| 運転記録証明書 | 過去５年間・３年間・１年間の交通違反、交通事故及び運転免許の行政処分の記録について証明します。 | ○ 安全運転の励行と管理<br>○ ＳＤカードの取得<br>○ 優良運転者の表彰<br>○ 安全運転管理者等選任の届出<br>○ 就職等 | 800 円 |
| 累積点数等証明書 | 交通違反、交通事故の点数が、現在何点になっているかについて証明します。 | ○ 現在の違反点数等の確認<br>○ 安全運転の励行 | 800 円 |
| 運転免許経歴証明書 | 過去に失効した免許、取消された免許、又は現在受けている免許の種類、取得年月日等について証明します。 | ○ 大型免許や第二種免許の受験<br>○ 免許経歴の確認 | 800 円 |

【証明書の申請方法】

☆　手続き方法

○　自動車安全運転センター事務所で平日に直接申し込むことができます。証明書の交付は土・日・祝祭日等の休日を除いて概ね２日後となります。

○　郵便局で振替申請をした場合は、約１週間で証明書が郵送されます。

※　証明書交付手数料は１通につき８００円ですが、銀行、郵便局、コンビニエンスストアで申請する場合は、別途手数料が必要です。

☆　申請用紙が備えてある所

○　自動車安全運転センター山口県事務所

○　警察署、山口県総合交通センター

※　詳細は、自動車安全運転センター山口県事務所にお問い合わせください。

## 安全運転中央研修所への入所案内

茨城県ひたちなか市に平成３年４月に開設した「安全運転中央研修所」は東京ドーム約２０個分の広大な敷地に「運転上の危険」を安全に体験できるコースなど、多種多様な施設を持つ総合的な安全運転研修施設です。

### ■　研修の特色

○　一周５ｋｍの高速周回路や模擬市街路など実際の道路上の特色を再現した各研修コースを用いた実践的な研修

★　一周５ｋｍの高速周回路、中低速周回路（総延長６ｋｍ）、
危険回避コース（延長２５０ｍ）、スキッドパン周回コース（３ｈａ）、
直線スキッドコース（延長約２８０ｍ）、モトクロスコース（６ｈａ）
等１３種類のトレーニングコースを設置

○　公道では試すことのできない「安全の限界」を体験しながら安全運転の基本と応用について学ぶ研修

○　模擬事故を想定した体験的な危険予測や危険回避など、日常体験することが難しい運転上の危険を安全に体験できる実技研修

○　運転技能に熟達した実技教官と、専門理論に精通した理論教官による実技と理論が一体となった総合的な研修

### ■　研修課程

一般緊急自動車運転者、消防・救急自動車運転者、旅客自動車（バス）・貨物（大型、中型、準中型）自動車運転者、安全運転管理者等に対する指導・研修をおこなっています。

### ■　問い合わせ先

〒７５３－８５０４　山口市滝町１番１号（山口県警察本部１階）
自動車安全運転センター山口県事務所
TEL　０８３（９２４）４１５１
自動車安全運転センターのホームページ　https://www.jsdc.or.jp/

# 令和８年交通安全年間スローガン(全国)

《運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの》

急ぐほど
狭まる視野と
増すリスク

《歩行者等（自転車利用者を含む）へ呼びかけるもの》

親を見て
子供も止まる
赤信号

《こどもたちに交通安全を呼びかけるもの》

車から
ぼくたちみえない
手をあげよう

〔令和８年使用交通安全年間スローガン内閣総理大臣受賞作品(全国)〕



～　示そうマナー　守ろうルール　みんなで築くセーフティ山口　～

交通白書（令和８年版）


編　　集　　山口県警察本部交通企画課
(問い合わせ先)　〒753-8504
山口県山口市滝町１－１
電話番号　083-933-0110


※　本書のデータは山口県警ホームページにも掲載しています。ご活用ください。
（ホームページアドレス　https://www.police.pref.yamaguchi.lg.jp/）